サイボウズ デヂエ 5.0
ライブラリ構築・管理ガイド

2004年10月15日 初版発行

サイボウズ株式会社　ナレッジ事業推進部

目 次

フォルダの設定がしたい >6-10
フォルダの追加 >>6
フォルダ情報の変更 >>7
フォルダ位置を変更する >>8
フォルダ・ライブラリの表示順を変更する >>9
フォルダの削除 >>10
ライブラリを作りたい >11-19
ライブラリの新規作成 >>11
DBM ファイルから作成 >>14
CSV ファイルから作成 >>16
テンプレートファイルから作成 >>19
項目(フィールド)の設定がしたい >20-39
フィールドの追加 >>20
フィールドの編集 >>22
フィールドの順番変更 >>24
フィールドの削除 >>25
各フィールドタイプの詳細設定 >>26
効率よく検索したい >40-54
絞り込みの追加 >>40
絞り込みの編集 >>47
絞り込みのコピー >>52
絞り込みの順番変更 >>53
絞り込みの削除 >>54
入力しやすくしたい >55-67
フィールドレイアウトの追加 >>55
フィールドレイアウトの編集 >>60
フィールドレイアウトのコピー >>64
フィールドレイアウトの順番変更 >>65
フィールドレイアウトの削除 >>66
デフォルトビュー >>67

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

使いやすい表示にしたい >68-92
レコード一覧ビューの追加 >>68
レコード一覧ビューの編集 >>79
レコード一覧ビューのコピー >>89
レコード一覧ビューの順番変更 >>90
レコード一覧ビューの削除 >>91
レコード一覧ビューのデフォルトビュー >>92
レコード一覧ビューの書式設定 >>93
フィールドレイアウトの書式設定 >>95
レコード一覧ビューの条件書式設定 >>97
フィールドレイアウトの条件書式設定 >>105
書式・条件書式の設定の詳細 >>111
ヘッダ・フッタの設定 >>120
メニューの設定 >>122
デザインの設定 >>125
関連リンクの設定 >>126
デフォルトビューの設定 >>128
検索・絞り込みヒット件数表示の設定 >>130
アクセス権を設定したい >131-143
ライブラリへのアクセス権 >>131
フィールドのアクセス権 >>134
絞り込みのアクセス権 >>136
レコード一覧ビューのアクセス権 >>137
フィールドレイアウトのアクセス権 >>139
高度な機能のアクセス権 >>141
ライブラリを関連づけたい >144-155
リレーションの追加 >>145
リレーションの編集 >>148
リレーションの削除 >>150
ルックアップの設定 >>151
計算したい >156-163
集計の追加 >>157
集計の編集 >>159
集計の順番変更 >>161
集計の削除 >>162

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

外部ファイルへの入出力がしたい >164-181
DBM ファイルへの書き出し >>165
CSV ファイルへの書き出し >>166
CSV ファイルの読み込み >>167
XML ファイルの書き出し >>170
XML ファイルの詳細 >>171
メール通知の設定がしたい >182-194
メール通知定条件の追加 >>184
メール通知定条件の編集 >>188
メール通知定条件の順番変更 >>191
メール通知定条件の削除 >>192
メール通知定条件の CSV ファイルへの書き出し >>193
メールからレコードを登録したい >195-214
メール読み込みの設定 >>195
メール読み込みの編集 >>203
メール読み込みの実行 >>211
他ライブラリからレコードをコピーしたい >215-221
レコードコピーの追加 >>215
レコードコピーの編集 >>217
レコードコピーのコピー >>218
レコードコピーの順番変更 >>219
レコードコピーの削除 >>220
ライブラリログを見たい >222-229
ライブラリログの設定 >>222
ライブラリログの書き出し >>224
テンプレートを作成したい >230-231
DBM ファイルからテンプレート化 >>230
既存ライブラリからテンプレート化 >>231
ライブラリを削除したい >232-232
ライブラリの削除 >>232
ライブラリファイルを修復したい >233-234
ミラーリングファイルによる修復 >>233

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ライブラリ管理者を設定したい >235-236
ライブラリ管理者の変更 >>235
ライブラリの基本情報を設定したい >237-241
ライブラリ基本情報の変更 >>237
ライブラリメモの追加 >>239
レコードロック時間の変更 >>240

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

フォルダの設定がしたい

フォルダは、ライブラリを階層化して管理することができます。

ライブラリの数が多い場合にフォルダへ格納すると、効率よく管理できます。

■ フォルダの追加

フォルダを追加します。

1. ホーム画面 でフォルダを追加したいフォルダを表示させ、[フォルダの追加] をクリックする
   「 フォルダの追加 」 画面が表示されます。

2. フォルダ名と、必要に応じてメモを登録する
   ※ フォルダ内に同じ名前のライブラリ、もしくはサブフォルダを設定することはできません。

3. 登録する を押す
   ホーム画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フォルダ情報の変更

フォルダ名、フォルダの格納場所、およびフォルダに関するメモ内容を変更します。

1. 情報を変更したいフォルダをクリックする
   選択したフォルダ名 （フォルダ名 ）が上部に表示されます。
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. フォルダ名 （フォルダ名 ）の下の [詳細情報] をクリックする
   「 フォルダ情報 」 が表示されます。
   ※ あらかじめフォルダにメモが登録されている場合は、「2.」で をクリックしても、「 フォルダ情報 」 を表示できます。

3. [変更する] をクリックする
   「 フォルダ情報の変更 」 画面が表示されます。

4. 各項目を変更する
   ※ 「 ルートフォルダ 」 のフォルダ名は変更できません。
   ※ フォルダ内に同じ名前のライブラリ、もしくはサブフォルダを設定することはできません。ご注意ください。

5. 変更する を押す
   「 フォルダ情報 」 に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フォルダの位置を変更する

フォルダの格納場所を変更します。

1. 位置を変更したいフォルダをクリックする
   選択したフォルダ名 （フォルダ名 ）が上部に表示されます。
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. フォルダ名 （フォルダ名 ）の下の [詳細情報] をクリックする
   「 フォルダ情報 」 が表示されます。
   ※ あらかじめフォルダにメモが登録されている場合は、「2.」で をクリックしても、「 フォルダ情報 」 を表示できます。

3. [変更する] をクリックする
   「 フォルダ情報の変更 」 画面が表示されます。

4. 「 位置 」 の項目のプルダウンメニューから、移動先のフォルダを選択する

5. 変更する を押す
   「 フォルダ情報 」 に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フォルダ・ライブラリの表示順を変更する

フォルダの中に複数のフォルダ 、および ライブラリがある場合、画面上で表示される順番を変えることができます。

1. 情報を変更したい フォルダをクリックする
   選択したフォルダ名 （ フォルダ名 ）が上部に表示されます。
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. フォルダ名（ フォルダ名 ）の下の [順番変更] をクリックする
   「 フォルダ内の順番変更 」 画面が表示されます。
   画面の左側に選択したフォルダ内のフォルダ、右側にライブラリが表示されます。現在はこの順番で並んでいます。

3. リストから順番を変更したいフォルダ名 あるいは ライブラリ名を選択して反転表示させ、 を押す
   選択したフォルダ名、ライブラリ名を上下に移動させて、順番を変更します。
   ※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。
   ※ ライブラリは必ずフォルダ群の下に表示されます。フォルダ間・ライブラリ間での順番変更となります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フォルダの削除

フォルダを削除します。

〈！〉 フォルダを削除するには、削除したいフォルダの中を空の状態にする必要があります。フォルダ内の全てのフォルダおよびライブラリを削除するか位置を変更してください。

1. 削除したい フォルダをクリックする
   選択したフォルダ名 （ フォルダ名 ） が上部に表示されます。
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. フォルダ名（ フォルダ名 ）の下の[削除] をクリックする
   「 フォルダの削除 」 画面が表示されます。

3. はい を押す
   もともとフォルダが格納されていたフォルダ表示に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ライブラリを作りたい

ライブラリは、新規作成の他にも、DBM ファイル、CSV ファイル、テンプレートから作成することができます。

■ ライブラリの新規作成

新規でライブラリを追加する際に、ウィザード形式で詳細な設定まで行うことができます。
ウィザードの流れは以下のとおりです。

1. ライブラリを追加したいフォルダ内で、［ ライブラリの追加 ］をクリックする
   「 ライブラリの追加 」 画面 が表示されます。
   〈！〉 ライブラリの作成権限が与えられてないユーザーは実行できません。

2. ［ 新規に作成する ］をクリックする
   「 新規に作成 - Step 1/2 」 画面が表示されます。

3. ライブラリ名、メモを登録する。デヂエ にログインして作業をしている場合は、ライブラリ管理者も指定できます。

4. 次へ >> を押す
   「 新規に作成 - Step 2/2 」 画面が表示されます。

5. フィールド名、フィールドタイプ、コメントを登録する
   複数のフィールドを登録する場合は、フィールドを増やす をクリックする

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

フィールドタイプは、以下の 18 種類のタイプから選択できます。

文字列 （１行）	＊＊＊	メニュー （文字列）	＊＊＊
文字列 （複数行）	＊＊＊	メニュー （ユーザー）	佐藤昇 田中美子 鈴木拓也 山田太郎
数値	1234... 円	日付	2001年 4月 23日
URL	http://＊＊＊	時刻	12時 10分
日付時刻	2001年 4月 23日 12時 10分		
チェックボックス	☐ ☑	ファイル	ファイル名 参照...
ラジオボタン	○ ◉	イメージ URL	http://＊＊＊ （ 例 ： http://cybozu.co.jp/image.jpg ）
時間量	日 時間 分 秒		
自動計算	計算式が表示されます （ 例 ： 「 単価 × 個数 」 ）		
時間計算	計算式が表示されます （ 例 ： 「 日付 ＋ 時間量 」 ）		
自動採番	1 ずつ加算される数値が登録されます		
自動ルックアップ	リレーションが設定されたライブラリのデータが表示されます		

6. 完了する を押す

「 ライブラリの追加完了 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

7. 作成したライブラリに対して、次に行う動作を選択する
   - ライブラリの基本設定を行う
     ライブラリのデザイン、アクセス権、また、メニュー （ 文字列 ）・メニュー （ ユーザー ）・ラジオボタンフィールドの項目を簡単に設定できます。
   - レコード一覧画面を表示する
     作成したライブラリのレコード一覧を表示します。
   - ライブラリにレコードを登録する
     「 レコード登録 」 画面を表示します。
   - ライブラリの詳細設定を行う
     「 ライブラリ管理メニュー 」 画面を表示します。

   ・ [ライブラリの基本設定を行う] を選択した場合
     1. 「 ライブラリの設定 - Step 1/3 」 画面でデザインを選択する
     2. 次へ >> を押す
        「 ライブラリの設定 - Step 2/3 」 画面が表示されます。
     3. 次へ >> ライブラリへのアクセス権の設定をする
     4. を押す
        「 ライブラリの設定 - Step 3/3 」 画面が表示されます。
     5. 以下のフィールドを設定した場合は、選択項目を設定します
        - メニュー（文字列）
        - メニュー（ユーザー）
        - ラジオボタン
     6. 完了する を押す
        レコード一覧が表示されます。

   - 引き続き設定したい項目がある場合は、各リンクをクリックします。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ DBM ファイルから作成

DBM ファイルを読み込んでライブラリを作成します。

〈！〉 11 レコード以上登録されたライブラリを読み込む場合は、システム管理者 あるいは 本運用切り替え権限のあるユーザーに依頼してください。

〈！〉 DBM ファイルに設定してあるアクセス権、メール通知、メール読み込み、レコードコピー、リレーション・ルックアップの設定は、DBM ファイルに書き出した時点で無効になっています。また、ファイルフィールドに添付されたファイルもクリアされ、ファイル名のみ読み込まれます。

1. ライブラリを追加したいフォルダ内で、[ライブラリの追加] をクリックする
   「 ライブラリの追加 」 画面が表示されます。
   〈！〉 ライブラリの作成権限が与えられてないユーザーは実行できません。

2. [DBM ファイル(*.dbm)から作成] をクリックする
   「 ライブラリの追加 （ DBM ファイル(*.dbm)から作成 ） 」 画面が表示されます。

3. 参照... を押し、 読み込む DBM ファイルを選択する
   ※ 入力欄に読み込む DBM ファイルのファイルパスを直接設定することもできます。

4. 次へ >> を押す
   作成するライブラリについての確認画面が表示されます。
   〈！〉 本運用切替権限のないユーザーが 11 レコード以上登録された DBM ファイルを読み込んだ場合は、読み込みを実行することはできません。 [ホームへ] を押してください。

5. 表示された内容を確認し、よければ 読み込む を押す
   追加されたライブラリのレコード一覧画面が表示されます。
   ➢ DBM ファイルが 10 レコード以内の場合は、仮運用ライブラリとして読み込めます。

※ 同じフォルダ内に読み込む DBM ファイルと同じ名前のライブラリが既に存在していた場合、追加されるライブラリ名は 「 （ DBM ファイル名 ） － （ 番号 ） 」 となります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

▸ DBM ファイルの読み込みによってクリアされる情報

DBM ファイルからライブラリを作成することによって、以下の情報がクリアされます。

- アクセス権の設定
- メール通知の設定
- メール読み込み
- レコードコピー
- リレーション / ルックアップの設定
- ファイルフィールドの添付ファイル
  （ ファイル名のみ読み込まれます ）

※ DBM ファイルからライブラリを作成した場合は、上記の再設定が必要となります。ご注意ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ CSV ファイルから作成

CSV ファイルを読み込んでライブラリを作成します。

〈！〉 11 レコード以上登録された CSV ファイルを読み込む場合は、システム管理者 あるいは 本運用切り替え権限のあるユーザーに依頼してください。

1. ライブラリを追加したいフォルダ内で、[ライブラリの追加] をクリックする
   「 ライブラリの追加 」 画面が表示されます。
   〈！〉 ライブラリの作成権限が与えられてないユーザーは実行できません。

2. [CSV ファイル(*.csv)から作成する] をクリックする
   「 CSV ファイルから作成 - Step 1/4 」 画面が表示されます。

3. 参照... を押し、読み込む CSV ファイルを選択する
   ※ 入力欄に読み込む CSV ファイルのファイルパスを直接設定することもできます。

4. 次へ >> を押す
   「 CSV ファイルから作成 - Step 2/4 」 画面が表示されます。

5. 読み込む CSV ファイルの条件を指定する
   - デヂエ 上でレコード情報として扱われるフィールドがある場合、該当項目にチェックする
   - 先頭行がフィールド名の場合、「 先頭行をフィールド名とする 」 にチェックする
     - 「 先頭行をフィールド名とする 」 を チェックした場合、 読み込む CSV ファイルの先頭行をフィールド名として認識します。2 行目以降はレコードデータとして扱います。

6. 次へ >> を押す
   「 CSV ファイルから作成 - Step 3/4 」 画面が表示されます。
   〈！〉 本運用切り替え権限のないユーザーが 11 レコード以上登録された CSV ファイルを読み込んだ場合は、読み込みを実行することはできません。
   [ホーム] を押してください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

7. ライブラリ名を入力し、フィールドタイプを確認・修正する

※ 同フォルダ内に同じ名前のライブラリ、フィールドタイプを設定することはできません。

※ ライブラリに記録しておきたいこと、他のユーザーに伝えたいことがあれば、「 メモ 」 欄に入力します。

〈！〉 CSV ファイルからライブラリを作成する際は、以下のフィールドタイプを選択することはできません。

・ 自動計算
・ 時間計算
・ 自動採番
・ 自動ルックアップ

フィールドタイプは、以下の 14 種類のタイプから選択できます。

文字列（１行）	＊＊＊	メニュー（文字列）	＊＊＊
文字列（複数行）	＊＊＊	メニュー（ユーザー）	佐藤昇 田中美子 鈴木拓也 山田太郎
数値	1234... 円	日付	2001年 4月 23日
URL	http://＊＊＊	時刻	12時 10分
日付時刻	2001年 4月 23日 12時 10分		
チェックボックス	☐ ☑	ファイル	ファイル名 参照...
ラジオボタン	○ ◉	イメージ URL	http://＊＊＊ （ 例 ： http://cybozu.co.jp/image.jpg ）
時間量	日 時間 分 秒		

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

8. 次へ >> を押す

「 CSV ファイルから作成 - Step 4/4 」 画面が表示されます。

- 読み込んだ CSV ファイルが 10 レコード以内の場合は、仮運用ライブラリとして読み込めます。

9. 内容を確認し、 完了する を押す

レコード一覧が表示されます。

ONE POINT

読み込んだ CSV ファイルのレコードデータの表示順

1 列目がレコード番号以外だった場合 （ **レコード番号を設定しないで読み込んだ場合** ）

- CSV ファイルではより上にあるデータから順に、自動的にレコード番号が付与されます。レコード一覧画面では採番されたレコード番号の降順に表示されます。つまり、CSV ファイルではより下にあるデータがレコード一覧画面の最上部に表示されることになります。

1 列目がレコード番号だった場合 （ **1 行目にレコード番号を設定して読み込んだ場合** ）

- レコード一覧画面では、設定されたレコード番号の降順で表示されます。レコード番号がより大きいレコードデータが、レコード一覧画面の最上部に表示されることになります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ テンプレートから作成

テンプレートからライブラリを作成します。

1. ホーム画面 で (テンプレート) をクリックする
   テンプレートフォルダが表示されます。
   〈！〉 ライブラリ作成権のないユーザーには テンプレート) は表示されません。

2. 希望のテンプレートの [ライブラリを作成する] を押す
   「 ライブラリの追加 」 画面が表示されます。

3. ライブラリ名、位置、メモを入力する
   ※ デヂエ にログインして作業をしている場合は、ライブラリ管理者も指定できます。
   ※ 同じフォルダ内に同じ名前のライブラリ名を設定することはできません。
   ※ ライブラリに記録しておきたいこと、他のユーザに伝えたいことがあれば、
   「 メモ 」 欄に入力します。

4. [作成する] を押す
   レコード一覧が表示されます。

〈！〉 テンプレートからライブラリを新規に作成すると、ライブラリ管理者は［ 全員 ］となります。ライブラリ作成後、はじめにライブラリ管理者を設定されることをお薦めします。

※ 以下の方法でもテンプレートからライブラリを作成できます。

- ホーム画面 で［ ライブラリの追加 ］をクリック ＞ 「 ライブラリの追加 」画面で［ テンプレートから作成 ］をクリック ＞ [ライブラリを作成する] を押す
- テンプレートフォルダで、ライブラリ化したいテンプレートの［ 詳細 ］をクリック ＞ 「 テンプレート詳細 」 画面でテンプレートの内容を確認し [ライブラリを作成する] を押す

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

項目の設定がしたい

ライブラリの項目名を、 デヂエ では 「フィールド」 といいます。フィールドの設定では、ソート、手動ルックアップ、アクセス権の設定も行えます。

■ フィールドの追加

フィールドを追加します。

1. ホーム画面 に、フィールドを追加したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 フィールドの設定 」 をクリックする
   「 フィールドの設定 」 画面が表示されます。

5. [新規作成] をクリックする
   「 フィールドの追加 」 画面が表示されます。

6. フィールドタイプをプルダウンメニューから選択して 次へ >> を押す

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

フィールドタイプは、以下の 18 種類のタイプから選択できます。

文字列（１行）	＊＊＊	メニュー（文字列）	＊＊＊
文字列（複数行）	＊＊＊	メニュー（ユーザー）	佐藤昇 田中美子 鈴木拓也 山田太郎
数値	1234... 円	日付	2001年 4月 23日
URL	http://＊＊＊	時刻	12時 10分
日付時刻	2001年 4月 23日 12時 10分		
チェックボックス	☐ ☑	ファイル	ファイル名 参照...
ラジオボタン	○ ◉	イメージ URL	http://＊＊＊ （ 例 ： http://cybozu.co.jp/image.jpg ）
時間量	日 時間 分 秒		
自動計算	計算式が表示されます （ 例 ： 「 単価 × 個数 」 ）		
時間計算	計算式が表示されます （ 例 ： 「 日付 ＋ 時間量 」 ）		
自動採番	1 ずつ加算される数値が登録されます		
自動ルックアップ	リレーションが設定されたライブラリのデータが表示されます		

7. フィールドの詳細設定を行う

   設定内容はフィールドによって異なります。詳しくは 26 ページの「 各フィールドタイプの詳細設定 」 をご覧ください。

   ※ ソート、手動ルックアップ、アクセス権の設定は、ここで行います。

   ※ ライブラリのデフォルトビューは、「 ライブラリ管理メニュー 」 ＞ 「 ライブラリビューの設定 」 ＞［ デフォルトビュー］から設定できます。

8. 登録する を押す

   「 フィールドの設定 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フィールドの編集

フィールドの設定を編集します。

1. ホーム画面 に、フィールドを編集したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 フィールドの設定」 をクリックする
   「フィールドの設定」画面が表示されます。

5. 編集したいフィールドの [変更] をクリックする
   「 フィールドの編集 」 画面が表示されます。

6. 編集したい箇所を入力し直す
   ※ ソート、手動ルックアップ、アクセス権の設定変更は、ここで行います。
   ※ ライブラリのデフォルトビューは、「 ライブラリ管理メニュー 」 ＞ 「 ライブラリビューの設定 」 ＞［ デフォルトビュー］から設定できます。
   - フィールドタイプを変更する場合
     1. フィールドタイプ名の隣の 変更する を押す
     2. プルダウンメニューから、変更したいフィールドタイプを選択する

   〈！〉フィールドタイプの変更には、変更前のフィールドタイプと変更後のフィールドタイプの互換性により制限があります。プルダウンメニューには、変更することができるフィールドタイプのみ表示されます。詳しくは 22 ページ「フィールドタイプ変更の制限をご覧ください。

7. 変更する を押す
   「 フィールドの設定 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

フィールドタイプ変更の制限

変更前フィールドタイプ ＼ 変更後フィールドタイプ	文字列(一行)	文字列(複数行)	数値	URL	チェックボックス	ラジオボタン	メニュー(文字列)	メニュー(ユーザー)	日付	時刻	日付時刻	ファイル	イメージ	自動計算	自動採番	時間量	時間計算	自動ルックアップ
文字列(一行)		○	○	○	×	×	×	×	×	× [時刻]	×	×	○	×	×	×	×	×
文字列(複数行)	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
数値	○	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
URL	○	○	×		×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
チェックボックス	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ラジオボタン	○	○	×	○	×		○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
メニュー(文字列)	○	○	×	○	×	○		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
メニュー(ユーザー)	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
日付	○	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×
時刻	○	○	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×
日付時刻	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×
ファイル	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×
イメージ	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×
自動計算	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×
自動採番	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×
時間量	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×
自動計算	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×
自動ルックアップ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

※ 日付、時刻、日付時刻 を文字列（一行）/（複数行）に変更した場合、「 yyyy/mm/dd hh:mm:ss 」 の書式になります。

※ 時間量を文字列（一行）/（複数行） に変更した場合、「 dd:hh:mm:ss 」 の書式になります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フィールドの順番変更

フィールドの並び順を変更します。

〈！〉レコード一覧ビューやフィールドレイアウトに （ すべて ） を選択すると、ここでの設定が反映されます。

1. ホーム画面 に、フィールドの順番変更をしたいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 閉く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 フィールドの設定」 をクリックする
   「フィールドの設定」画面が表示されます。

5. [順番変更] をクリックする
   「 フィールドの順番変更 」 画面が表示されます。

6. リストから順番を変更したいフィールドを選択して反転表示させ、 を押す
   選択したフィールド名を上下に移動させて、順番を変更します。
   ※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フィールドの削除

フィールドの並び順を変更します。

〈！〉レコード一覧ビューやフィールドレイアウトに （ すべて ） を選択すると、ここでの設定が反映されます。

1. ホーム画面 に、フィールドを削除したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 フィールドの設定」 をクリックする
   「フィールドの設定」画面が表示されます。

5. 削除したいフィールドの [削除] をクリックする
   確認画面が表示されます。

6. はい を押す
   「 フィールドの設定 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ 各フィールドタイプの詳細設定

フィールドの設定画面で、登録されている情報の表示方法を詳細に設定できます。

18 種類のフィールドタイプごとに制限値や初期値、入力幅などを設定できます。

設定された内容は、レコード登録・編集画面および、レコード一覧画面に反映されます。

➢ 全フィールド共通事項

フィールド名	必須入力項目です。最大 100 文字 （ 大文字･小文字を区別 ） まで名前を設定できます。（ ライブラリ内での同一フィールド名は設定できません ）
コメント （ 説明文 ）	そのフィールドに入力すべき内容や入力時の注意点をユーザーに伝えることができます。入力文字数に制限はありません。（ ただし改行することはできません ）

※ 自動ルックアップフィールドに関しては、ルックアップ元のデータを参照する仕様のため、個別に設定内容を変更することはできません。

➢ 文字列（ 1 行）

1 行の文字列を入力するタイプのフィールドです。

入力幅	レコードを登録する・編集画面での入力フィールドの横幅を設定する。 • 半角での文字数幅で 0 ～ 999 文字数まで設定可能 • 0 または設定しない場合は使用するブラウザの標準入力幅 （※ 1）
最大入力文字数	レコードを登録する・編集画面で入力できる最大の文字数を制限する。（※ 2） • 0 ～ 999 文字数まで設定可能 • 0 または設定しない場合は無制限
初期値	レコードの新規追加時にあらかじめ設定しておく値を入力する。
必須項目である	レコードの必須項目に指定する場合チェックする。（※ 3）
ソートを行う	レコード一覧画面で対象フィールドについてレコードの並び替えを行う場合チェックする。（※ 4）
再利用しない	「 再利用して登録する 」 を実行しても、再利用させたくない場合にチェックを入れる。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

➢ 文字列 （複数行）

複数行の文字列を入力するタイプのフィールドです。

入力欄の横幅	**レコードを登録する･編集画面での入力フィールドの横幅を設定する。** • 10 ～ 100 文字数 （半角での文字数幅） から選択、初期設定は 50
入力欄の縦幅	**レコードを登録する･編集画面での入力欄の縦幅を設定する。** • 1 ～ 30 行から選択、初期設定は 5 行
初期値	レコードの新規追加時にあらかじめ設定しておく値を入力する。
必須項目である（※ 3）	レコードの必須項目に指定する場合チェックする。
再利用しない	「 再利用して登録する 」 を実行しても、再利用させたくない場合にチェックを入れる。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

➢ 数値

半角数値を入力するタイプのフィールドです。数値フィールドには、レコードを登録する・編集画面で「＃」マークが表示されます。

最小値	入力する数値の最小値を設定する。 ● 15 桁までの数値が設定可能 ● 小数点を含む数値の指定も可能
最大値	入力する数値の最大値を設定する。 ● 15 桁までの数値が設定可能 ● 小数点を含む数値の指定も可能行
初期値	レコードの新規追加時にあらかじめ設定しておく値を入力する。 ● 「最小値」「最大値」「小数点以下の有効な桁数」の各制限内の値を設定
単位	数値の単位を設定する。 ● ¥ / $ / US$ ＝ 数値の前に表示 ● 円/千円/万円/百万円 ＝ 数値の後に表 ● その他の単位を設定する場合 手順 1.（右で指定）を選択 2.設定したい単位を入力 3.単位の前後表示を選択
小数点以下の有効な桁数	小数点以下の数値を有効にしたい場合、桁数を設定する。 ● 0 ～ 10 桁まで設定可能、初期値は 0 ● 有効な桁数を減らした場合、四捨五入して表示 （但し、OS の処理に依存）
マイナスの表示方法	マイナス値の表示方法を設定します。 次の 4 パターンから選択 「-1024」 「△1024」 「▲1024」 「(1024)」 ※初期設定は 「-1024」
桁区切り「 , 」を使用する	数値に桁区切りのカンマを付与します。集計結果、各レコード一覧ビューにも反映されます。
必須項目である（※ 3）	レコードの必須項目に指定する場合チェックする。
ソートを行う（※ 4）	レコード一覧画面で対象フィールドについてレコードの並び替えを行う場合チェックする。
再利用しない	「 再利用して登録する 」 を実行しても、再利用させたくない場合にチェックを入れる。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

➢ URL

URL を入力するタイプのフィールドです。

入力幅	レコードを登録する・編集画面での入力フィールドの横幅を設定する。 ● 半角 0 ～ 999 文字数まで設定可能 ● 0 または設定しない場合は使用するブラウザの標準入力幅（※ 1）
最大入力文字数 （※ 2）	レコードを登録する・編集画面で入力できる最大文字数を制限する。 ● 0 ～ 999 文字数まで設定可能 ● 0 または設定しない場合は無制限
初期値	レコードの新規追加時にあらかじめ設定しておく値を入力する。
リンク名表示を行う	レコード一覧画面で URL を指定した文字列で表示させる場合チェックする。リンク名で設定した文字列がリンク表示される。リンク名の初期値も設定可能です。 例） URL: http://dekoboko.co.jp リンク名: 凸凹株式会社 ⇒ レコード一覧画面では「凸凹株式会社」と表示される。
必須項目である （※ 3）	レコードの必須項目に指定する場合チェックする。
ソートを行う （※ 4）	レコード一覧画面で対象フィールドについてレコードの並び替えを行う場合チェックする。
再利用しない	「 再利用して登録する 」 を実行しても、再利用させたくない場合にチェックを入れる。

➢ チェックボックス

設定した項目にチェックマークを入れるタイプのフィールドです。

初期値	レコードの新規追加時にあらかじめ設定しておく値を入力する。
再利用しない	「 再利用して登録する 」 を実行しても、再利用させたくない場合にチェックを入れる。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

➢ ラジオボタン

ボタン形式で複数の項目からひとつだけを選択する択一方式のフィールドです。

メニュー項目	選択メニューにしたい項目を設定する。 • 1 行 1 項目で文字列を入力
初期値	レコードの新規追加時にあらかじめ設定しておく値を入力する。
必須項目である（※ 3）	レコードの必須項目に指定する場合チェックする。
ソートを行う（※ 4）	レコード一覧画面で対象フィールドについてレコードの並び替えを行う場合チェックする。
再利用しない	「 再利用して登録する 」 を実行しても、再利用させたくない場合にチェックを入れる。

➢ メニュー （文字列）

メニュー方式で複数の項目から文字列を選択するタイプのフィールドです。

メニュー項目	選択メニューにしたい項目を設定する。 • 1 行 1 項目で文字列を入力
初期値	レコードの新規追加時にあらかじめ設定しておく値を入力する。 **※初期値に何も入力しない場合、 選択時には 「 - - 」 が表示されます。**
必須項目である（※ 3）	レコードの必須項目に指定する場合チェックする。
ソートを行う （※ 4）	レコード一覧画面で対象フィールドについてレコードの並び替えを行う場合チェックする。
再利用しない	「 再利用して登録する 」 を実行しても、再利用させたくない場合にチェックを入れる。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

➢ メニュー（ユーザー）

メニュー方式で登録ユーザーを選択するタイプのフィールドです。

メニュー項目	選択可能なユーザーを設定する。 1. メニュー項目に追加するユーザーの所属するグループをプルダウンメニューから選択 2. メニュー項目に追加するユーザーを反転表示させる。 3. ←追加 を押すと追加される
初期値	レコードの新規追加時にあらかじめ設定しておく値を入力する。「 ログインユーザー 」 を指定すると、レコード登録時にログインしているユーザーの名前が表示されます。（ ログイン前ユーザーが操作する場合は、値は表示されません ） ※ **初期値に何も入力しない場合、もしくは初期値が「 ログインユーザー 」で、ログインユーザーがメニュー項目に含まれない場合「 - - 」が表示されます。**
必須項目である （※ 3）	レコードの必須項目に指定する場合チェックする。
ソートを行う （※ 4）	レコード一覧画面で対象フィールドについてレコードの並び替えを行う場合チェックする。
再利用しない	「 再利用して登録する 」 を実行しても、再利用させたくない場合にチェックを入れる。

➢ 日付

日付タイプのフィールドです。

初期値を現在日付にする	レコードの新規追加時にあらかじめ現在日付が設定された状態にする場合チェックする。 表示書式は以下より選択できます。 2001/9/5、9/5、H13.9.5、平成 13 年 9 月 5 日、平成 13 年 9 月、2001 年 9 月 5 日、2001 年 9 月、9 月 5 日、9 月
日付を手入力する	日付の入力を手入力とする場合チェックする。 • チェックがオフの場合は、2000 年 1 月 1 日～ 2010 年 12 月 31 日までの日付のプルダウンメニューを表示 • プルダウンメニューで選択できない範囲の日付を入力する場合に設定 入力例） 1970 年 3 月 16 日の場合 ⇒ 1970/3/16
必須項目である （※ 3）	レコードの必須項目に指定する場合チェックする。
ソートを行う（※ 4）	レコード一覧画面で対象フィールドについてレコードの並び替えを行う場合チェックする。
再利用しない	「 再利用して登録する 」 を実行しても、再利用させたくない場合にチェックを入れる。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

➢ 時刻

時刻タイプのフィールドです。

初期値を現在時刻にする	レコードの新規追加時にあらかじめ現在時刻が設定された状態にする場合チェックする。 表示書式を以下より選択できます。 15:30、3:30PM、15 時 30 分、午後 3 時 30 分
「秒」表示する	秒まで表示させる場合チェックする。
必須項目である（※ 3）	レコードの必須項目に指定する場合チェックする。
ソートを行う（※ 4）	レコード一覧画面で対象フィールドについてレコードの並び替えを行う場合チェックする。
再利用しない	「 再利用して登録する 」 を実行しても、再利用させたくない場合にチェックを入れる。

➢ 日付時刻

日付と時刻を入力するフィールドです。

初期値を現在日時にする	レコードの新規追加時にあらかじめ現在日時が設定された状態する場合チェックする。 表示書式を以下より選択できます。 2001/9/5 15:30、2001/9/5 3:30PM、平成 13 年 8 月 5 日 15 時 30 分、平成 13 年 9 月 5 日 午後 3 時 30 分、2001 年 9 月 5 日 15 時 30 分、2001 年 9 月 5 日 午後 3 時 30 分、9 月 5 日 15 時 30 分、9 月 5 日 午後 3 時 30 分
「秒」表示する	秒まで表示させる場合チェックする。
現在時刻を手入力する	日付の入力を手入力とする場合チェックする。 • チェックがオフの場合、2000 年 1 月 1 日～ 2010 年 12 月 31 日までの日付のプルダウンメニューを表示 • プルダウンメニューで選択できない範囲の日付を入力する場合に設定 入力例） 1970 年 3 月 16 日 15 時 7 分の場合 ⇒ 1970/3/16 15:07
必須項目である（※ 3）	レコードの必須項目に指定する場合チェックする。
ソートを行う （※ 4）	レコード一覧画面で対象フィールドについてレコードの並び替えを行う場合チェックする。
再利用しない	「 再利用して登録する 」 を実行しても、再利用させたくない場合にチェックを入れる。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

➢ **ファイル**

添付ファイルを設定する場合のフィールドです。 （※ 8）

拡張子	添付ファイルの拡張子を制限する。 • 受け入れる拡張子を入力 （複数の拡張子を設定するときは間に「;（セミコロン）」をいれる） • なにも設定しない場合は全てのファイルの添付が可能 • 添付されたファイルの MIMETYPE は、ファイルの拡張子によって自動的に決定
イメージをインラインで表示する	レコード閲覧画面で gif や jpeg ファイルなどをインライン表示する場合チェックする （※ 5）
必須項目である（※ 3）	レコードの必須項目に指定する場合チェックする。
再利用しない	「 再利用して登録する 」 を実行しても、再利用させたくない場合にチェックを入れる。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

➢ **イメージ URL**

画像ファイルの格納先 URL を入力するタイプのフィールドです。レコード一覧画面、ならびにレコード閲覧画面でインライン表示されます。 （※ 8）

入力幅	レコードを登録する・編集画面での入力フィールドの横幅を設定する。 ● 半角 0 ～ 999 文字数まで設定可能 ● 0 または設定しない場合は使用するブラウザの標準入力幅 （※ 1）
最大入力文字数 （※ 2）	レコードを登録する・編集画面で入力できる最大文字数を制限する。 ● 0 ～ 999 文字数まで設定可能 ● 0 または設定しない場合は無制限
初期値	レコードの新規追加時にあらかじめ設定しておく値を入力する。
拡張子	指定された URL に格納されているファイルの拡張子を制限する。 ● 受け入れる拡張子を入力 ● なにも設定しない場合は全てのファイル指定が可能 （但しブラウザが受け入れるものに限る）
サムネイル表示を行なう	画像ファイルを縮小して表示する場合チェックする。 ※ チェックした場合は、幅・高さのピクセルの設定は必須です。 ● レコード一覧画面、レコード閲覧画面で表示する画像のサイズ（幅・高さ）を指定 ● 1 ～ 999 ピクセルまで設定可能 ● リンク切れ、画像データの真偽などのチェック等は行なわれない
必須項目である（※ 3）	レコードの必須項目に指定する場合チェックする。
ソートを行う （※ 4）	レコード一覧画面で対象フィールドについてレコードの並び替えを行う場合チェックする。
再利用しない	「 再利用して登録する 」 を実行しても、再利用させたくない場合にチェックを入れる。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

➢ **自動計算**

同じレコード内の数値フィールドおよび、自動計算フィールドの値を自動で計算するフィールドです。(※ 6)

単位	数値の単位を設定する。 • ¥ / $ / US$ ＝ 数値の前に表示 • 円/千円/万円/百万円 ＝ 数値の後に表 • その他の単位を設定する場合 手順 1.（右で指定）を選択 2.設定したい単位を入力 3.単位の前後表示を選択
小数点以下の有効な桁数	小数点以下の数値を有効にしたい場合、桁数を設定する。 • 0 ～ 10 桁まで設定可能、初期値は 0
計算内容：四則演算（※ 7）	四則演算を行なう場合、対象のフィールドと、演算内容を指定する。 • フィールドの順番が編集中のフィールドより前にある、数値フィールド、および自動計算フィールドから選択可能 • 定数を指定する場合、定数の入力欄に記入 （ 8 桁の数値、小数点を含む場合は 15 桁の数値まで指定可能） • 計算対象のフィールド値が空の場合は、「 0 」として計算 • 計算対象のフィールドが削除された場合、自動計算フィールドの値はエラー • 計算対象のフィールド値がエラーの場合、計算後のフィールド値についてもエラー
計算内容：合計	複数フィールドの総和を計算する場合、計算対象のフィールドを追加する。 • フィールドの順番が編集中のフィールドより前にある、数値フィールド、および自動計算フィールドから選択可能
計算結果が小数以下の有効な桁数を超えた場合、切り捨てる	計算結果が小数以下の有効な桁数を超えたときに、切り捨て処理を行ないたい場合チェックする。 • チェックなしの場合は四捨五入 （但し、OS の処理に依存）
マイナスの表示方法	マイナス値の表示方法を設定します。 次の 4 パターンから選択 「-1024」 「△1024」 「▲1024」 「(1024)」 ※初期設定は 「-1024」
桁区切り「 , 」を使用する	数値に桁区切りのカンマを付与します。集計結果、各レコード一覧ビューにも反映されます。
ソートを行う （※ 4）	レコード一覧画面で対象フィールドについてレコードの並び替えを行う場合チェックする。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

➢ 自動採番

レコード登録時に 1 ずつ加算される数値を自動的に採番するフィールドです。(※ 9)

値の前に付与する文字列 値の後に付与する文字列	番号の前後に固定文字列を付加します。
開始番号	初期値は 「 1 」 です。9 桁まで登録できます。(1000000000 以上は採番できず、レコードが登録できなくなります)
既存のレコードにも設定する	既にライブラリにレコードが登録されている場合に表示されます。 チェックを付けると、登録済のレコードにも採番がされます。
表示桁数	設定した桁数に対し、桁が不足している場合は 「 0 」 で補われます。2～9 の間で指定できます。初期値は 「 指定なし 」 です。
次に付与する番号	一度自動採番フィールドの設定を行った場合に表示されます。 次のレコード登録時に採番する番号を指定できます。(ただし、既に採番されている番号より小さい番号を指定することはできません)
ソートを行う (※ 4)	レコード一覧画面で対象フィールドについてレコードの並び替えを行う場合チェックする。

➢ 時間量

時間を量、長さで表すことができるフィールドです。

単位	時間量の単位を指定します。 単位 : 日時間分秒／日時間分／日時間／日／時間分秒／時間分／時間／分秒／分／秒
初期値	レコードの新規登録時にあらかじめ設定しておく値を入力する。
表示書式	時間の書式を設定します。 次の 3 パターンから選択。 ※ 初期値は 「 1:23:45:12 」 「 1:23:45:12 」 「 1 日 23 時間 45 分 12 秒 」 「 1d23h45m12s 」
必須項目である (※ 3)	レコードの必須項目に指定する場合チェックする。
ソートを行う (※ 4)	レコード一覧画面で対象フィールドについてレコードの並び替えを行う場合チェックする。
再利用しない	「 再利用して登録する 」 を実行しても、再利用させたくない場合にチェックを入れる。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

➢ **時間計算**

「 日付 」 「 時刻 」 「 日付時刻 」 「 時間量 」 「 時間計算 」 フィールドに登録された時間情報に対して、＋－計算、合計を自動で行うことができるフィールドです。 （※ 10 ）

計算内容：＋－計算	四則演算を行なう場合、対象のフィールドと、演算内容を指定する。 • フィールドの順番が編集中のフィールドより前にある、数値フィールド、および自動計算フィールドから選択可能 • 定数を指定する場合、定数の入力欄に記入 （ 8 桁の数値、小数点を含む場合は 15 桁の数値まで指定可能） • 計算対象のフィールド値が空の場合は、「 0 」として計算 • 計算対象のフィールドが削除された場合、自動計算フィールドの値はエラー • 計算対象のフィールド値がエラーの場合、計算後のフィールド値についてもエラー
計算内容：合計	複数フィールドの総和を計算する場合、計算対象のフィールドを追加する。 • フィールドの順番が編集中のフィールドより前にある、数値フィールド、および自動計算フィールドから選択可能
単位	計算結果が 「 時間量 」 の場合、単位を設定できます。 次の 9 パターンから選択。 ※ 初期値は 「 日時間分秒 」 「 日時間分秒 」 「 日時間分 」 「 日時間 」 「 日 」 「 時間分秒 」 「 時間分 」 「 時間 」 「 分秒 」 「 分 」
表示書式	計算結果によって選択できる書式が異なります。 [日付] 2001/9/5、9/5、H13.9.5、平成 13 年 9 月 5 日、平成 13 年 9 月、2001 年 9 月 5 日、2001 年 9 月、9 月 5 日、9 月 [日付時刻] 2001/9/5 15:30、2001/9/5 3:30PM、平成 13 年 9 月 5 日 15 時 30 分、2001 年 9 月 5 日 午後 3 時 30 分、2001 年 9 月 5 日 15 時 30 分、2001 年 9 月 5 日 午後 3 時 30 分、 [時刻] 15：30、3:30PM、15 時 30 分、午後 3 時 30 分 [時間量] 1:23:45:12、1 日 23 時間 45 分 12 秒、1d23h45m12s
ソートを行う （※ 4）	レコード一覧画面で対象フィールドについてレコードの並び替えを行う場合チェックする。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

※1 標準入力幅はブラウザによって異なります

- Internet Explorer では半角 37 文字
- Netscape Navigator では半角 51 文字

※2 使用するブラウザにより、最大入力文字数が異なります。

例 ） 最大入力文字数に 「 50 」 を設定した場合、以下のようになります。

Internet Explorer では全角半角問わず 50 文字

Netscape Navigator では全角 25 文字、半角 50 文字

※3 必須入力項目にすると、レコードを登録する・編集画面で 「 * 」 マークが表示されます。

※4 レコード一覧画面でフィールド名の横の を押すことでレコードがソートされます。

※5 レコード一覧画面でのインライン表示は レコード一覧ビューの設定 （ フィールドの書式設定 ） で行います。

※6 自動計算処理は以下のタイミングで行なわれます。

- レコードを追加したとき、追加したレコードにおいて自動計算処理
- 自動計算フィールドを新規に追加したとき、既存の全レコードにおいて自動計算処理
- 数値フィールドおよび自動計算フィールドの設定が変更されたとき、既存の全レコードにおいて自動計算処理
- 計算対象のフィールドが削除されたときおよび数値フィールド・自動計算フィールド以外のフィールドタイプに変更されたとき、既存の全レコードにおいてエラー処理
- CSV ファイルでレコードを読み込んだとき、読み込んだレコードにおいて自動計算処理し、CSV ファイルの値は無視
- 文字列置換 で計算結果に影響のあるフィールドの値が変更されたレコードにおいて自動計算処理
- 再ルックアップ で計算結果に影響のあるフィールドの値がルックアップされた場合、 既存の全レコードにおいて自動計算処理

※7 自動計算フィールドの計算結果は、最大 15 桁まで有効です。それ以上の桁数の場合、正しい結果が表示されないときがあります。

※8 画像表示における 「 ファイル 」 フィールドと 「 イメージ URL 」 フィールドの違い

- 「 ファイル 」 フィールドの場合は、指定されたファイルをコピーしてライブラリの一部として デヂエ 内に保存されます。ファイルを変更する場合は、変更後のファイルを再度添付する必要があります。
- 「 イメージ URL 」 フィールドの場合は、指定された URL がレコードに登録されます。この URL に格納されている画像ファイルそのものを参照します。 そのため、指定された URL に格納されている画像ファイルを変更した場合、 デヂエ 側でも画像が変更されます。 URL を指定し直す必要はありません。 画像を一度にアップしたい場合、画像を置くディレクトリを変更したい場合などには、イメージ URL フィールドが、最適です。

※9 自動採番フィールドの注意事項

- CSV ファイルへの書き出しは可能ですが、CSV ファイルの読み込み時に上書きして更新することはできません。
- レコードが削除された場合は欠番となります。
- 以下の状況以外は、「 値の前に付与する文字列 」 「 値の後に付与する文字列 」 「 開始番号 」 「 表示桁数 」 の項目を変更できません。
  - ■ レコード一括削除 によって登録レコード数が 0 になり、レコードを登録する前まで

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ 新規にライブラリを作成 し、レコードを登録する前まで

■ 新規に自動採番フィールドを作成し、レコードを登録する前まで

・ 以下のタイミングで採番した番号は初期化されます。

■ レコード一括削除によって登録レコード数が 0 になった時

■ ライブラリをテンプレート化した時

※10 計算対象に指定できるフィールドとその結果は、フィールドタイプによって異なります。計算の組み合わせは以下のとおりです。

時間計算可能な組み合わせ	*計算結果*
日付 － 日付	時間量
日付 － 日付時刻	時間量
日付 ＋ 時間量	日付
日付 － 時間量	日付
日付時刻 － 日付	時間量
日付時刻 － 日付時刻	時間量
日付時刻 ＋ 時間量	日付時刻
日付時刻 － 時間量	日付時刻
時刻 － 時刻	時間量
時刻 ＋ 時間量	時刻
時刻 － 時間量	時刻
時間量 ＋ 時間量	時間量
時間量 － 時間量	時間量

※ 計算対象を 「 時間計算 」 フィールドとする場合は、その時間計算フィールドの計算結果 （ 「 時間量 」「 日付 」「 日付時刻 」「 時刻 」 のいずれか ） によって、プルダウンメニューに表示されるフィールドが異なります。計算可能な組み合わせは、上の表と同様です。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

効率よく検索したい

絞り込みを設定することで、レコード一覧画面から簡単に目的の検索結果を表示させることができます。

「 絞り込み 」 とは、検索条件を保存しておくことができる機能をいいます。

■ 絞り込みの追加

絞り込みを追加します。

1. ホーム画面 に、絞り込みを追加したいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [絞り込み] をクリックする
   「 絞り込みの設定 」 画面が表示されます。

6. 追加する を押す
   「 絞り込みの追加 」 画面が表示されます。
   ※ 既に存在する絞り込みを利用して新たに絞り込みを設定する場合は、52 ページの「絞り込みのコピー」をご参照ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

7. 必要項目を入力する

- 絞り込み名

  必須項目です。

  ※ 既に存在する絞り込み名は設定できません。

- 絞り込み条件の設定

  1. 絞り込み方法を選択する

     ※ 絞込条件 タブが選択されていることを、確認してください。

     複数の条件を設定した場合、プルダウンメニューから絞り込み方法を選択します。

     - 「 以下の全ての条件を満たす場合 」 （ AND 検索）
     - 「 以下のいずれかの条件を満たす場合 」 （ OR 検索）

     ※ AND 条件と OR 条件を同時に満たす絞り込み条件を設定こともできます。設定方法は、42 ページの 「AND 条件と OR 条件を同時に満たす絞り込み条件の設定を行いたい」をご覧ください。

  2. 絞り込み対象フィールドを指定する

     プルダウンメニューから絞り込み対象にしたいフィールド名を指定します。「 いずれかのフィールド 」 を指定すると、全てのフィールドが対象になります。

  3. 絞り込みの条件を指定する

     - 文字列、数値、日付等を入力します。入力の方法は 45 ページの One Point をご覧ください。
     - 検索演算子を指定します。
     - 設定条件を増やすときは、条件を増やす を押し、減らすときは 削除する を押します。

     ※ 絞り込み対象フィールドのフィールドタイプによって有効な検索演算子が異なります。詳しくは 47 ページの「有効な検索演算子」をご覧ください。

  4. 登録する を押す

     「 絞り込みの設定 」 画面に戻ります。

※ フィールドにアクセス権が制限されている場合は、実行するユーザーが閲覧可能なフィールドのみが表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ AND 条件と OR 条件を同時に満たす絞り込み条件の設定を行いたい ◆

AND 条件と OR 条件を同時に満たす絞り込み条件の設定するには、さらに絞り込む条件 タブを利用します。設定例は、以下をご覧ください。

ONE POINT

▸ AND 条件と OR 条件を同時に満たす絞り込み条件の設定例

［ さらに絞り込む条件 ］ を利用することで、以下のような AND 条件と OR 条件を同時に設定することが可能です。

例）担当者が、田中さんか佐藤さんで、対応状況が完了になっているレコードを絞り込む。

絞込条件

［ 以下のいずれかの条件を満たす場合 ］ （ OR 条件 ）			
・「 担当者 」 フィールド	が	田中	と同じ
・「 担当者 」 フィールド	が	佐藤	と同じ

さらに絞り込む条件

［ 以下のすべての条件を満たす場合 ］ （ AND 条件 ）			
・「 状況 」 フィールド	が	完了	と同じ

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

▸ AND 条件と OR 条件を同時に満たす絞り込み条件の設定

1. 絞り込み方法を選択する

※ 絞込条件 タブが選択されていることを、確認してください。

複数の条件を設定した場合、プルダウンメニューから絞り込み方法を選択します。

・「 以下の全ての条件を満たす場合 」 （ AND 検索）

・「 以下のいずれかの条件を満たす場合 」 （ OR 検索）

2. 絞り込み対象フィールドを指定する

プルダウンメニューから絞り込み対象にしたいフィールド名を指定します。

「 いずれかのフィールド 」 を指定すると、全てのフィールドが対象になります。

3. 絞り込みの条件を指定する

・ 文字列、数値、日付等を入力します。入力の方法は 45 ページの one point をご覧下さい。

・ 検索演算子を指定します。

・ 設定条件を増やすときは、条件を増やす を押し、減らすときは 削除する を押します。

※ 絞り込み対象フィールドのフィールドタイプによって有効な検索演算子が異なります。詳しくは 47 ページをご覧ください。

4. さらに絞り込む条件 タブをクリックする。

複数の条件を設定した場合、プルダウンメニューから絞り込み方法を選択します。

・「 以下の全ての条件を満たす場合 」 （ AND 検索）

・「 以下のいずれかの条件を満たす場合 」 （ OR 検索）

5. 絞り込み対象フィールドを指定する

プルダウンメニューから絞り込み対象にしたいフィールド名を指定します。

「 いずれかのフィールド 」 を指定すると、全てのフィールドが対象になります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

6. 絞り込みの条件を指定する

・ 文字列、数値、日付等を入力します。入力の方法は 45 ページの one point をご参照ください。

・ 検索演算子を指定します。

・ 設定条件を増やすときは、条件を増やす を押し、減らすときは 削除する を押します。

※ 絞り込み対象フィールドのフィールドタイプによって有効な検索演算子が異なります。詳しくは 46 ページ をご覧ください。

7. 登録する を押す

「 絞り込みの設定 」 画面に戻ります。

〈 ！ 〉 「 さらに絞り込み条件 」 を入力した際は必ず さらに絞り込む条件 タブの画面にて 登録する を押してください。

「 さらに絞り込み条件 」 を入力されていても、 絞込条件 タブ画面にて 登録する を押すと、「 さらに絞り込み条件 」 がクリアされ、「絞込条件」のみが反映された絞り込みが登録されます。

ONE POINT

絞り込み条件の設定方法

メニュー（文字列） ラジオボタン	設定されている項目がプルダウンメニューで表示されます
メニュー（ユーザー） 登録者、更新者	デヂエ に設定されているユーザーがプルダウンメニューで表示されます 「 ログインユーザー 」 の絞り込みを実行すると、絞り込みの対象が デヂエ にログインして絞り込みを実行しているユーザーになります。
日付、日付時刻、時刻 登録日時、更新日時	プルダウンメニューから日付、時刻を選択できます。選択項目の詳細は、以下のページの one point をご覧ください。 半角文字を利用して直接入力も行えます

※ **全角/半角は区別します。（ 数値は半角 ）**

※ **大文字/小文字は区別しません。**

※ **文字列や数値等が何も入っていないレコードを検索したい場合は、入力フィールドには何も記入せず、検索演算子を 「 と同じ 」 に設定します。**

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

日付、日付時刻、登録日時、更新日時フィールドの条件指定

今日、昨日、明日：	実行している日から換算します。
今週、先週、来週：	実行している週から換算して、日曜から土曜で区切ります。
今月、先月、来月：	実行している月から換算して、1 日から月末日で区切ります。
今年、昨年、来年：	実行している年から換算して、1 月から 12 月で区切ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

有効な検索演算子

フィールドタイプ ＼ 有効な検索演算子	と同じ	と異なる	を含む	を含まない	以降	以前	より大きい	以上	より小さい	以下	チェック済み	未チェック
文字列(一行)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
文字列(複数行)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
数値	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
URL	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
チェックボックス(※1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
ラジオボタン(※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
メニュー(文字列) (※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
メニュー(ユーザー)(※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
日付	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
時刻	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
日付時刻	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
ファイル	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
イメージ	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
自動計算	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
自動採番	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
時間量	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
自動計算(※2)	○	○	×	×	△	△	△	△	△	△	×	×
自動ルックアップ(※3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
レコード番号	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
登録者(※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
更新者(※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
登録日時	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
更新日時	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×

※1 直接入力時のみ△が有効となります。

※2 計算結果が「日付」「時刻」「日付時刻」の場合は「以降」「以前」
「時間量」の場合は「より大きい」「以上」「より小さい」「以下」が有効となります。

※3 ルックアップしたデータのフィールドタイプに合わせた検索演算子が有効となります。

〈！〉以下の場合は全ての検索演算子が有効となります。

- リレーションの設定がされていない「自動ルックアップ」フィールド
- 計算の設定がされていない「自動計算」「時間計算」フィールド

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ 絞り込みの編集

絞り込みの設定を編集します。

1. ホーム画面 に、絞り込みを編集したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [絞り込み] をクリックする
   「 絞り込みの設定 」 画面が表示されます。

6. 編集したい絞り込みを選択して反転表示させ、 を押す
   「 絞り込みの編集 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

7. 必要項目を入力する

- 絞り込み名

  必須項目です。

  ※ 既に存在する絞り込み名は設定できません。

- 絞り込み条件の設定

  1. 絞り込み方法を選択する

     ※ 絞込条件 タブが選択されていることを、確認してください。

     複数の条件を設定した場合、プルダウンメニューから絞り込み方法を選択します。

     - 「 以下の全ての条件を満たす場合 」 （ AND 検索）
     - 「 以下のいずれかの条件を満たす場合 」 （ OR 検索）

     ※ AND 条件と OR 条件を同時に満たす絞り込み条件を設定こともできます。設定方法は、50 ページの 「AND 条件と OR 条件を同時に満たす絞り込み条件の設定を行いたい」をご覧ください。

  2. 絞り込み対象フィールドを指定する

     プルダウンメニューから絞り込み対象にしたいフィールド名を指定します。「 いずれかのフィールド 」 を指定すると、全てのフィールドが対象になります。

  3. 絞り込みの条件を指定する

     - 文字列、数値、日付等を入力します。入力の方法は 45 ページの One Point をご覧ください。
     - 検索演算子を指定します。
     - 設定条件を増やすときは、条件を増やす を押し、減らすときは 削除する を押します。

     ※ 絞り込み対象フィールドのフィールドタイプによって有効な検索演算子が異なります。詳しくは 47 ページの「有効な検索演算子」をご覧ください。

  4. 登録する を押す

     「 絞り込みの設定 」 画面に戻ります。

※ フィールドにアクセス権が制限されている場合は、実行するユーザーが閲覧可能なフィールドのみが表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ AND 条件と OR 条件を同時に満たす絞り込み条件の設定を行いたい ◆

AND 条件と OR 条件を同時に満たす絞り込み条件の設定するには、さらに絞り込む条件 タブを利用します。設定例は、以下をご覧ください。

ONE POINT

▶ AND 条件と OR 条件を同時に満たす絞り込み条件の設定例

［ さらに絞り込む条件 ］ を利用することで、以下のような AND 条件と OR 条件を同時に設定することが可能です。

例）担当者が、田中さんか佐藤さんで、対応状況が完了になっているレコードを絞り込む。

絞込条件

［ 以下のいずれかの条件を満たす場合 ］ （ OR 条件 ）			
・「 担当者 」 フィールド	が	田中	と同じ
・「 担当者 」 フィールド	が	佐藤	と同じ

さらに絞り込む条件

［ 以下のすべての条件を満たす場合 ］ （ AND 条件 ）			
・「 状況 」 フィールド	が	完了	と同じ

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

▸ AND 条件と OR 条件を同時に満たす絞り込み条件の設定

8. 絞り込み方法を選択する

※ 絞込条件 タブが選択されていることを、確認してください。

複数の条件を設定した場合、プルダウンメニューから絞り込み方法を選択します。

・「 以下の全ての条件を満たす場合 」 （ AND 検索）

・「 以下のいずれかの条件を満たす場合 」 （ OR 検索）

9. 絞り込み対象フィールドを指定する

プルダウンメニューから絞り込み対象にしたいフィールド名を指定します。

「 いずれかのフィールド 」 を指定すると、全てのフィールドが対象になります。

10. 絞り込みの条件を指定する

・ 文字列、数値、日付等を入力します。入力の方法は こちら 45 ページをご参照ください。

・ 検索演算子を指定します。

・ 設定条件を増やすときは、条件を増やす を押し、減らすときは 削除する を押します。

※ 絞り込み対象フィールドのフィールドタイプによって有効な検索演算子が異なります。詳しくは 47 ページをご覧ください。

11. さらに絞り込む条件 タブをクリックする。

複数の条件を設定した場合、プルダウンメニューから絞り込み方法を選択します。

・「 以下の全ての条件を満たす場合 」 （ AND 検索）

・「 以下のいずれかの条件を満たす場合 」 （ OR 検索）

12. 絞り込み対象フィールドを指定する

プルダウンメニューから絞り込み対象にしたいフィールド名を指定します。

「 いずれかのフィールド 」 を指定すると、全てのフィールドが対象になります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

13. 絞り込みの条件を指定する

・ 文字列、数値、日付等を入力します。入力の方法は 45 ページ をご参照ください。

・ 検索演算子を指定します。

・ 設定条件を増やすときは、[条件を増やす] を押し、減らすときは [削除する] を押します。

※ 絞り込み対象フィールドのフィールドタイプによって有効な検索演算子が異なります。詳しくは 47 ページ をご覧ください。

14. [登録する] を押す

「 絞り込みの設定 」 画面に戻ります。

〈 ！ 〉 「 さらに絞り込み条件 」 を入力した際は必ず [さらに絞り込む条件] タブの画面にて [登録する] を押してください。

「 さらに絞り込み条件 」 を入力されていても、 [絞込条件] タブ画面にて [登録する] を押すと、「 さらに絞り込み条件 」 がクリアされ、「絞込条件」のみが反映された絞り込みが登録されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ 絞り込みのコピー

登録されている絞り込みをコピーします。

1. ホーム画面 に、絞り込みをコピーしたいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 閉く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [絞り込み] をクリックする
   「 絞り込みの設定 」 画面が表示されます。

6. コピーしたい絞り込みを選択して反転表示させ、 コピーする を押す

   コピー元の絞り込み名の末尾に 「 -1 」 等の数字のついたフィールド名が設定されます。
   ※ 絞り込み名や、絞り込み条件の変更は、47 ページの 「絞込みの編集」 を参考にしてください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ 絞り込みの順番変更

登録されている絞り込みの順番を変更します。
レコード一覧画面の絞り込みのプルダウンメニューに表示させる順番を変更します。

1. ホーム画面 に、絞り込みの順番を変更したいライブラリ（ [ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [絞り込み] をクリックする
   「 絞り込みの設定 」 画面が表示されます。

6. 順番を変更したい絞り込みを選択して反転表示させ、 を押し、選択した絞り込み名の表示を上下に移動させ、順番を変更します。
   ※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ 絞り込みの削除

登録されている絞り込みを削除します。

7. ホーム画面 に、絞り込みを削除したいライブラリ（[ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

8. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

9. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

10. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
    「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

11. [絞り込み] をクリックする
    「 絞り込みの設定 」 画面が表示されます。

12. 削除したい絞り込みを選択して反転表示させ、 を押す
    確認画面が表示されます。

13. を押す
    「 絞り込みの設定 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

入力しやすくしたい

データを入力しやすくしたい場合は、フィールドレイアウトを設定します。

「 フィールドレイアウト 」 とは、レコードの閲覧・編集画面で表示されるフィールドを指定する機能です。フィールドレイアウトを活用すると、快適な登録作業が行えるようになります。

また、閲覧の際のレイアウトの選択、書式・条件書式の設定が可能になり、閲覧画面をよりわかりやすくすることができます。

■ フィールドレイアウトの追加

フィールドレイアウトを追加します。

1. ホーム画面 に、フィールドレイアウトを追加したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリビューの設定 」 をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. [フィールドレイアウト] をクリックする
   「 フィールドレイアウトの設定 」 画面が表示されます。

6. 追加する を押す
   「 フィールドレイアウトの追加 」 画面が表示されます。
   ※ 既に存在するフィールドレイアウトを利用して新たにフィールドレイアウトを設定する場合は、64 ページの「フィールドレイアウトのコピー」をご覧ください。
   ※ あらかじめ、レコード情報を含む全てのフィールドを表示する 「 （すべて） 」 が登録されています。これを編集、コピー、削除することはできません。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

7. フィールドレイアウト名を入力し、次へ >> を押す

「 フィールドレイアウトの編集 」 画面が表示されます。

※ 既に存在するフィールドレイアウト名は設定できません。

8. ここでは必要に応じて以下についての設定ができます。

- **表示フィールド・表示方式の設定** （56 ページ）

  レコード閲覧・追加・編集画面に表示するフィールドの選択、レコードを続けて表示させる設定、レコード閲覧画面のレイアウトの設定をすることができます。

- **書式・条件書式の設定** （58 ページ）

  レコード閲覧画面のフィールドの書式・条件書式および、 レコード追加・編集画面のフィールドコメントの書式設定を設定することができます。

◆ 表示フィールド・表示方式の設定 ◆

※ 表示フィールド・表示方式 のタブが選択されていることを確認してください。

レコード情報 および フィールドの表示／非表示

1. 「 表示させる項目 」「表示させたくない項目 」 一覧から、設定を変更したいレコード情報、フィールド名を選択し、反転表示させる
2. ← 表示 非表示 → を押し、移動させる

※ 必須入力フィールドには、フィールド名の後ろに 「 * 」 が表示され、はじめから「 表示させるフィールド 」 に表示されています。必須入力フィールドを非表示にすることはできません。

フィールドを横方向に続けて表示させる設定

1. 「 表示させるフィールド 」 から、続けて表示させたいフィールドを選択し、反転表示させる
2. 続けて表示 を押す

フィールド名の先頭に 「 & 」 が表示され、上のフィールドと続けて表示されることを確認できます。

※ 続けて表示の設定を解除したい場合は、フィールドを選択し、再度 続けて表示 を押します。

※ レコード情報に続けて表示の設定をすることはできません。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

表示させるフィールドの順番変更

1. 「 表示させるフィールド 」 から、順番を変更したいフィールドを選択し、反転表示させる
2. を押す
   ※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。
   ※ レコード情報の表示順を変更することはできません。

レコード閲覧のレイアウト

以下のいずれかの設定にチェック ◉ を 入れてください。
※初期値は 「 他の行のレイアウトとあわせる 」 にチェック ◉ が入っています。

○ 他の行のレイアウトとあわせる
画面を 1 つのテーブルと見なすため、フィールド名の位置、レコード値の表示位置が他の列と揃っている。

○ 他の行のレイアウトにあわせない
各行内に更にテーブルを配置し、他の行のレイアウト位置とは独立してフィールド名やレコード値が配置される。

※ 設定中のフィールドレイアウトのプレビューを表示できます。詳しくは 59 ページの OnePoint をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ 書式・条件書式の設定 ◆

※ レコード閲覧画面の書式・条件書式の設定を行う場合は 書式・条件書式 タブをクリックし表示を切り替えてください。

フィールドレイアウトの書式設定

レコード閲覧画面の各フィールド名およびレコード値の背景色やレコードの表示位置、文字を折り返す設定、文字のスタイル、色などの書式が設定できます。
また、レコード編集画面のコメントの表示位置、文字サイズ・色を変更することも可能です。

1. 書式を設定したいフィールドの［ 変更 ］をクリックする
「 フィールドの書式の設定 」 画面が表示されます。
2. 書式を変更したい箇所を設定し、 変更する をクリックする
「 書式・条件書式 」 の設定画面に戻ります。

フィールドの書式についての詳細は、111 ページの「 書式設定の詳細 」をご覧ください。

セル条件書式の設定

1. 書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする
「 フィールドレイアウト条件書式の設定 」 画面が表示されます。
2. 追加する をクリックし、必要な条件を入力する

設定する をクリックすると、設定が追加されます。

フィールドの条件書式についての詳細は、 111 ページの「 セル条件書式の設定の詳細 」をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

プレビュー表示

設定中のフィールドレイアウトが、実際のレコード閲覧画面、レコード登録・編集画面でどのように表示されるか、プレビューすることができます。 また、書式の設定を行った際、レコード閲覧画面の書式の設定もプレビュー画面に反映されます。

表示フィールド・表示方式 、 書式・条件書式 画面の上部にある［ レコード閲覧のプレビュー ］または［ レコード追加・編集のプレビュー ］をクリックすると画面にプレビューが表示されます。

※［ レコード閲覧のプレビュー ］をクリックすると、レコード閲覧画面のプレビューが表示されます。
※［ レコード追加・編集のプレビュー ］をクリックすると、レコード追加・編集画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フィールドレイアウトの編集

フィールドレイアウトの設定を編集します。

〈！〉 「 （ すべて ） 」 のフィールドの表示順を変更する場合は、フィールドの設定で行います。

1. ホーム画面 に、フィールドレイアウトを編集したいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリビューの設定 」 をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. [フィールドレイアウト] をクリックする
   「 フィールドレイアウトの設定 」 画面が表示されます。

6. 編集したいフィールドレイアウト名を選択して反転表示させ、 編集する を押す
   「 フィールドレイアウトの編集 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

7. 項目を編集します。

▸ **フィールドレイアウト名の変更**

1．レコード一覧ビュー名の横の［ 変更する ］をクリックする

2．変更するフィールドレイアウト名を入力する

※ 既に存在するレコード一覧ビュー名は設定できません。

3． を押す [変更する]

「 フィールドレイアウトの編集 」 画面が表示されます。

▸ **表示フィールド・表示方式の編集**（61 ページ）

レコード閲覧・追加・編集画面に表示するフィールドの選択、レコードを続けて表示させる設定、レコード閲覧画面のレイアウトの設定をすることができます。

▸ **書式・条件書式の編集**（63 ページ）

レコード閲覧画面のフィールドの書式・条件書式および、 レコード追加・編集画面のフィールドコメントの書式設定を設定することができます。

◆ 表示フィールド・表示方式の編集 ◆

※ [表示フィールド・表示方式] のタブが選択されていることを確認してください。

▸ レコード情報 および フィールドの表示／非表示

1. 「 表示させる項目 」「表示させたくない項目 」 一覧から、設定を変更したいレコード情報、フィールド名を選択し、反転表示させる
2. [← 表示] [非表示 →] を押し、移動させる

※ 必須入力フィールドには、フィールド名の後ろに 「 * 」 が表示され、はじめから「 表示させるフィールド 」 に表示されています。必須入力フィールドを非表示にすることはできません。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

フィールドを横方向に続けて表示させる設定

1. 「 表示させるフィールド 」 から、続けて表示させたいフィールドを選択し、反転表示させる
2. 続けて表示 を押す

   フィールド名の先頭に 「 & 」 が表示され、上のフィールドと続けて表示されることを確認できます。

   ※ 続けて表示の設定を解除したい場合は、フィールドを選択し、再度 続けて表示 を押します。

   ※ レコード情報に続けて表示の設定をすることはできません。

表示させるフィールドの順番変更

1. 「 表示させるフィールド 」 から、順番を変更したいフィールドを選択し、反転表示させる
2. を押す

   ※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

   ※ レコード情報の表示順を変更することはできません。

レコード閲覧のレイアウト

以下のいずれかの設定にチェック を 入れてください。

※初期値は 「 他の行のレイアウトとあわせる 」 にチェック が入っています。

○ 他の行のレイアウトとあわせる

画面を１つのテーブルと見なすため、フィールド名の位置、レコード値の表示位置が他の列と揃っている。

○ 他の行のレイアウトにあわせない

各行内に更にテーブルを配置し、他の行のレイアウト位置とは独立してフィールド名やレコード値が配置される。

※ 設定中のフィールドレイアウトのプレビューを表示できます。詳しくは 59 ページの OnePoint をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ 書式・条件書式の編集 ◆

※ レコード閲覧画面の書式・条件書式の設定を行う場合は 書式・条件書式 タブをクリックし表示を切り替えてください。

フィールドレイアウトの書式設定

レコード閲覧画面の各フィールド名およびレコード値の背景色やレコードの表示位置、文字を折り返す設定、文字のスタイル、色などの書式が設定できます。
また、レコード編集画面のコメントの表示位置、文字サイズ・色を変更することも可能です。

1. 書式を設定したいフィールドの［ 変更 ］をクリックする
「 フィールドの書式の設定 」 画面が表示されます。
2. 書式を変更したい箇所を設定し、 変更する をクリックする
「 書式・条件書式 」 の設定画面に戻ります。

フィールドの書式についての詳細は、 111 ページの「書式設定の詳細 」 をご覧ください。

セル条件書式の設定

1. 書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする
「 フィールドレイアウト条件書式の設定 」 画面が表示されます。
2. 追加する をクリックし、必要な条件を入力する

設定する をクリックすると、設定が追加されます。

フィールドの条件書式についての詳細は、 111 ページの「 セル条件書式の設定の詳細 」をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フィールドレイアウトのコピー

既存のフィールドレイアウトの設定条件をコピーして、新たなフィールドレイアウトを作成します。

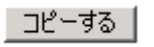
1. ホーム画面 に、フィールドレイアウトをコピーしたいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリビューの設定 」 をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. [フィールドレイアウト] をクリックする
   「 フィールドレイアウトの設定 」 画面が表示されます。

6. コピーしたいフィールドレイアウトを選択して反転表示させ、  を押す
   コピー元のフィールドレイアウト名の末尾に 「 -1 」 等の数字のついたフィールドレイアウト名で登録されます。

※フィールドレイアウト名を変更したい場合は 60 ページの「フィールドレイアウトの編集」をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フィールドレイアウトの順番変更

レコード編集画面のフィールドレイアウトのプルダウンメニューに表示させる順番を変更します。

1. ホーム画面 に、フィールドレイアウトの順番変更をしたいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリビューの設定 」 をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. [フィールドレイアウト] をクリックする
   「 フィールドレイアウトの設定 」 画面が表示されます。

6. 順番を変更したいフィールドレイアウトを選択して反転表示させ、を押す
   選択したフィールドレイアウト名を上下に移動させ、順番を変更します
   ※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フィールドレイアウトの削除

登録されているフィールドレイアウトを削除します。

1. ホーム画面 に、フィールドレイアウトを削除したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリビューの設定 」 をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. [フィールドレイアウト] をクリックする
   「 フィールドレイアウトの設定 」 画面が表示されます。

6. 削除したいフィールドレイアウトを選択して反転表示させ、 削除する を押す
   確認画面が表示されます。

7. はい を押す
   「 フィールドレイアウトの設定 」 画面に戻ります。

(ア) デフォルトビュー に設定されていたフィールドレイアウトを削除した場合、自動的に「 （ すべて ） 」 がデフォルト表示に設定されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ デフォルトビュー

レコードの編集画面をはじめに表示したときのフィールドレイアウトを設定できます。
初期値は、「 （ すべて ） 」 がデフォルト表示に設定されています。

1. ホーム画面 に、デフォルトビューを設定したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリビューの設定 」 をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. [フィールドレイアウト] をクリックする
   「 フィールドレイアウトの設定 」 画面が表示されます。

6. デフォルトに設定したいフィールドレイアウトを選択して反転表示させ
   デフォルトビュー を押す
   ※ デフォルト表示のフィールドレイアウトには 「 ⇒ 」 が付きます。
   ※ デフォルト表示に設定されていたフィールドレイアウトを削除した場合、自動的に「 （ すべて ） 」 がデフォルト表示に設定されます。
   ※ デフォルト表示の設定は、「 ライブラリ管理メニュー 」 ＞ 「 ライブラリビューの設定 」 ＞ [デフォルトビュー] からも行えます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

使いやすい表示にしたい

レコード一覧ビューを設定することで、ライブラリの利用状況に応じて必要なフィールドのみを表示させることができます。また、カレンダーのように時系列にそった表示をさせることも可能です。

文字・フィールドに色を付ける、レコード一覧ビューのデフォルトビューを設定する、レコードを横方向に並べて表示することなどが可能です。

※　レコード一覧ビューを設定していない状態では、はじめに表示されるレコード一覧ビューとして 「 （ すべて ） 」 が登録されています。（ すべて ） は、登録されている全フィールドが表示され、レコード情報は非表示となっています。

※　ヘッダ・フッタのカスタマイズの設定で、レコード一覧ビューが非表示の設定になっている場合は、実行できません。データを入力しやすくしたい場合は、フィールドレイアウトを設定します。

■ レコード一覧ビューの追加

レコード一覧ビューを追加します。

1. ホーム画面 に、レコード一覧ビューを追加したいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから [ライブラリビューの設定] をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. [レコード一覧ビュー] をクリックする
   「 レコード一覧ビューの設定 」 画面が表示されます。
   ※　既に存在するレコード一覧ビューを利用して新たにレコード一覧ビューを設定する場合は、64 ページ「 レコード一覧ビューのコピー 」をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

6. 追加する を押す
「 レコードー覧ビューの追加 」 画面が表示されます。

7. レコードー覧ビュー名を入力する
※ 既に存在するレコードー覧ビュー名は設定できません。

8. 次へ >> を押す
「 レコードー覧ビューの編集 」 画面が表示されます。

9. 必要項目を設定します。

レコード表示方式の設定

レコード表示方式によって、設定する内容が異なります。まず、レコード表示方式を選択してください。

・ レコードー覧形式 （69 ページ）	レコードを 1 行ずつ表示する形式。ライブラリ作成時の初期値。
・ レコード閲覧形式 （72 ページ）	レコード閲覧画面と同じように、1 レコードをカードのように表示する形式。横方向に 3 レコード分まで表示することが可能。
・ カレンダー形式 （73 ページ）	カレンダーのように時系列で表示する方式。時系列にそってレコードを 1 行ずつ表示する 「 カレンダーー覧表示 」 、1 ヶ月間のレコードを月カレンダーのように表示する 「 カレンダー表示 」 と 2 つの表示を利用することが可能。

◆ レコード表示方式 __ レコードー覧形式の設定 ◆

ここでは必要に応じて以下についての設定ができます。

・ 表示フィールド・表示方式の設定 （70 ページ）
レコードー覧画面に表示するフィールドの選択、表示させるフィールドの順番変更、閲覧・編集アイコン表示の設定ができます。

・ 書式・条件書式の設定 （70 ページ）
レコードー覧画面のフィールドの書式・条件書式が設定できます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

表示フィールド・表示方式の設定

※ 表示フィールド・表示方式 のタブが選択されていることを確認してください。

・ レコード一覧ビューに表示するフィールドの設定

1. 表示させたいフィールド、あるいは表示させたくないフィールドを選択し、反転表示する。
2. ← 表示 あるいは 非表示 → を押し、「 表示させるフィールド 」 「 表示させないフィールド 」 のリストへそれぞれ移動させる。

※ リストにある 「 * 」 は、レコードがあらかじめ記憶しているレコード情報です。

・ 表示させるフィールドの順番変更

1. 「 表示させるフィールド 」 リストで、順番を変更したいフィールドを選択して反転表示させ、 を押す
2. 選択したフィールドを上下に移動させ、順番を変更します。
   画面最下段の プレビュー で確認できます。

※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

※ レコード情報は順番変更することができません。

・ 閲覧・編集のアイコン表示の設定

レコード一覧画面の左側の［ 閲覧 ］ 、［ 編集 ］ のリンクを、テキストで表示するか、アイコンで表示するかの設定ができます。初期値はテキスト表示です。

現在設定されているものと異なる形式に変更したい場合は、「 ● 閲覧・編集のアイコン表示 」 にて、アイコン表示に変更する あるいは テキスト表示に変更する を押し、設定を変更します。

※ 設定中のレコード一覧ビューのプレビューを表示できます。詳しくは 78 ページの one point をご覧ください。

書式・条件書式の設定

※ レコード一覧画面の書式・条件書式の設定を行う場合は 書式・条件書式 タブをクリックし表示を切り替えてください。

※ 書式・条件書式 タブをクリックすると、「 レコード一覧ビューので書式・条件書式画面 」 が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

・ **フィールドの書式設定**

レコード一覧ビューごとに各フィールドの横幅や背景色、レコードの表示位置、文字のスタイル、色などの書式が設定できます。

1. 書式を設定したいフィールドの［ 変更 ］をクリックする

「 フィールドの書式の設定 」 画面が表示されます。

2. 書式を変更したい箇所を設定し、 変更する を押す
「 書式・条件書式 」 の設定画面に戻ります。
フィールドの書式についての詳細は、111 ページの 「 書式設定の詳細 」 をご覧ください。

・ **セル条件書式の設定**

1. セル条件書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする
「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。

2. 追加する を押し、必要な条件を入力する

設定する を押すと、設定が追加されます。
フィールドの条件書式についての詳細は、111 ページの 「 セル条件書式の設定の詳細 」 をご覧ください。

※ 設定中のレコード一覧ビューのプレビューを表示できます。詳しくは 78 ページの one point をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ レコード表示方式 __ レコード閲覧形式の設定 ◆

※ レコード一覧ビューの表示方式に 「 レコード閲覧形式 」 を選択した場合、書式・条件書式の設定は指定されたフィールドレイアウトの設定を引き継ぎます。

- **横に並ぶレイアウト数**

  レコードを横方向に 1 ～ 3 個まで並べることができます。プルダウンメニューから選択します。

- **フィールドレイアウト**

  フィールドレイアウトをレコード一覧ビューに反映させることができます。プルダウンメニューから選択します。

  ※ フィールドレイアウトは、あらかじめ設定されている必要があります。

  ※ 設定中のレコード一覧ビューのプレビューを表示できます。詳しくは 78 ページの one point をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ レコード表示方式 __ カレンダー形式の設定 ◆

ここでは必要に応じて以下についての設定ができます。

・ 表示フィールド・表示方式の設定 （73 ページ）

キーとなる日付フィールドの選択、初期表示の選択、カレンダー一覧表示画面に表示するフィールドの選択、表示させるフィールドの順番変更、閲覧・編集アイコン表示の設定ができます。

・ 書式・条件書式の設定 （77 ページ）

カレンダー一覧表示画面のフィールドの書式・条件書式が設定できます。

▸表示フィールド・表示方式の設定

※ 表示フィールド・表示方式 のタブが選択されていることを確認してください。

「 カレンダー形式共通の設定 」

・ キーとなる日付フィールドの設定

プルダウンメニューからキーとなる日付フィールドを設定してください。

プルダウンメニューには、対象となるフィールドのみ表示されます。

カレンダー一覧表示画面では、キーとなる日付フィールドの値が、時系列で並べる際の基準になります。

※ 初期値は、[登録日時] フィールドになっています。

※ キーとなる日付フィールドは、以下のフィールドタイプから選択可能です。

・登録日時

・更新日時

・日付フィールド

・日付時刻フィールド

・時間計算フィールド （ 計算結果が日付・日付時刻フィールド ）

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

・ **初期表示を選択**

カレンダー形式のレコード一覧ビューを利用した時に、はじめに表示させる画面をカレンダー一覧画面・カレンダー表示画面から選択することができます。

初期表示をどちらに設定しても、画面にて表示の切り替えは可能です。

※ 初期値は、[カレンダー一覧表示] になっています。

「 カレンダー一覧表示の設定 」

・ **表示開始月・表示期間の設定**

[●カレンダー一覧表示の設定] の下にあるプルダウンメニューから、 表示開始月・表示期間を設定してください。

表示開始月は、プルダウンメニューで以下から選択していただけます。

3 ヶ月前

2 ヶ月前

今月

2 ヶ月後

3 ヶ月後

(月指定)

※ (月指定) を選択した際は、年月を直接指定することができます。

※ 月指定にて指定できる期間は、2000 年 1 月 ～ 2010 年 12 月までとなっております。

※ 初期値は [今月] になっています。

表示期間は、1 ヶ月 ～ 12 ヶ月まで期間を選択できます。

※初期値は [3 ヶ月] になっています。

・ **カレンダー一覧ビューに表示するフィールドの設定**

1. 表示させたいフィールド、あるいは表示させたくないフィールドを選択し、反転表示する。

※ キーとなる日付フィールドは表示するフィールドに指定することができません。

2. ← 表示 あるいは 非表示 → を押し、「 表示させるフィールド 」「 表示させないフィールド 」 のリストへそれぞれ移動させる。

※ リストにある 「 * 」 は、レコードがあらかじめ記憶しているレコード情報です。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

・ **表示させるフィールドの順番変更**

1. 「 表示させるフィールド 」 リストで、順番を変更したいフィールドを選択して反転表示させ、 を押す
2. 選択したフィールドを上下に移動させ、順番を変更します。
   画面最下段の プレビュー で確認できます。

※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

※ レコード情報は順番変更することができません。

・ **閲覧・編集のアイコン表示の設定**

レコード一覧画面の左側の［ 閲覧 ］ 、［ 編集 ］ のリンクを、テキストで表示するか、アイコンで表示するかの設定ができます。初期値はテキスト表示です。

現在設定されているものと異なる形式に変更したい場合は、「 ● 閲覧・編集のアイコン表示 」 にて、 あるいは を押し、設定を変更します。

※ 設定中のレコード一覧ビューのプレビューを表示できます。詳しくは 78 ページの one point をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

「 カレンダー表示の設定 」

・ 見出しフィールドの設定

設定した見出しフィールドの値が、カレンダー表示時に見出しとして表示されます。

プルダウンメニューには、対象となるフィールドのみ表示されます。

※キーとなるフィールドに設定したフィールドは、 見出しフィールドに設定することができません。

※ 初期値は、［－－－］ になっています。

見出しフィールドに設定できるフィールドは、以下の通りです。

・文字列(一行)
・文字列(複数行)(※1)
・数値
・URL(※2)
・イメージ URL(※2)
・ラジオボタン
・メニュー(文字列)
・メニュー(ユーザー)
・日付
・時刻
・日付時刻
・自動計算
・自動採番
・時間量
・時間計算

(※ 1) 20 文字より後の表示は 「 ... 」 になります。

(※ 2) URL 表示にしている場合、URL をクリックしてもレコード閲覧画面を表示します。
URL リンク先には直接飛びません。

※ 自動ルックアップフィールドは、参照先が上記のフィールドタイプであれば見出しフィールドに設定することができます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

▸書式・条件書式の設定

※ カレンダー一覧表示画面の書式・条件書式の設定を行う場合は 書式・条件書式 タブをクリックし表示を切り替えてください。

※ 書式・条件書式 タブをクリックすると、「 カレンダー一覧表示での書式・条件書式画面 」 が表示されます。

※ こちらで設定した、書式・条件書式はカレンダー一覧表示画面でのみ反映します。
カレンダー表示画面の書式・条件書式は設定することができません。ご留意ください。

・ フィールドの書式設定

レコード一覧ビューごとに各フィールドの横幅や背景色、レコードの表示位置、文字のスタイル、色などの書式が設定できます。

1. 書式を設定したいフィールドの［ 変更 ］をクリックする
「 フィールドの書式の設定 」 画面が表示されます。
2. 書式を変更したい箇所を設定し、 変更する を押す
「 書式・条件書式 」 の設定画面に戻ります。
フィールドの書式についての詳細は、 111 ページの 「 書式設定の詳細 」 をご覧ください。

・ セル条件書式の設定

1. セル条件書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする
「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。
2. 追加する を押し、必要な条件を入力する
設定する を押すと、設定が追加されます。
フィールドの条件書式についての詳細は、 111 ページの 「 セル条件書式の設定の詳細 」 をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

プレビュー表示

設定中のレコード一覧ビューが、実際のレコード一覧画面でどのように表示されるか、プレビューすることができます。 また、書式の設定を行った際、書式の設定もプレビュー画面に反映されます。

表示フィールド・表示方式 、 書式・条件書式 画面の上部にある［ プレビュー ］クリックすると、プレビューが別画面に表示されます。

※ レコード表示方式にて、カレンダー形式を選択した場合は、カレンダー一覧表示画面のプレビューのみ表示可能です。
カレンダー形式ビューを選択した場合は、［ カレンダー一覧のプレビュー ］ をクリックしてください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ レコードー覧ビューの編集

登録されているレコードー覧ビューを編集します。

〈！〉 レコードー覧ビューの 「(すべて)」 は、編集することはできません。

1. ホーム画面 に、レコードー覧ビューを編集したいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコードー覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから［ ライブラリビューの設定 ］をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. ［ レコードー覧ビュー ］をクリックする
   「 レコードー覧ビューの設定 」 画面が表示されます。

6. 編集したいレコードー覧ビューを選択して反転表示させ、 編集する を押す
   「 レコードー覧ビューの編集 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

7. 変更したい項目を編集します。

レコードー覧ビュー名の変更

1. 「 レコードー覧ビュー名 」 の［ 変更する ］をクリックする
   「 レコードー覧ビュー名の変更 」 画面が表示されます。
2. 変更する を押す

レコード表示方式の変更

レコード表示方式によって、設定する内容が異なります。まず、レコード表示方式を選択してください。

・ レコードー覧形式 （80 ページ）	レコードを 1 行ずつ表示する形式。ライブラリ作成時の初期値。
・ レコード閲覧形式 （83 ページ）	レコード閲覧画面と同じように、1 レコードをカードのように表示する形式。横方向に 3 レコード分まで表示することが可能。
・ カレンダー形式 （84 ページ）	カレンダーのように時系列で表示する方式。時系列にそってレコードを 1 行ずつ表示する 「 カレンダーー覧表示 」 、1 ヶ月間のレコードを月カレンダーのように表示する 「 カレンダー表示 」 と 2 つの表示を利用することが可能。

◆ レコード表示方式 __ レコードー覧形式の変更 ◆

ここでは必要に応じて以下の設定を変更できます。

・ 表示フィールド・表示方式の設定 （81 ページ）

レコードー覧画面に表示するフィールドの選択、表示させるフィールドの順番変更、閲覧・編集アイコン表示の設定ができます。

・ 書式・条件書式の設定 （82 ページ）

レコードー覧画面のフィールドの書式・条件書式が設定できます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

表示フィールド・表示方式の設定

※ 表示フィールド・表示方式 のタブが選択されていることを確認してください。

・ レコード一覧ビューに表示するフィールドの設定

1. 表示させたいフィールド、あるいは表示させたくないフィールドを選択し、反転表示する。
2. ← 表示 あるいは 非表示 → を押し、「 表示させるフィールド 」 「 表示させないフィールド 」 のリストへそれぞれ移動させる。

※ リストにある 「 * 」 は、レコードがあらかじめ記憶しているレコード情報です。

・ 表示させるフィールドの順番変更

1. 「 表示させるフィールド 」 リストで、順番を変更したいフィールドを選択して反転表示させ、 を押す
2. 選択したフィールドを上下に移動させ、順番を変更します。
   画面最下段の プレビュー で確認できます。

※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

※ レコード情報は順番変更することができません。

・ 閲覧・編集のアイコン表示の設定

レコード一覧画面の左側の［ 閲覧 ］ 、［ 編集 ］ のリンクを、テキストで表示するか、アイコンで表示するかの設定ができます。初期値はテキスト表示です。

現在設定されているものと異なる形式に変更したい場合は、「 ● 閲覧・編集のアイコン表示 」 にて、アイコン表示に変更する あるいは テキスト表示に変更する を押し、設定を変更します。

※ 設定中のレコード一覧ビューのプレビューを表示できます。詳しくは 78 ページの one point をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

▸ 書式・条件書式の設定

※ レコード一覧画面の書式・条件書式の設定を行う場合は 書式・条件書式 タブをクリックし表示を切り替えてください。

※ 書式・条件書式 タブをクリックすると、「 レコード一覧ビューので書式・条件書式画面 」が表示されます。

・ フィールドの書式設定

レコード一覧ビューごとに各フィールドの横幅や背景色、レコードの表示位置、文字のスタイル、色などの書式が設定できます。

1. 書式を設定したいフィールドの［ 変更 ］をクリックする
   「 フィールドの書式の設定 」 画面が表示されます。
2. 書式を変更したい箇所を設定し、 変更する を押す
   「 書式・条件書式 」 の設定画面に戻ります。
   フィールドの書式についての詳細は、111 ページの「 書式設定の詳細 」 をご覧ください。

・ セル条件書式の設定

1. セル条件書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする
   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。
2. 追加する を押し、必要な条件を入力する
   設定する を押すと、設定が追加されます。
   フィールドの条件書式についての詳細は、111 ページの「 セル条件書式の設定の詳細 」 をご覧ください。

※ 設定中のレコード一覧ビューのプレビューを表示できます。詳しくは 78 ページの one point をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ レコード表示方式 __ レコード閲覧形式の変更 ◆

※ レコード一覧ビューの表示方式に 「 レコード閲覧形式 」 を選択した場合、書式・条件書式の設定は指定されたフィールドレイアウトの設定を引き継ぎます。

- **横に並ぶレイアウト数**

  レコードを横方向に 1 ～ 3 個まで並べることができます。プルダウンメニューから選択します。

- **フィールドレイアウト**

  フィールドレイアウトをレコード一覧ビューに反映させることができます。プルダウンメニューから選択します。

  ※ フィールドレイアウトは、あらかじめ設定されている必要があります。

  ※ 設定中のレコード一覧ビューのプレビューを表示できます。詳しくは 78 ページの one point をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ レコード表示方式 __ カレンダー形式の変更 ◆

ここでは必要に応じて以下についての設定ができます。

・ 表示フィールド・表示方式の設定 （84 ページ）

キーとなる日付フィールドの選択、初期表示の選択、カレンダー一覧表示画面に表示するフィールドの選択、表示させるフィールドの順番変更、閲覧・編集アイコン表示の設定ができます。

・ 書式・条件書式の設定 （88 ページ）

カレンダー一覧表示画面のフィールドの書式・条件書式が設定できます。

▸ 表示フィールド・表示方式の設定

※ 表示フィールド・表示方式 のタブが選択されていることを確認してください。

「 カレンダー形式共通の設定 」

・ **キーとなる日付フィールドの設定**

プルダウンメニューからキーとなる日付フィールドを設定してください。

プルダウンメニューには、対象となるフィールドのみ表示されます。

カレンダー一覧表示画面では、キーとなる日付フィールドの値が、時系列で並べる際の基準になります。

※ 初期値は、[登録日時] フィールドになっています。

※ キーとなる日付フィールドは、以下のフィールドタイプから選択可能です。

・登録日時

・更新日時

・日付フィールド

・日付時刻フィールド

・時間計算フィールド （ 計算結果が日付・日付時刻フィールド ）

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

・ **初期表示を選択**

カレンダー形式のレコード一覧ビューを利用した時に、はじめに表示させる画面をカレンダー一覧画面・カレンダー表示画面から選択することができます。

初期表示をどちらに設定しても、画面にて表示の切り替えは可能です。

※ 初期値は、[カレンダー一覧表示] になっています。

「 カレンダー一覧表示の設定 」

・ **表示開始月・表示期間の設定**

[●カレンダー一覧表示の設定] の下にあるプルダウンメニューから、 表示開始月・表示期間を設定してください。

表示開始月は、プルダウンメニューで以下から選択していただけます。

3 ヶ月前

2 ヶ月前

今月

2 ヶ月後

3 ヶ月後

(月指定)

※ (月指定) を選択した際は、年月を直接指定することができます。

※ 月指定にて指定できる期間は、2000 年 1 月 ～ 2010 年 12 月までとなっております。

※ 初期値は [今月] になっています。

表示期間は、1 ヶ月 ～ 12 ヶ月まで期間を選択できます。

※初期値は [3 ヶ月] になっています。

・ **カレンダー一覧ビューに表示するフィールドの設定**

1. 表示させたいフィールド、あるいは表示させたくないフィールドを選択し、反転表示する。

※ キーとなる日付フィールドは表示するフィールドに指定することができません。

2. ← 表示 あるいは 非表示 → を押し、「 表示させるフィールド 」「 表示させないフィールド 」 のリストへそれぞれ移動させる。

※ リストにある 「 * 」 は、レコードがあらかじめ記憶しているレコード情報です。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

・ **表示させるフィールドの順番変更**

1. 「 表示させるフィールド 」 リストで、順番を変更したいフィールドを選択して反転表示させ、 を押す
2. 選択したフィールドを上下に移動させ、順番を変更します。
   画面最下段の プレビュー で確認できます。

※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

※ レコード情報は順番変更することができません。

・ **閲覧・編集のアイコン表示の設定**

レコード一覧画面の左側の［ 閲覧 ］ 、［ 編集 ］ のリンクを、テキストで表示するか、アイコンで表示するかの設定ができます。初期値はテキスト表示です。

現在設定されているものと異なる形式に変更したい場合は、「 ● 閲覧・編集のアイコン表示 」 にて、 あるいは を押し、設定を変更します。

※ 設定中のレコード一覧ビューのプレビューを表示できます。詳しくは 78 ページの one point をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

「 カレンダー表示の設定 」

・ 見出しフィールドの設定

設定した見出しフィールドの値が、カレンダー表示時に見出しとして表示されます。

プルダウンメニューには、対象となるフィールドのみ表示されます。

※キーとなるフィールドに設定したフィールドは、 見出しフィールドに設定することができません。

※ 初期値は、［－－－］ になっています。

見出しフィールドに設定できるフィールドは、以下の通りです。

・文字列(一行)
・文字列(複数行)(※1)
・数値
・URL(※2)
・イメージ URL(※2)
・ラジオボタン
・メニュー(文字列)
・メニュー(ユーザー)
・日付
・時刻
・日付時刻
・自動計算
・自動採番
・時間量
・時間計算

(※ 1) 20 文字より後の表示は 「 ... 」 になります。

(※ 2) URL 表示にしている場合、URL をクリックしてもレコード閲覧画面を表示します。
URL リンク先には直接飛びません。

※ 自動ルックアップフィールドは、参照先が上記のフィールドタイプであれば見出しフィールドに設定することができます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

▸書式・条件書式の設定

※ カレンダー一覧表示画面の書式・条件書式の設定を行う場合は 書式・条件書式 タブをクリックし表示を切り替えてください。

※ 書式・条件書式 タブをクリックすると、「 カレンダー一覧表示での書式・条件書式画面 」 が表示されます。

※ こちらで設定した、書式・条件書式はカレンダー一覧表示画面でのみ反映します。
カレンダー表示画面の書式・条件書式は設定することができません。ご留意ください。

・ フィールドの書式設定

レコード一覧ビューごとに各フィールドの横幅や背景色、レコードの表示位置、文字のスタイル、色などの書式が設定できます。

1. 書式を設定したいフィールドの［ 変更 ］をクリックする
「 フィールドの書式の設定 」 画面が表示されます。
2. 書式を変更したい箇所を設定し、 変更する を押す
「 書式・条件書式 」 の設定画面に戻ります。
フィールドの書式についての詳細は、 111 ページの 「 書式設定の詳細 」 をご覧ください。

・ セル条件書式の設定

1. セル条件書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする
「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。
2. 追加する を押し、必要な条件を入力する
設定する を押すと、設定が追加されます。
フィールドの条件書式についての詳細は、 111 ページの 「 セル条件書式の設定の詳細 」 をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ レコードー覧ビューのコピー

登録されているレコードー覧ビューをコピーします。

〈！〉 レコードー覧ビューの 「(すべて)」 は、コピーすることはできません。

1. ホーム画面 に、レコードー覧ビューをコピーしたいライブラリ（ [ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコードー覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから［ ライブラリビューの設定 ］をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. ［ レコードー覧ビュー ］をクリックする
   「 レコードー覧ビューの設定 」 画面が表示されます。

6. コピーしたいレコードー覧ビューを選択して反転表示させ、 コピーする を押す
   コピー元のレコードー覧ビュー名の末尾に 「 -1 」 等の数字のついたレコードー覧ビュー名が追加されます。

※ レコードー覧ビュー名の変更や編集は、79 ページの「 レコードー覧ビューの編集 」で行ってください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ レコード一覧ビューの順番変更

登録されているレコード一覧ビューの順番を変更します。

〈！〉 レコード一覧ビューの 「(すべて)」 は、順番を変更することはできません。

1. ホーム画面 に、レコード一覧ビューの順番変更をしたいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから [ライブラリビューの設定] をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. [レコード一覧ビュー] をクリックする
   「 レコード一覧ビューの設定 」 画面が表示されます。

6. 順番を変更したいレコード一覧ビューを選択して反転表示させ、 を押し、選択したレコード一覧ビューの表示を上下に移動させ、順番を変更します。
   ※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ レコードー覧ビューの削除

登録されているレコードー覧ビューを削除します。

〈！〉 レコードー覧ビューの 「(すべて)」 は、削除することはできません。

1. ホーム画面 に、レコードー覧ビューを削除したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコードー覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから[ライブラリビューの設定] をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. [レコードー覧ビュー] をクリックする
   「 レコードー覧ビューの設定 」 画面が表示されます。

6. 削除したいレコードー覧ビューを選択して反転表示させ、 削除する を押す
   確認画面が表示されます。

7. はい を押す

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ デフォルトビュー

はじめに表示するレコード一覧ビューを設定することができます。初期値は （ すべて ） に設定されています。

1. ホーム画面 に、デフォルトビューを設定したいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから［ ライブラリビューの設定 ］をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. ［ レコード一覧ビュー ］をクリックする
   「 レコード一覧ビューの設定 」 画面が表示されます。

6. デフォルトに設定したいレコード一覧ビューを選択して反転表示させ、
   デフォルトビュー を押す

※ デフォルトビューのレコード一覧ビューには 「 ⇒ 」 が付きます。
※ デフォルトビューに設定されていたレコード一覧ビューを削除した場合、自動的に「 （ すべて ） 」 がデフォルトビューに設定されます。
※ デフォルト表示の設定は、「 ライブラリ管理メニュー 」 ＞ 「 ライブラリビューの設定 」 ＞［ デフォルトビュー ］からも行えます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

フィールドの書式・条件書式の設定

レコード一覧ビュー、フィールドレイアウトの設定で、各フィールド名・フィールド値の背景色、文字色の文字のスタイルなどの書式が設定できます。また、セル条件書式では、 在庫の残りが 「 100 個以下 」 だったら、「 担当 」 が 「 部長 」 だったら、などレコード値の条件にあわせて色やフォントを変えることが可能です。

フィールドの書式・条件書式はレコード一覧ビュー、フィールドレイアウトの設定より行います。レコード一覧画面の書式・条件書式の設定はレコード一覧ビューの設定より、レコード閲覧画面の設定はフィールドレイアウトの設定より行ってください。

■ レコード一覧ビューの書式設定

レコード一覧ビューの書式設定では、以下の設定を行うことが可能です。

フィールド名の書式設定	
背景色	表示するフィールドの背景色を設定します。
表示内容が多い場合の折り返し	表示内容が多い場合、文字を折り返し表示します。
文字	文字のサイズや色、スタイルを設定します。
レコード値の書式設定	
セルの横幅	表示するフィールドの最小の横幅を設定します。
背景色	表示するフィールドの背景色を設定します。
横 / 縦位置	フィールド値の横・縦の配置を設定します。
表示文字数	レコード一覧ビューで表示させる文字数を設定します。
表示内容が多い場合の折り返し	表示内容が多い場合、文字を折り返し表示します。
文字	文字のサイズや色、スタイルを設定します。
日付時刻書式	フィールドが、登録日時、更新日時の時のみ日付時刻書式を変更することができます。

※ レコード一覧ビューの表示方式に 「 カレンダー形式 」 を選択した場合、こちらで設定した、書式設定はカレンダー一覧表示画面でのみ反映します。 カレンダー表示画面の書式は設定することができません。ご留意ください。

※ レコード一覧ビューの表示方式に 「 レコード閲覧形式 」 を選択した場合、書式・条件書式の設定は指定されたフィールドレイアウトの設定を引き継ぎます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

1. ホーム画面 に、デフォルトビューを設定したいライブラリ（ [ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。
2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。
3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。
   左のメニューから［ ライブラリビューの設定 ］をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

4. ［ レコード一覧ビュー ］をクリックする
   「 レコード一覧ビューの設定 」 画面が表示されます。

5. 追加する を押す

   ▸ 既に存在するレコード一覧ビューのセル条件書式を設定する場合は、レコード一覧ビュー名をクリックし反転表示させ、編集する を押してください。

6. レコード一覧ビュー名を入力し、次へ >> を押す
   「 レコード一覧ビューの編集 」 画面が表示されます。
   ※ 既に存在するレコード一覧ビュー名は設定できません。
   ※ レコード一覧ビューの編集の際は、こちらのページは表示されません。

7. 書式・条件書式 タブをクリックし表示を切り替えます

8. 書式を設定したいフィールドの［ 変更 ］をクリックする
   「 フィールドの書式の設定 」 画面が表示されます。

9. 書式を変更したい箇所を設定し、変更する を押す
   「 書式・条件書式 」 の設定画面に戻ります。
   ※ 設定中のレコード一覧ビューをプレビュー表示することが出来ます。
   画面上部の ［ プレビュー ］ をクリックすると、設定中のレコード一覧ビューのプレビューが別ページに表示されます。

▸ フィールドの書式についての詳細は、111 ページ をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フィールドレイアウトの書式設定

フィールドレイアウトの書式設定では以下の設定を行うことが可能です。

○ レコード閲覧画面	
フィールド名の書式設定	
背景色	表示するフィールドの背景色を設定します。
横 / 縦位置	フィールド値の横・縦の配置を設定します。
表示内容が多い場合の折り返し	表示内容が多い場合、文字を折り返し表示します。
文字	文字のサイズや色、スタイルを設定します。
レコード値の書式設定	
背景色	表示するフィールドの背景色を設定します。
横 / 縦位置	フィールド値の横・縦の配置を設定します。
表示内容が多い場合の折り返し	表示内容が多い場合、文字を折り返し表示します。
文字	文字のサイズや色、スタイルを設定します。
日付時刻書式	フィールドが、登録日時、更新日時の時のみ日付時刻書式を変更することができます。

○ レコード追加・編集画面	
コメントの書式設定	
表示位置	フィールドに対するコメントの配置を設定します。
文字	文字のサイズや色を設定します。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

1. ホーム画面 に、デフォルトビューを設定したいライブラリ（ [ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。
2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。
3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから［ ライブラリビューの設定 ］をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. ［ フィールドレイアウト ］をクリックする
   「 フィールドレイアウトの設定 」 画面が表示されます。

6. 追加する を押す

   ▸ 既に存在するフィールドレイアウトのセル条件書式を設定する場合は、フィールドレイアウト名をクリックし反転表示させ、編集する を押してください。

7. フィールドレイアウト名を入力し、次へ >> を押す
   「 フィールドレイアウトの編集 」 画面が表示されます。
   ※ 既に存在するフィールドレイアウト名は設定できません。
   ※ レコード一覧ビューの編集の際は、こちらのページは表示されません。

8. 書式・条件書式 タブをクリックし表示を切り替えます

9. 書式を設定したいフィールドの［ 変更 ］をクリックする
   「 フィールドの書式の設定 」 画面が表示されます。

10. 書式を変更したい箇所を設定し、変更する を押す
    「 書式・条件書式 」 の設定画面に戻ります。
    ※ 設定中のフィールドレイアウトをプレビュー表示することが出来ます。
    画面上部の ［ プレビュー ］ をクリックすると、設定中のフィールドレイアウトのプレビューが別ページに表示されます。

▸ フィールドの書式についての詳細は、111 ページ をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ レコード一覧ビューのセル条件書式設定

レコード一覧画面のセル条件書式を設定することができます。

※　セル条件書式の設定例は 99 ページの OnePoint をご覧ください

〈 ！ 〉複数のセル条件書式を設定した場合は、「 セル条件書式の設定 」 画面にてセル条件書式名が上に表示されているものが優先されます。

1. ホーム画面 に、デフォルトビューを設定したいライブラリ（ [ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。
2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。
3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから [ライブラリビューの設定] をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. [レコード一覧ビュー] をクリックする
   「 レコード一覧ビューの設定 」 画面が表示されます。

6. 追加する を押す

   ▸ 既に存在するレコード一覧ビューのセル条件書式を設定する場合は、レコード一覧ビュー名をクリックし反転表示させ、編集する を押してください。

7. レコード一覧ビュー名を入力し、次へ >> を押す
   「 レコード一覧ビューの編集 」 画面が表示されます。
   ※ 既に存在するレコード一覧ビュー名は設定できません。
   ※ レコード一覧ビューの編集の際は、こちらのページは表示されません。

8. 書式・条件書式 タブをクリックし表示を切り替えます

9. 条件書式を設定したいフィールドの [変更] をクリックする
   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

セル条件書式の設定

- セル条件書式の追加 （98 ページ）
- セル条件書式の編集 （103 ページ）
- セル条件書式のコピー（103 ページ）
- セル条件書式の順番変更 （104 ページ）
- セル条件書式の削除 （104 ページ）

◆ セル条件書式の追加 ◆

1. セル条件書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする

   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。

2. 追加する を押す

   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。

3. 条件名を入力する

   ※条件名は必須項目です。ただし、既に存在する条件名は設定することが出来ません。

4. 条件値を入力する

   条件値の入力方法は、101 ページ をご覧ください。
   ※ 指定したフィールドのフィールドタイプによって有効な条件種類が異なります。
   詳しくは 102 ページ をご覧ください。

5. 背景色、文字の設定をする

   背景色、文字は各フィールドタイプにより、設定内容が変わります。詳しくは 119 ページ をご覧ください。

6. 設定する を押す

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

▸ セル条件書式の設定例 （ レコード一覧ビュー ）

例） 在庫管理を行っているライブラリで、以下の３つの条件でレコード一覧画面の書式を変更したい

・在庫数が 100 以下の時

・在庫数が 100 ～ 200 の時

・在庫数が 200 以上の時

1. 在庫数が 200 以上の時

条件名	200 以上
条件値	200 以上
背景色	水色
文字色	青色

2. 在庫数が 100 ～ 200 の時

条件名	100 ～ 200
条件値	200 より小さい
背景色	緑色
文字色	緑色

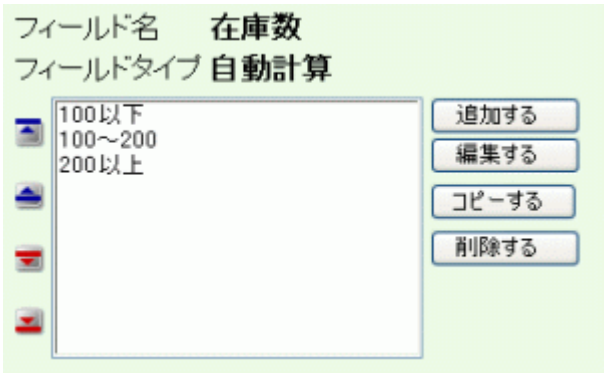
3. 在庫数が 100 以下の時

条件名	100 以下	
条件値	100 以下	
背景色	黄色	
文字	サイズ	+ 1
	色	赤色
	スタイル	太字

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

〈 ！ 〉 セル条件書式の条件は 「 セル条件書式の設定 」 画面で、上に表示されている条件が優先されます。
そのため、上記の条件を正しく反映させるためには、セル条件書式の設定画面の順番を以下のように並び変えて下さい。セル条件書式の順番変更の手順は 104 ページ をご覧下さい。

「 セル条件書式の設定画面 」



セル条件書式設定後のレコード一覧画面

	日付	納品数	出荷合計	在庫数
2004年				
9月				
[閲覧] [編集]	9月 27日 (月)	300個	20個	280個
[閲覧] [編集]	9月 28日 (火)	300個	100個	200個
[閲覧] [編集]	9月 29日 (水)	300個	160個	140個
[閲覧] [編集]	9月 30日 (木)	300個	225個	75個

※ 上記画面は、レコード一覧ビューの設定にてカレンダー形式を設定しています。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

条件値の入力方法

メニュー（文字列） ラジオボタン	設定されている項目がプルダウンメニューで表示されます。 プルダウンメニューで直接入力を選択し、テキストボックスに直接入力することも出来ます。
メニュー（ユーザー） 登録者、更新者	デヂエ に設定されているユーザーがプルダウンメニューで表示されます。プルダウンメニューで直接入力を選択し、テキストボックスに直接入力することも出来ます。
日付、日付時刻、時刻 登録日時、更新日時	プルダウンメニューから日付、時刻を選択できます。半角文字を利用して直接入力も行えます。

※　全角/半角は区別します。（ 数値は半角 ）

※　大文字/小文字は区別しません。

※　文字列や数値等が何も入っていないレコードを検索したい場合は、入力フィールドには何も記入せず、検索演算子を 「 と同じ 」 に設定します。

※ 2000 年 1 月 1 日以前の日付を検索したい場合は、検索対象フィールドの指定で、（ 直接入力 ） を指定してください。半角文字を利用して日付を直接指定できるようになります。

ONE POINT

日付、日付時刻、登録日時、更新日時フィールドの条件指定

今日、昨日、明日：	実行している日から換算します。
今週、先週、来週：	実行している週から換算して、日曜から土曜で区切ります。
今月、先月、来月：	実行している月から換算して、1 日から月末日で区切ります。
今年、昨年、来年：	実行している年から換算して、1 月から 12 月で区切ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

セル条件書式　　有効な条件演算子

有効な条件演算子 / フィールドタイプ	と同じ	と異なる	を含む	を含まない	以降	以前	より大きい	以上	より小さい	以下	チェック済み	未チェック
文字列(一行)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
文字列(複数行)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
数値	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
URL	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
チェックボックス(※1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
ラジオボタン(※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
メニュー(文字列) (※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
メニュー(ユーザー)(※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
日付	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
時刻	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
日付時刻	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
ファイル	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
イメージ	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
自動計算	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
自動採番	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
時間量	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
自動計算(※2)	○	○	×	×	△	△	△	△	△	△	×	×
自動ルックアップ(※3)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

(※1)　ラジオボタン、文字列メニュー、ユーザーメニューは、条件値が直接入力の時のみ「を含む」「を含まない」を有効とする。

(※2)　時間計算フィールドは、計算結果のフィールドタイプに準拠する。

(※3)　自動ルックアップフィールドは、参照先フィールドタイプに準拠する。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ セル条件書式の編集 ◆

1. セル条件書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする
   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。

2. 編集する を押す
   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。
3. 条件名を入力する

   ※条件名は必須項目です。ただし、既に存在する条件名は設定することが出来ません。

4. 条件値を入力する
   条件値の入力方法は、101 ページ をご覧ください。
   ※ 指定したフィールドのフィールドタイプによって有効な条件種類が異なります。
   詳しくは 102 ページ をご覧ください。

5. 背景色、文字の設定をする
   背景色、文字は各フィールドタイプにより、設定内容が変わります。詳しくは 119 ページ をご覧ください。
6. 設定する **を押す**

◆ セル条件書式のコピー ◆

既存のセル条件書式の設定条件をコピーして新たなセル条件書式を作成します。

1. **セル条件書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする**
   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。

2. **コピーしたいセル条件書式を選択して反転表示させ、** コピーする **を押す**

   コピー元のセル条件書式名の末尾に「 -1 」 等の数字のついたセル条件書式名が追加されます。

   ※ セル条件書式名の変更や編集は、上記の 「 セル条件書式の編集 」 で
   行ってください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ セル条件書式の順番変更 ◆

1. セル条件書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする
   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。

2. 順番を変更したいセル条件書式を選択して反転表示させ、 を押し、選択したセル条件書式の表示を上下に移動させ、順番を変更します。

   ※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

〈 ！ 〉 セル条件書式の条件は 「 セル条件書式の設定 」 画面で、上に表示されている条件が優先されます。

◆ セル条件書式の削除 ◆

1. セル条件書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする
   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。

2. 削除したいセル条件書式を選択して反転表示させ、 を押す

   確認画面が表示されます。

3. を押す

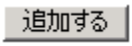
Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

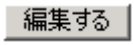
■ フィールドレイアウトのセル条件書式設定

こちらでは、レコード閲覧画面のセル条件書式を設定することができます。

※ セル条件書式の設定例は 107 ページの OnePoint をご覧下さい。

〈 ！ 〉複数のセル条件書式を設定した場合は、「 セル条件書式の設定 」 画面にて
セル条件書式名が上に表示されているものが優先されます。

1. ホーム画面 に、デフォルトビューを設定したいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。
2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。
3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。
4. 左のメニューから [ライブラリビューの設定] をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。
5. [フィールドレイアウト] をクリックする
   「 フィールドレイアウトの設定 」 画面が表示されます。
6.  を押す

   ▸ 既に存在するフィールドレイアウトのセル条件書式を設定する場合は、フィールドレイアウト名をクリックし反転表示させ、  を押してください。
7. フィールドレイアウト名を入力し、 を押す
   「 フィールドレイアウトの編集 」 画面が表示されます。
   ※ 既に存在するフィールドレイアウト名は設定できません。
   ※ フィールドレイアウトの編集の際は、こちらのページは表示されません。
8. タブをクリックし表示を切り替えます
9. 条件書式を設定したいフィールドの [変更] をクリックする
   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

▸ セル条件書式の設定

・ セル条件書式の追加 （106 ページ）
・ セル条件書式の編集 （109 ページ）
・ セル条件書式のコピー（109 ページ）
・ セル条件書式の順番変更（110 ページ）
・ セル条件書式の削除 （110 ページ）

◆ セル条件書式の追加 ◆

1. セル条件書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする

   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。

2. 追加する を押す

   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。
3. 条件名を入力する

   ※条件名は必須項目です。ただし、既に存在する条件名は設定することが出来ません。

4. 条件値を入力する

   条件値の入力方法は、101 ページ をご覧ください。
   ※ 指定したフィールドのフィールドタイプによって有効な条件種類が異なります。
   詳しくは 102 ページ をご覧ください。

5. 背景色、文字の設定をする

   背景色、文字は各フィールドタイプにより、設定内容が変わります。詳しくは 119 ページ をご覧ください。
6. 設定する を押す

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

▸ セル条件書式の設定例 （ フィールドレイアウト ）

例） 在庫管理を行っているライブラリで、以下の３つの条件でレコード一覧画面の書式を変更したい

・在庫数が 100 以下の時

・在庫数が 100 ～ 200 の時

・在庫数が 200 以上の時

1. 在庫数が 200 以上の時

条件名	200 以上
条件値	200 以上
背景色	水色
文字色	青色

2. 在庫数が 100 ～ 200 の時

条件名	100 ～ 200
条件値	200 より小さい
背景色	緑色
文字色	緑色

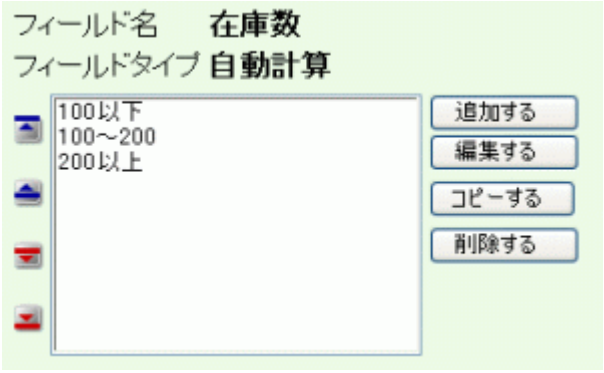
3. 在庫数が 100 以下の時

条件名	100 以下	
条件値	100 以下	
背景色	黄色	
文字	サイズ	+ 1
	色	赤色
	スタイル	太字

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

〈 ！ 〉 セル条件書式の条件は 「 セル条件書式の設定 」 画面で、上に表示されている条件が優先されます。
そのため、上記の条件を正しく反映させるためには、セル条件書式の設定画面の順番を以下のように並び変えて下さい。セル条件書式の順番変更の手順は 110 ページ をご覧下さい。

「 セル条件書式の設定画面 」



セル条件書式設定後のレコード閲覧画面

※上記画面は、レコード一覧ビューの設定にてレコード閲覧形式を設定しています。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ セル条件書式の編集 ◆

1. セル条件書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする
   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。

2. 編集する を押す
   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。
3. 条件名を入力する

   ※条件名は必須項目です。ただし、既に存在する条件名は設定することが出来ません。

4. 条件値を入力する
   条件値の入力方法は、101 ページ をご覧ください。
   ※ 指定したフィールドのフィールドタイプによって有効な条件種類が異なります。
   詳しくは 102 ページ をご覧ください。

5. 背景色、文字の設定をする
   背景色、文字は各フィールドタイプにより、設定内容が変わります。詳しくは 119 ページ をご覧ください。
6. 設定する **を押す**

◆ セル条件書式のコピー ◆

既存のセル条件書式の設定条件をコピーして新たなセル条件書式を作成します。

1. **セル条件書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする**
   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。

2. **コピーしたいセル条件書式を選択して反転表示させ、** コピーする **を押す**

   コピー元のセル条件書式名の末尾に「 -1 」 等の数字のついたセル条件書式名が追加されます。

   ※ セル条件書式名の変更や編集は、上記の 「 セル条件書式の編集 」 で
   行ってください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ セル条件書式の順番変更 ◆

1. セル条件書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする
   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。

2. 順番を変更したいセル条件書式を選択して反転表示させ、 を押し、選択したセル条件書式の表示を上下に移動させ、順番を変更します。

   ※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

〈 ！ 〉 セル条件書式の条件は 「 セル条件書式の設定 」 画面で、上に表示されている条件が優先されます。

◆ セル条件書式の削除 ◆

1. セル条件書式を設定したいフィールドの［ 編集 ］をクリックする
   「 セル条件書式の設定 」 画面が表示されます。

2. 削除したいセル条件書式を選択して反転表示させ、 を押す
   確認画面が表示されます。

3. を押す

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

フィールドの書式・条件書式の詳細

■ レコード一覧ビューの書式設定の詳細

※ フィールド名の書式設定は全てのフィールドタイプで変更可能です。

※ フィールド名の背景色は、ソート実行時には無効になります。

フィールド名の書式設定	
背景色	表示するフィールドの背景色を設定します。 次の 8 色から選択できます。　※初期設定は 灰 白、灰、青、緑、赤、水、紫、黄
表示内容が多い場合の折り返し	表示内容が多い場合、文字を折り返し表示します。 セルの横幅にしたがって文字を折り返し表示する場合、「 表示内容が多い場合は折り返す 」 のチェックボックスにチェックを入れる ※初期値は折り返す
文字	文字のサイズや色、スタイルを設定します。 サイズ 標準を 「 ±0 」 とし、「 -2 」 ～ 「 +3 」 までのサイズを選択します。 ※初期設定は ±0 文字色 次の 8 色から選択できます。　黒、灰、青、緑、赤、水、紫、黄 ※初期設定では 黒

※　各フィールドタイプにより、設定内容は変わります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

レコード値の書式設定	
セルの横幅	表示するフィールドの最小の横幅を設定します。 5～500 文字（半角での文字数）まで設定可能 ※初期値は設定されていません
背景色	表示するフィールドの背景色を設定します。 次の 8 色から選択できます。　※ 初期設定は 白 白、灰、青、緑、赤、水、紫、黄
横 / 縦位置	フィールド値の横・縦の配置を設定します。 横：左/中央/右 から選択 縦：上/中央/下 から選択　※初期設定は 中央
表示文字数	レコード一覧ビューで表示させる文字数を設定します。 （ 全て ）、あるいは 10～ 1000 文字まで設定可能です。 設定値より文字数が多い場合、設定文字数以降は 「 ... 」 が表示されます。
表示内容が多い場合の折り返し	表示内容が多い場合、文字を折り返し表示します。 セルの横幅にしたがって文字を折り返し表示する場合、「 表示内容が多い場合は折り返す 」 のチェックボックスにチェックを入れます。
文字	文字のサイズや色、スタイルを設定します。 サイズ 標準を 「±0」 とし、「-2」 ～ 「+3」 までのサイズを選択します。 文字色 次の 8 色から選択出来ます。　黒、灰、青、緑、赤、水、紫、黄 スタイル 文字のスタイルを設定したい場合、チェックボックスにチェックを入れます。 太字 （ ボールド ）　斜体（ イタリック ）　下線
日付時刻書式	フィールドが、登録日時、更新日時の時のみ日付時刻書式を変更することができます。 表示書式を以下より選択できます。 2004/10/12 15:30、2004/10/12 3:30PM、平成 16 年 10 月 12 日 15 時 30 分、平成 16 年 10 月 12 日 午後 3 時 30 分、2004 年 10 月 12 日 15 時 30 分、2004 年 10 月 12 日 午後 3 時 30 分、10 月 12 日 15 時 30 分、10 月 12 日 午後 3 時 30 分

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

フィールドタイプ別設定項目

フィールドタイプ	セルの横幅	背景色	横 / 縦位置	表示文字数	表示内容が多い場合の折り返し	文字 サイズ	文字 色	文字 太字	文字 斜体	文字 下線	日付時刻書式
文字列(1行)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
文字列(複数行)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
数値	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
URL	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×
チェックボックス	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
ラジオボタン	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
メニュー(文字列)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
メニュー(ユーザー)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
日付	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
時刻	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
日付時刻	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
ファイル	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×
イメージURL	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
自動計算	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
自動採番	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
時間量	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
時間計算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
レコード番号	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
登録日時	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
登録者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
更新日時	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
更新者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※ 自動ルックアップフィールドは、参照先フィールドタイプに準拠します。

※ 時間計算フィールドでは、結果が時間量の時だけ 「 表示内容が多い場合の折り返し 」 設定が有効になります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フィールドレイアウトの書式設定の詳細

レコード閲覧画面のフィールド名の書式設定、レコード値の書式設定、および、レコード編集画面のコメントの書式設定を行うことが出来ます。
※ フィールド名の書式設定は全てのフィールドタイプで変更可能です。

○ レコード閲覧画面	
フィールド名の書式設定	
背景色	表示するフィールドの背景色を設定します。 次の 8 色から選択できます。　※初期設定は 灰 白、灰、青、緑、赤、水、紫、黄
横 / 縦位置	フィールド値の横・縦の配置を設定します。 横：左/中央/右 から選択　※初期値は左 縦：上/中央/下 から選択　※初期値は中央
表示内容が多い場合の折り返し	表示内容が多い場合、文字を折り返し表示します。 セルの横幅にしたがって文字を折り返し表示する場合、「 表示内容が多い場合は折り返す 」 のチェックボックスにチェックを入れます。 （ ！ ） レコード閲覧の設定で、「 他の行のレイアウトにあわせない 」 を選択した場合、 フィールド名の書式設定の初期値は、必ず 「 表示内容を折り返さない 」 設定になります。
文字	文字のサイズや色、スタイルを設定します。 サイズ 標準を 「±0」 とし、「-2」 ～ 「+3」 までのサイズを選択 ※初期設定は ±0 文字色 次の 8 色から選択　　※初期設定は 黒 黒、灰、青、緑、赤、水、紫、黄

※ 各フィールドタイプにより、設定内容は変わります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

レコード値の書式設定	
背景色	表示するフィールドの背景色を設定します。 次の 8 色から選択　　※初期設定は 白 白、灰、青、緑、赤、水、紫、黄
横 / 縦位置	フィールド値の横・縦の配置を設定します。 横：左/中央/右 から選択　※初期値は 左 縦：上/中央/下 から選択　※初期値は中央、ただし、文字列 （ 複数行 ） のみ上
表示内容が多い場合の折り返し	表示内容が多い場合、文字を折り返し表示します。 セルの横幅にしたがって文字を折り返し表示する場合、「 表示内容が多い場合は折り返す 」 のチェックボックスにチェックを入れます。
文字	文字のサイズや色、スタイルを設定します。 サイズ 標準を 「±0」 とし、「-2」 ～ 「+3」 までのサイズを選択します。 文字色 次の 8 色から選択します。 黒、灰、青、緑、赤、水、紫、黄 スタイル 文字のスタイルを設定したい場合、チェックボックスにチェックを入れます。 太字 （ ボールド ）　斜体（ イタリック ）　下線
日付時刻書式	フィールドが、登録日時、更新日時の時のみ日付時刻書式を変更することができます。 表示書式を以下より選択できます。 2004/10/12 15:30、2004/10/12 3:30PM、平成 16 年 10 月 12 日 15 時 30 分、平成 16 年 10 月 12 日 午後 3 時 30 分、2004 年 10 月 12 日 15 時 30 分、2004 年 10 月 12 日 午後 3 時 30 分、10 月 12 日 15 時 30 分、10 月 12 日 午後 3 時 30 分

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

○ レコード編集画面	
コメントの書式設定	
表示位置	フィールドに対するコメントの配置を設定します。 上 / 下 から選択できます。※初期値は 下
文字	文字のサイズや色を設定します。 サイズ 標準を「±0」とし、「-2」～「+3」までのサイズを選択　※初期値は「 -1 」 文字色 次の 8 色から選択　※初期値は 緑 黒、灰、青、緑、赤、水、紫、黄

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

フィールドタイプ別設定項目

フィールドタイプ	セルの横幅	背景色	横／縦位置	表示文字数	表示内容が多い場合の折り返し	文字 サイズ	文字 色	文字 太字	文字 斜体	文字 下線	日付時刻書式
文字列(1行)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
文字列(複数行)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
数値	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
URL	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×
チェックボックス	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
ラジオボタン	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
メニュー(文字列)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
メニュー(ユーザー)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
日付	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
時刻	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
日付時刻	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
ファイル	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×
イメージURL	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
自動計算	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
自動採番	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
時間量	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
時間計算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
レコード番号	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
登録日時	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
登録者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
更新日時	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
更新者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※　自動ルックアップフィールドは、参照先フィールドタイプに準拠します。

※　時間計算フィールドでは、結果が時間量の時だけ「 表示内容が多い場合の折り返し 」 設定が有効になります。

（！）レコード閲覧の設定で、「 他の行のレイアウトにあわせない 」 を選択した場合、フィールド名の書式設定の初期値は、必ず 「 表示内容を折り返さない 」 設定になります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■セル条件書式の詳細

○ 背景色、文字の設定	
背景色	表示するフィールドの背景色を設定します。 次の 8 色から選択できます。　※初期設定は 白 白、灰、青、緑、赤、水、紫、黄
文字	文字のサイズや色、スタイルを設定します。 サイズ 標準を 「 ±0 」 とし、「 -2 」 ～ 「 +3 」 までのサイズを選択します。 ※初期設定は ±0 文字色 次の 8 色から選択できます。　黒、灰、青、緑、赤、水、紫、黄 ※初期設定では 黒 スタイル 文字のスタイルを設定したい場合、チェックボックスにチェックを入れます。 ※初期設定はチェックなし 太字 （ ボールド ）　斜体（ イタリック ）　下線

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

▸フィールドタイプ別設定項目

フィールドタイプ	背景色	文字				
		サイズ	色	太字	斜体	下線
文字列(1行)	○	○	○	○	○	○
文字列(複数行)	○	○	○	○	○	○
数値	○	○	○	○	○	○
URL	○	○	×	○	○	×
チェックボックス	○	×	×	×	×	×
ラジオボタン	○	○	○	○	○	○
メニュー(文字列)	○	○	○	○	○	○
メニュー(ユーザー)	○	○	○	○	○	○
日付	○	○	○	○	○	○
時刻	○	○	○	○	○	○
日付時刻	○	○	○	○	○	○
ファイル	○	○	×	○	○	×
イメージURL	○	×	×	×	×	×
自動計算	○	○	○	○	○	○
自動採番	○	○	○	○	○	○
時間量	○	○	○	○	○	○
時間計算	○	○	○	○	○	○
レコード番号	○	○	○	○	○	○
登録日時	○	○	○	○	○	○
登録者	○	○	○	○	○	○
更新日時	○	○	○	○	○	○
更新者	○	○	○	○	○	○

※ 自動ルックアップフィールドは、参照先フィールドタイプに準拠します。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ ヘッダ・フッタの設定

ヘッダ・フッタの表示方法などの設定をします。

1. ホーム画面 に、ヘッダ・フッタを設定したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 画面のカスタマイズ 」をクリックする
   「 画面のカスタマイズ 」 画面が表示されます。

5. [ヘッダ・フッタ] をクリックする
   「 ヘッダ・フッタの設定 」 画面が表示されます。

6. 各項目を設定する
   - **ヘッダの表示方法**
     ヘッダに配置される 「 ロゴ 」 「 ホーム 」 「 ログイン / ログアウト 」 「 サポート 」 「 ヘルプ 」 の表示形式の選択。
     初期値はアイコン表示です。
   - **フッタの表示方法**
     フッタに配置されている 「 ライブラリ管理 」 「 システム設定 」 「 個人設定 」 の表示形式の選択。
     初期値はアイコン表示です。
   - **ロゴ**
     画面左上に表示される 「 ロゴ 」の設定。
     ・標準のロゴを使用する：デヂエ のロゴを表示
     ・独自のロゴを使用する：独自のロゴが格納されている URL を指定
     ・文字列のロゴを使用する：表示させる文字列を指定
     ・表示しない：ロゴなし

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

- **ロゴのリンク先**

  「 ロゴ 」をクリックした時のリンク先の指定。

  初期値は 「 ホーム 」画面です。

  ※ ロゴを 「 標準のロゴを使用する 」 に設定した場合は、ここでの設定は無効で、 「 ホーム 」画面にリンクされます。

- **表示項目**

  ヘッダに配置される 「 ホーム 」 「 ログイン/ログアウト 」

  「 ヘルプ 」 を表示するかどうかの設定。初期値はすべてが選択されています。

7. 変更する を押す

   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ メニューの設定

レコード一覧画面のメニューの設定をします。

1. ホーム画面 に、メニューを設定追加したいライブラリ（ ［ ライブラリ名 ］）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。
2. ライブラリ（ ［ ライブラリ名 ］）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. ［ ライブラリ管理 ］を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 画面のカスタマイズ 」をクリックする
   「 画面のカスタマイズ 」 画面が表示されます。

5. ［ メニュー ］をクリックする
   「 メニューの設定 」 画面が表示されます。

6. 各項目を設定する
   - **表示項目**
     メニューに配置される以下の機能を表示するかの設定。初期値はすべて表示されるよう設定されています。
     ・ ライブラリの場所 ・ライブラリメモ
     ・ 印刷 ・絞り込み
     ・ レコード一覧ビュー ・集計
     ・ フィールドレイアウト ・リンクリスト
     ・ 検索 ・詳細検索
   - **検索・絞り込みのヒット件数**
     検索・絞り込みの実行結果のヒット件数の表示/非表示の設定。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ツールメニューの設定

ツールメニューに、高度な機能や、絞り込み・レコード一覧ビュー・ソートの設定を組み合わせた条件 『 ダイレクト表示 』 を配置する設定。

・ 高度な機能に含まれる項目をツールメニューに表示させたい時は、「 機能の選択 」 にてクリックして反転表示させ、 ←追加 を押してリストに移動する。

※ 初期値では「 XML 書き出し 」 以外は表示されています。ただし、ライブラリに手動ルックアップの設定がない場合は 「 再ルックアップ 」 は表示されません。

・ 絞り込み・レコード一覧ビュー・ソートの設定を組み合わせた条件を表示させる場合は、 ダイレクト表示の追加 をクリックし、条件を設定する。 さらにその条件を選択して反転表示させ、 ←追加 を押してリストに移動する。

〈！〉 絞り込み、レコード一覧ビュー、ソートはあらかじめ設定されている必要があります。

※ ダイレクト表示は、ツールメニューで アイコンと一緒に表示されます。

※ ツールメニューの順番を変更したいフィールドを選択したい場合は、メニューを反転表示させて を押します。

を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

7. 変更する を押す

「 ライブラリ管理メニュー 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

▸ダイレクト表示について

絞り込み、レコード一覧ビュー、ソートの組み合わせを 「 ダイレクト表示 」 に登録すると、ツールメニューに表示され、1 度のクリックでアクセスすることが可能となります。

ダイレクト表示を効果的にご活用いただくことで、運用の効率 UP を図れると存じます。

カスタマイズの 「 メニューの設定 」 画面での操作の詳細は、以下のとおりです。

▸ ダイレクト表示の追加

1. ダイレクト表示の追加 を押す

   「 ダイレクト表示の追加 」 画面が表示されます。

2. ダイレクト表示名を入力し、条件を各プルダウンメニューより選択する。

   〈！〉絞り込み、レコード一覧ビュー、ソートはあらかじめ設定されている必要があります。

3. 登録する を押す

   「 メニューの設定 」 画面に戻ります。

4. ←追加 を押す

▸ ダイレクト表示の編集

1. 編集したいダイレクト表示名を選択して反転表示させ、ダイレクト表示の編集 を押す。

   「 ダイレクト表示の追加 」 画面が表示されます。

2. 編集したい項目を変更する

3. 変更する を押す

   「 メニューの設定 」 画面に戻ります。

   ※ ツールメニューに追加されていた場合は、自動的に変更内容が反映されます。

▸ ダイレクト表示の削除

1. 削除したいダイレクト表示名を選択して反転表示させ、ダイレクト表示の削除 を押す。

   「 ダイレクト表示の削除 」 画面が表示されます。

2. はい を押す

   「 メニューの設定 」 画面に戻ります。

   ※ ツールメニューからも削除されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ デザインの設定

ヘッダ・フッタなどのデザインの設定をします。

1. ホーム画面 に、デザインを設定したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 画面のカスタマイズ 」をクリックする
   「 画面のカスタマイズ 」 画面が表示されます。

5. [デザイン] をクリックする
   「 デザインの設定 」 画面が表示されます。

6. 各項目を設定します。
   - **ヘッダ・フッタの色**
     画面のヘッダ・フッタの色を、緑色・水色・青色・黄色・薄茶色・こげ茶色・紫色・灰色・カーキ色・茶色 の 10 色から選択する。
   - **背景**
     画面の背景を設定する。
     - 標準の背景：ヘッダ・フッタの色で設定されている色が採用されます。
     - 背景 URL 指定：独自の背景を設定できます。背景画像が格納されている URL を指定します。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ 関連リンクの設定

ライブラリに関連する他のライブラリや Web サイトを、リンクリストに表示させることができます。

リンクリストに表示できるリンクは、以下の 2 つです。

- **関連リンク**

  作業中のライブラリに関連する URL を登録すると、ワンクリックで目的のサイトにアクセスできます。
  URL には、 デヂエ のライブラリの他、インターネット上の Web サイトなども指定できます。

- **My リンク**

  自分だけのリンク集を登録できます。ログインユーザーであれば、個人設定画面で設定できます。

1. **ホーム画面 に、関連リンクの設定をしたいライブラリ ([ライブラリ名]) を表示する**
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある
   を押すと便利です。

2. **ライブラリ ([ライブラリ名]) をクリックする**
   レコード一覧が表示されます。

3. **[ライブラリ管理] を押す**
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. **左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする**
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. **[関連リンク] をクリックする**
   「 関連リンクの設定 」 画面が表示されます。
   ※ リンクリストの 「 関連リンク 」 の [設定] をクリックしても、表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

6. 関連リンクに追加したい項目を指定し、←ライブラリ追加 あるいは ←URL追加 を押す

- **ライブラリ一覧**

  デヂエ で作成したライブラリを選択できます。

- **リンク名**

  「 URL 」 にて Web サイトを登録する際に、リストに表示する名前を指定します。(URL 設定時は必須入力項目です)

- **URL**

  Web サイトの URL を指定します。(URL 設定時は必須入力項目です)

※ 関連リンクを削除する場合は、「 関連リンクリスト 」 欄下の 削除 を押します。

※ 関連リンクの表示順を変更する場合は、「 関連リンクリスト 」 で表示順を変更したいリンク名を選択して反転表示させ、画面左の を押します。

を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

※ 設定画面のリストでの表示は、「 ★ 」 はライブラリ 「 ☆ 」 は Web サイトを表します。

※ リンクリストでは、 はライブラリ は Web サイトを表します。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ デフォルトビューの設定

ライブラリに最初にアクセスして表示されるレコード一覧ビュー、フィールドレイアウト、絞り込み、ソート順を組み合わせた 『 デフォルトビュー 』 を、ユーザー／グループ毎に設定することができます。

1. ホーム画面 に、デフォルトビューを設定したいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリビューの設定 」 をクリックする
   「 ライブラリビューの設定 」 画面が表示されます。

5. [デフォルトビュー] をクリックする
   「 デフォルトビューの設定 」 画面が表示されます。

6. 設定したいユーザーの所属グループをプルダウンメニューから選択し、リストにグループメンバーを表示させる

7. デフォルトビューを設定したいユーザー あるいは グループを選択して反転表示させ、 を押す
   ※ 追加されたユーザー あるいは グループには、初期値で 『 ソート：レコード番号 / 降順、レコード一覧ビュー：（すべて） / フィールドレイアウト：（すべて） / 絞り込み ：（すべて）』 が指定されています。必要に応じて以下の設定を行ってください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

8. 設定したいユーザー/グループの［ 編集する ］をクリックする

9. ユーザー あるいは グループに設定したいビューをプルダウンメニューから選択する
〈！〉レコード一覧ビュー、フィールドレイアウト、絞り込み、ソートはあらかじめ設定されている必要があります。

10. 反映する を押す
設定が反映されます。

11. さらに設定したいユーザー あるいは グループがある場合は、「6.」 から 「10.」 の手順を繰り返す

※ デフォルトビューが設定されていないユーザーは、［ デフォルト設定 ］が採用されます。

※ ユーザーが複数のデフォルトビューの設定に含まれる場合は、［ ユーザー名 ］→［ グループ名 ］→［ 全登録ユーザー / ログイン前ユーザー ］→［ デフォルト設定 ］の優先順位で適用されます。

〈！〉 レコード一覧ビュー 、フィールドレイアウト、絞り込み の設定画面でデフォルトビューを指定すると［ デフォルト設定 ］に反映されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ 検索・絞り込みヒット件数表示の設定

検索・絞り込みを行なった際、実行結果でヒットしたレコード件数を表示するように設定できます。

〈！〉 レコード数が多い場合は、検索・絞り込み処理が遅くなる可能性があります。設定したことで処理に問題が発生した場合は、設定を解除されることをお勧めします。

1. ホーム画面 に、ヒット件数を表示させたいライブラリ（ ［ ライブラリ名 ］）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

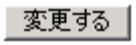
2. ライブラリ（ ［ ライブラリ名 ］）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. ［ ライブラリ管理 ］を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから［ 画面のカスタマイズ ］をクリックする
   「 画面のカスタマイズ 」 画面が表示されます。

5. ［ メニュー ］ をクリックする
   「 メニューの設定 」 画面が表示されます。

6. 「 検索・絞り込みのヒット件数 」 にて、 表示する にチェックする

7.  を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面に戻ります。

検索・絞り込み実行時に、画面左上にヒットした件数が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

アクセス権を設定したい

ライブラリ管理者は、ライブラリ、フィールド、絞り込み、レコード一覧ビュー、高度な機能に対して、アクセス権を設定することができます。

各アクセス権の初期設定では、全員に権限が与えられている状態に設定されています。

なお、システム管理者は、フォルダのアクセス権の設定が行えます。

■ ライブラリへのアクセス権

ライブラリに対するアクセス権を設定します。

ここでは、以下についての設定ができます。

- **レコード登録者に許可するアクセス権**
  レコードを登録したユーザーに対して、自身が登録したレコードに対する閲覧・編集・削除権限を設定できます。デフォルトでは、このアクセス権は使用しない設定になっています。レコード登録者の詳細・変更方法は 133 ページの「レコード登録者について」をご覧ください。
- **ライブラリへのアクセス権**
  ユーザー あるいは グループに対して、ライブラリの閲覧・編集・追加・削除権限を設定できます。
  〈！〉 ライブラリ管理者には、常にライブラリの閲覧権が与えられています。

1. ホーム画面 に、ライブラリへのアクセス権を設定したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 閉く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 アクセス権の設定 」 をクリックする
   「 アクセス権の設定 」 画面が表示されます。

5. [ライブラリ] をクリックする
   「 ライブラリへのアクセス権の設定 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

6. ご希望のアクセス権を設定する

- **レコード登録者に許可するアクセス権**

はじめはこのアクセス権は使用しない設定になっています。

1. [編集する] をクリックする
2. レコード登録者に与えたい権限にチェックを入れる
3. 反映する を押す

〈！〉 ライブラリ管理者が 「 全員 」 に設定されている場合は、レコード登録者に関わらず全員が閲覧可能な状態となるため、設定画面に赤字でメッセージが表示されます。

〈！〉 ライブラリへのアクセス権で 「 全員 」 にアクセス権が与えられている場合、レコード登録者へのアクセス権が意味を持たないようになります。ご注意ください。

- **ライブラリへのアクセス権**

はじめは全員にアクセス権が与えられています。

1. アクセス権を設定したいユーザーの所属グループをプルダウンメニューから選択し、リストにグループメンバーを表示させる
2. アクセス権を設定したいユーザー あるいは グループを選択して反転表示させ、<< 追加する を押す

追加されたユーザー あるいは グループには、全アクセス権 （ 閲覧・編集・追加・削除 ） が与えられています。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

3. [編集する] をクリックする
4. ユーザー あるいは グループに与えたい権限にチェックを入れる
5. 反映する を押す
6. さらに設定したいユーザー あるいは グループがある場合は、「1.」「2.」 の手順を繰り返します。

※ 設定されているユーザー あるいは グループを削除する場合は、[削除する] をクリックします。

※ チェックをすべて外すと、一覧から削除されます。

※ ライブラリへのアクセス権がないユーザーも、レコード登録者の権限は有効となります。

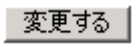
Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

レコード登録者について

- デヂエ では、登録されたレコードに対し、「レコード登録者」 が記録されます。
  ただし、ログイン前ユーザーがレコードを登録しても、「レコード登録者」 にはなりません。
  レコード登録者に対してアクセス権を設定している場合は、ライブラリへのアクセス権 （閲覧権限） を ［全員］ ではなく ［全登録ユーザー］ にすることをお勧めします。
  ※ ログイン前ユーザーでは、ライブラリにアクセスできなくなります。
- なお、ライブラリ管理者は 「レコード登録者」 を変更することができます。
  レコード登録者を変更することで、登録する人と管理する人が異なる場合などに、アクセス権の設定がしやすくなります。

変更方法は以下のとおりです。

1. レコード一覧画面で、［ 閲覧 ］ を押す
2. 「 登録者 」 フィールドにある［ 変更する ］をクリックする
3. プルダウンメニューから、変更したいユーザーを選択する
4.  ボタンを押す

※ ライブラリ管理者であれば、CSV ファイルを使ってレコード登録者情報を更新・追加することも可能です。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フィールドのアクセス権

フィールドごとにアクセス権を設定します。
はじめは全員が閲覧・編集権限が与えられています。

1. ホーム画面 に、フィールドのアクセス権を設定したいライブラリ（ [ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 アクセス権の設定 」 をクリックする
   「 アクセス権の設定 」 画面が表示されます。

5. [フィールド] をクリックする
   「 フィールドの設定 」 画面が表示されます。

6. アクセス権を設定したいフィールドの［ アクセス権 ］をクリックする
   「 フィールドのアクセス権の設定 」 画面が表示されます。

7. アクセス権を設定したいユーザーの所属グループをプルダウンメニューから選択し、リストにグループメンバーを表示させる

8. アクセス権を設定したいユーザー あるいは グループを選択して反転表示させ、
   << 追加する を押す
   追加されたユーザー あるいは グループには、全アクセス権 （ 閲覧・編集 ） が与えられています。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

9. ［ 編集する ］をクリックする

10. ユーザー あるいは グループに与えたい権限にチェックを入れる
    ※ 「 編集 」 権限を与えると、自動的に 「 閲覧 」 権限も与えられます。

11. 反映する を押す
    設定が反映されます。

12. さらに設定したいユーザー あるいは グループがある場合は、「6.」 から 「10.」 の手順を繰り返します。

※ ライブラリ管理者であっても閲覧権限がなければ 「 閲覧 」 はできません。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ 絞り込みのアクセス権

絞り込みごとにアクセス権を設定します。

はじめは全員が利用可能な状態に設定されています。

1. ホーム画面 に、絞り込みのアクセス権を設定したいライブラリ（ [ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。
2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。
3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。
4. 左のメニューから 「 アクセス権の設定 」 をクリックする
   「 アクセス権の設定 」 画面が表示されます。
5. [絞り込み] をクリックする
   「 絞り込みの設定 」 画面が表示されます。
6. アクセス権を設定したい絞り込みを選択して反転表示させ、 アクセス権 を押す
   「 絞り込みのアクセス権の設定 」 画面が表示されます。
   ※ 絞り込みの 「(すべて)」 にも、アクセス権の設定が可能です。
   〈!〉ライブラリ管理者は、絞り込みの 「(すべて)」 にアクセス権がなくても、
   絞り込みの 「(すべて)」 を閲覧することが可能です。
7. アクセス権を設定したいユーザーの所属グループをプルダウンメニューから選択し、下のリストにグループメンバーを表示する
8. アクセス権を設定したいユーザー あるいは グループを選択して反転表示させ、
   ←追加 を押す
9. 更に利用可能なユーザーを追加したいときは 「6.」 「7.」 の手順を繰り返す

10. 変更する を押す
    「 絞り込みの設定 」 画面に戻ります。

〈！〉アクセス権の設定により、デフォルトビューでの表示が正しくされないこともあります。
詳しくは 143 ページの OnePoint をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ レコード一覧ビューのアクセス権

レコード一覧ビューごとにアクセス権を設定します。
はじめは全員が利用可能な状態に設定されています。

1. ホーム画面 に、レコード一覧ビューのアクセス権を設定したいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 アクセス権の設定 」 をクリックする
   「 アクセス権の設定 」 画面が表示されます。

5. [レコード一覧ビュー] をクリックする
   「 レコード一覧ビューの設定 」 画面が表示されます。

6. アクセス権を設定したいレコード一覧ビューを選択して反転表示させ、アクセス権 を押す
   「 レコード一覧ビューのアクセス権の設定 」 画面が表示されます。
   ※ **レコード一覧ビューの 「(すべて)」 にも、アクセス権の設定が可能です。**
   ⟨!⟩ **ライブラリ管理者は、レコード一覧ビューの 「(すべて)」 にアクセス権がなくても、レコード一覧ビューの「(すべて)」 を閲覧することが可能です。**

7. アクセス権を設定したいユーザーの所属グループをプルダウンメニューから選択し、下のリストにグループメンバーを表示する

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

8. アクセス権を設定したいユーザー あるいは グループを選択して反転表示させ、
←追加 を押す

9. 更に利用可能なユーザーを追加したいときは 「6.」 「7.」 の手順を繰り返す

10. 変更する を押す
「 レコード一覧ビューの設定 」 画面に戻ります。

〈！〉アクセス権の設定により、デフォルトビューでの表示が正しくされないこともあります。
詳しくは 143 ページの OnePoint をご覧ください。

ONE POINT	**▶ レコード閲覧形式のレコード一覧ビューについて** レコード閲覧形式のレコード一覧ビューを利用の際は、レコード一覧ビューのアクセス権だけでなく、使用しているフィールドレイアウトのアクセス権の許可があるものだけが使用可能となります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ フィールドレイアウトのアクセス権

フィールドレイアウトごとにアクセス権を設定します。
はじめは全員が利用可能な状態に設定されています。

1. ホーム画面 に、レコード一覧ビューのアクセス権を設定したいライブラリ（ [ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 アクセス権の設定 」 をクリックする
   「 アクセス権の設定 」 画面が表示されます。

5. [フィールドレイアウト] をクリックする
   「 フィールドレイアウトの設定 」 画面が表示されます。

6. アクセス権を設定したいフィールドレイアウトを選択して表示させ、 を押す
   「 フィールドレイアウトのアクセス権の設定 」 画面が表示されます。
   ※ フィールドレイアウトの「(すべて)」にも、アクセス権の設定が可能です。
   〈!〉 ライブラリ管理者は、フィールドレイアウトの「(すべて)」にアクセス権がなくても、フィールドレイアウトの「(すべて)」を閲覧することが可能です。

7. アクセス権を設定したいユーザーの所属グループをプルダウンメニューから選択し、下のリストにグループメンバーを表示する

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

8. アクセス権を設定したいユーザー あるいは グループを選択して反転表示させ、
   ←追加 を押す

9. 更に利用可能なユーザーを追加したいときは 「6.」 「7.」 の手順を繰り返す

10. 変更する を押す
    「 フィールドレイアウトの設定 」 画面に戻ります。

〈！〉アクセス権の設定により、デフォルトビューでの表示が正しくされないこともあります。
詳しくは 143 ページの OnePoint をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ 高度な機能のアクセス権

下記の高度な機能ごとにアクセス権を設定します。
はじめは全員が利用可能な状態に設定されています。

・ CSV ファイルへの書き出し
・ 文字列置換
・ レコードの一括削除
・ 再ルックアップ
・ XML 書き出し
・ レコードコピー

※ 初期値は 「 全員 」 にアクセス権が与えられています。

1. ホーム画面 に、高度な機能のアクセス権を設定したいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 閉く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 アクセス権の設定 」 をクリックする
   「 アクセス権の設定 」 画面が表示されます。

5. [高度な機能] を選択する
   「 高度な機能のアクセス権の設定 」画面が表示されます。

6. 高度な機能のアクセス権を設定したいユーザーの所属グループをプルダウンメニューから選択し、リストにグループメンバーを表示させる

7. 高度な機能のアクセス権を設定したいユーザー あるいは グループを選択して反転表示させ、 << 追加する を押す

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

追加されたユーザー あるいは グループには、全ての機能の利用権限が与えられています。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

8. ［ 編集する ］をクリックする

9. ユーザー あるいは グループに与えたい権限にチェックを入れる

10. 反映する を押す
    設定が反映されます。

11. さらに設定したいユーザー あるいは グループがある場合は、「6.」 から 「10.」 の手順を繰り返す

・ 高度な機能の利用権限があっても、カスタマイズ の メニューの設定 でツールメニューに表示されるよう指定されていない場合は、ツールメニューに表示されません。（ 「 XML 書き出し 」 は 初期値でメニューに表示されない設定になっています ）
・ ルックアップ対象がない （ いずれかのフィールドに手動ルックアップが設定されていない ） 場合は ［ 再ルックアップ ］は表示されません。また、有効なレコードコピーの設定がな場合は、 ［ レコードコピー ］ は表示されません。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

最初に開いた画面での表示について

レコード一覧画面及び、フィールドレイアウト画面を最初に開いた時は、デフォルトビューで設定されている 「 レコード一覧ビュー・絞り込み・フィールドレイアウト 」 が選択されます。

ただし、デフォルトビューで設定されている 「 レコード一覧ビュー・絞り込み・フィールドレイアウト 」 にアクセス権がない場合は、以下の順番で採用されます。

例） レコード一覧ビュー
デフォルトビューで設定されている 「 レコード一覧ビュー 」 にアクセス権がない場合は、以下の順番で採用するレコード一覧ビューが採用されます。

１．デフォルトビューで設定されているレコード一覧ビュー
↓
２．（ すべて ）
↓
３．「 レコード一覧ビューの設定 」 画面での並び順で上から採用される

※絞り込み、フィールドレイアウトも同様の順番で採用されます。
※なお、選択可能なレコード一覧ビューがない場合はエラーが表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ライブラリを関連づけたい

2 つのライブラリにリレーションを設定して関連付けると、ルックアップ機能を利用して他のライブラリのデータを利用することができます。

リレーションウィザードを利用すると、リレーションとルックアップの設定を同時に行えます。また、既にライブラリにリレーションが設定されている場合は、フィールドの設定からルックアップを設定することも可能です。

➢ **リレーション、ルックアップとは**

・ リレーション ・・・ 2 つのライブラリを、共通のフィールドをキーにして関連付けること

・ ルックアップ ・・・ リレーション先のライブラリのデータを利用すること

● 手動ルックアップ：リレーション先のライブラリのデータをルックアップボタンで 「 取得 」 し、データに変更があった場合は再ルックアップを実行する必要があります。
データの挿入先は任意のフィールドを指定し、そのフィールド自体にデータを取得します。

● 自動ルックアップ： リレーション先のライブラリのデータを 「 参照 」 し、データに変更があった場合は自動で反映されます。手動ルックアップのように 「 ルックアップボタン 」 を押下してデータを取得する必要はありません。
データの挿入先は自動ルックアップフィールドを指定し、そのフィールド自体にはデータは保持していません。

〈！〉 自動ルックアップフィールドのデータは、リレーション先のデータを参照しているため、以下を行うことはできません。

- データの編集
- ソートの実行
- 自動計算、時間計算の対象にする
- 文字列置換
- CSV ファイルからのデータの読み込み
- メール通知の条件に指定する
- 別の自動ルックアップの参照先として指定する
- レコードコピーのコピー元フィールド、コピー先フィールドに設定する

※ 検索、絞り込み、集計対象にすること、CSV ファイルに書き出すことは可能です。

※ 各アクセス権の初期設定では、全員に権限が与えられている状態に設定されています。なお、システム管理者は、フォルダのアクセス権の設定が行えます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT	**▶ ルックアップ方法の検討** **運用内容によって、ルックアップ方法を手動にするか自動ルックアップするかをご検討ください。** **例 ）・ 常に最新のデータを参照する必要がある ⇒ 自動ルックアップ** **・ ルックアップしたライブラリで自動計算をする必要がある ⇒ 手動ルックアップ** **・ ルックアップしたデータをユーザーに変更されないようにする必要がある** **⇒ 自動ルックアップ**

■ リレーションの追加

リレーションを追加します。

1. ホーム画面 に、リレーションを追加したいライブラリ（ [ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [リレーション] をクリックする
   「 リレーションの設定 」 画面が表示されます。

6. 追加する を押す。
   「 リレーションの追加 - Step 1/2 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

7. 以下の項目を設定する

- リレーション名

  同ライブラリ内に同じ名前のリレーションを設定することはできません。

- 関連付けるライブラリとフィールドの設定

設定項目	このライブラリ	関連づけるライブラリ (※1)
ライブラリの関連づけ (※2)	現在のライブラリ名が自動的に表示されます。	現在のライブラリと関連付けしたいライブラリを選択します。
キーフィールドの関連づけ (※3)	現在のライブラリのうち、関連づけを設定するフィールドを選択します。	関連づけるライブラリのうち、関連づけを設定するフィールドを選択します。

※１　関連付けるライブラリに、現在のライブラリを指定することはできません。

※２　アクセス権のあるライブラリが表示されます。詳しくは 153 ページの「アクセス権の関係」をご覧ください。

※３　アクセス権のあるフィールドが表示されます。詳しくは 153 ページの「アクセス権の関係」をご覧ください。

互いの値が一致するフィールド間でリレーションを設定します。互いのフィールド名は異なっても構いません。

フィールド名の後ろにそのフィールドのフィールドタイプが表示されます。

例 ）［ type=文字列 （ 1 行 ）］

〈！〉フィールドタイプが異なる場合は、組み合わせによって設定できない場合があります。詳しくは　154 の「リレーション設定の制限」をご覧ください。

8. 次へ >> を押す

「リレーションの追加 - Step 2/2 」 が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

9. ルックアップ先、ルックアップ元のフィールドを設定する

このライブラリのフィールド（※1）	リレーションを設定したライブラリからデータを取得したいフィールドを、プルダウンメニューから選択する。[_新規にフィールドを作成する_] を選択すると、設定中にルックアップしたデータを取得 あるいは 表示するフィールドを追加できます。
関連づけるライブラリのフィールド（※2）	リレーション先のライブラリの、取得したいフィールドをプルダウンメニューから選択する。

※１　アクセス権のあるフィールドが表示されます。詳しくは 153 ページの「アクセス権の関係」をご覧ください。

※２　フィールド名の後ろにそのフィールドのフィールドタイプが表示されます。

例 ）［ type=文字列（ 1 行 ）］

〈！〉リレーションの設定には、フィールドタイプの互換性により制限があります。詳しくは 154 ページの「リレーション設定の制限」をご覧ください。

10. 1 つのリレーションで複数のルックアップを設定する場合は、関連づけを増やす を押して 「8」 の作業を繰り返す

11. 設定する を押す

「 リレーションの設定 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ リレーションの編集

設定されているリレーションを編集します。

1. ホーム画面 に、リレーションを編集したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [リレーション] をクリックする
   「 リレーションの設定 」 画面が表示されます。

6. 編集する を押す。
   「 リレーションの編集 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

7. 編集したい項目を変更する

- リレーション名

  同ライブラリ内に同じ名前のリレーションを設定することはできません。

- 関連付けるライブラリとフィールドの設定

設定項目	このライブラリ	関連づけるライブラリ (※1)
ライブラリの関連づけ (※2)	現在のライブラリ名が自動的に表示されます。	現在のライブラリと関連付けしたいライブラリを選択します。
キーフィールドの関連づけ (※3)	現在のライブラリのうち、関連づけを設定するフィールドを選択します。	関連づけるライブラリのうち、関連づけを設定するフィールドを選択します。

このライブラリのフィールド (※1)	リレーションを設定したライブラリからデータを取得したいフィールドを、プルダウンメニューから選択する。[_新規にフィールドを作成する_] を選択すると、設定中にルックアップしたデータを取得 あるいは 表示するフィールドを追加できます。
関連づけるライブラリのフィールド (※2)	リレーション先のライブラリの、取得したいフィールドをプルダウンメニューから選択する。

- 関連付けるライブラリに、現在のライブラリを指定することはできません。
- アクセス権のあるライブラリが表示されます。詳しくは 153 ページの「アクセス権の関係」をご覧ください。
- アクセス権のあるフィールドが表示されます。詳しくは 153 ページの「アクセス権の関係」をご覧ください。

  互いの値が一致するフィールド間でリレーションを設定します。互いのフィールド名は異なっても構いません。

  フィールド名の後ろにそのフィールドのフィールドタイプが表示されます。

  例 ） [type=文字列 （ 1 行 ）]

〈！〉フィールドタイプが異なる場合は、組み合わせによって設定できない場合があります。詳しくは 154 ページの「リレーション設定の制限」をご覧ください。

8. 1 つのリレーションで複数のルックアップを設定する場合は、関連づけを増やす を押して 「6」 の作業を繰り返す

9. 設定する を押す

「 リレーションの設定 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ リレーションの削除

設定されているリレーションを削除します。

1. ホーム画面 に、リレーションを削除したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [リレーション] をクリックする
   「 リレーションの設定 」 画面が表示されます。

6. 削除する を押す
   「 リレーションの削除 」 画面が表示されます。

7. はい を押す
   「 リレーションの設定 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ ルックアップの設定

設定されたリレーションにフィールドのルックアップを設定します。

・ リレーションウィザードでの設定以外でも、ライブラリにリレーションが設定されていれば、フィールドの設定画面でルックアップを設定できます。手順は 手動ルックアップ 、自動ルックアップ によって異なります。

➢ 手動ルックアップの設定

リレーションを設定したライブラリからデータを取り込むために、データを取り込みたいフィールドにルックアップを設定します。

1. ホーム画面 に、ルックアップを設定したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 フィールドの設定 」 をクリックする
   「 フィールドの設定 」 画面が表示されます。

5. ルックアップを設定したいフィールド において、[変更] をクリックする
   「 フィールドの編集 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

6. 画面下の ☑「 ルックアップでデータを取り込む 」 にチェックを入れる
（ ルックアップを設定しない場合は、チェックをはずす ）

リレーション	ルックアップ時に使用するリレーション名を選択します。リレーションの設定方法は 14 ページの「リレーションの追加」をご覧ください。
取り込むフィールド	リレーション設定されているライブラリのフィールド名が表示されます。 現在のフィールドに値を取り込みたいフィールドを選択します。

〈！〉ルックアップ設定には、フィールドタイプの互換性により制限があります。
詳しくは 155 ページの「ルックアップ設定の制限」をご覧ください。

・ 取り込むフィールドには、アクセス権のあるフィールドが表示されます。153 ページの「アクセス権の関係」をご覧ください。

➢ 自動ルックアップの設定

あらかじめ、ライブラリにリレーションと自動ルックアップフィールドが設定されていることを前提とします。
リレーションの設定方法は 145 ページの「リレーションの追加」、フィールドの新規作成方法は 20 ページの「フィールドの追加」 をご覧ください。

1. ホーム画面 に、自動ルックアップを設定したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 フィールドの設定 」 をクリックする
「 フィールドの設定 」 画面が表示されます。

5. フィールドタイプに自動ルックアップを設定したフィールドの [変更] をクリックする
「 フィールドの編集 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

6. 「 リレーション 」 のプルダウンメニューから、自動ルックアップ時に使用するリレーション名を選択する

7. 「 取り込むフィールド 」 のプルダウン （ リレーション先のライブラリのフィールド名が表示されます ） から、自動ルックアップフィールドに取り込みたい値が登録されたフィールドを選択する

8. 変更する を押す

ONE POINT

▶アクセス権の関係

以下の場合、リレーションを設定することができません。

・リレーション先のライブラリが格納されているフォルダのアクセス権がない

⇒ 「 関連づけるライブラリ 」 に表示されません。

・リレーション先のライブラリの閲覧権限がない

⇒ 「キーフィールドの関連づけ 」 に表示されません。

・リレーション先の関連付けるフィールドの閲覧権限がない

⇒ 「 キーフィールドの関連づけ 」 に表示されません。

以下の場合、ルックアップを設定することができません。

・リレーション先のライブラリが格納されているフォルダのアクセス権がない

⇒ 「 関連づけるライブラリのフィールド 」 に表示されません。

・リレーション先のライブラリの閲覧権限がない

⇒ 「 関連づけるライブラリのフィールド 」 に表示されません。

・リレーション先の関連付けるフィールドの閲覧権限がない

⇒ 「 関連づけるライブラリのフィールド 」 に表示されません。

・リレーション先から取得するフィールドの閲覧権限がない

⇒ 「 このライブラリのフィールド 」 にフィールド名が表示されません。

以下の場合、ルックアップを実行することができません。

・キーとなるフィールド、あるいはデータを取り込むフィールドの閲覧、編集権限がない

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

リレーション設定の制限

設定中のライブラリ ＼ 関連付けるライブラリ	文字列(一行)	文字列(複数行)	数値	URL	チェックボックス	ラジオボタン	メニュー(文字列)	メニュー(ユーザー)	日付	時刻	日付時刻	ファイル	イメージ	自動計算	自動採番	時間量	時間計算	自動ルックアップ
文字列(一行)	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×
文字列(複数行)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
数値	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
URL	○	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
チェックボックス	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ラジオボタン	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×
メニュー(文字列)	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×
メニュー(ユーザー)	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
日付	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
時刻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
日付時刻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
ファイル	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
イメージ	○	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
自動計算	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
自動採番	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
時間量	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
自動計算	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
自動ルックアップ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ルックアップ設定の制限

関連付けるフィールド / 設定するフィールド	文字列(一行)	文字列(複数行)	数値	URL	チェックボックス	ラジオボタン	メニュー(文字列)	メニュー(ユーザー)	日付	時刻	日付時刻	ファイル	イメージ	自動計算	自動採番	時間量	時間計算	自動ルックアップ
文字列(一行)	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
文字列(複数行)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
数値	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
URL	○	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
チェックボックス	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ラジオボタン	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
メニュー(文字列)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
メニュー(ユーザー)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
日付	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
時刻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
日付時刻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
ファイル	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
イメージ	○	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
自動計算	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
自動採番	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
時間量	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
自動計算	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
自動ルックアップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※ 日付、時刻、日付時刻 を文字列（一行）/（複数行）に変更した場合 「 yyyy/mm/dd hh:mm:ss 」 の書式になります。

※ 時間量を文字列（一行）/（複数行） に変更した場合 「 dd:hh:mm:ss 」 の書式になります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

計算したい

デヂエ では、数値データの計算・集計機能として以下を備えています。

- **集計機能**
  - 集計を設定すると、レコード一覧画面からフィールドごとの集計を実行することができます。集計の種類に 「 合計値 」 「 レコード数 」 を選択すると、簡易的なグラフを表示することも可能です。また、集計結果のソート順の設定、絞り込みの実行、CSV ファイルへの出力にも対応しています。
- **自動計算フィールド**
  - 同じレコード内の 「 数値 」 「 自動計算 」 フィールドの値を自動で計算するフィールドです。四則演算および合計を算出できます。設定は ライブラリ構築・管理ガイド 17 ページの「フィールドの追加」をご覧ください。また、自動計算フィールドの詳細は ライブラリ構築・管理ガイド 1 23 ページの「各フィールドタイプの詳細設定」 をご覧ください。
- **時間計算フィールド**
  - 「 日付 」 「 時刻 」 「 日付時刻 」 「 時間量 」 「 時間計算 」 フィールドに登録された時間情報に対して、＋－計算、合計を算出できるフィールドです。 設定は こちら をご覧ください。なお、計算対象に指定できるフィールドは、フィールドタイプによって異なります。計算の組み合わせ、時間計算フィールドの詳細はライブラリ構築・管理ガイド 1 23 ページの「各フィールドタイプの詳細設定をご覧ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ 集計の追加

集計を追加します。

1. ホーム画面 に、集計を追加したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [集計]をクリックする
   「 集計の設定 」 画面が表示されます。

6. 追加する を押す。
   「 集計の追加 」 画面が表示されます。

7. プルダウンメニューから 「 集計の種類 」 を選択する
   合計値　　指定されたフィールドの合計値を表示
   平均値　　指定されたフィールドの平均値を表示
   最大値　　指定されたフィールドのうち、最大値を表示
   最小値　　指定されたフィールドのうち、最小値を表示
   レコード数　指定されたフィールドのレコード数を表示
   「 レコード数 」 以外の集計の種類は、「 数値 」「 自動計算 」「 時間量 」 「 時間計算 」 フィールドに対してのみ 設定することができます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

8. 次へ >> を押し、集計の詳細を設定する

集計名

必須入力項目です。

※ 既に存在する集計名は設定できません

集計するフィールドをプルダウンメニューから選択

集計の種類に 「 合計値 」 「 平均値 」 「 最大値 」 「 最小値 」 を選択した場合に表示されます。集計できるフィールドは、以下のいずれかです。

数値

自動計算

時間量

時間計算

小計対象

フィールドの値ごとに、指定された集計の種類にしたがって、小計することができます。

小計機能を利用したい場合は、小計対象フィールドを指定します。

小計対象フィールドは 3 つまで指定することができ、小計対象 1 ⇒ 2 ⇒ 3 の順に実行されます。

以下を小計対象にすることはできません。

- レコード番号
- 文字列（ 複数行 ）
- ファイルフィールド
- 自動採番

〈！〉集計対象と同じフィールドを小計対象にすることはできません。

グラフ

集計の種類が 「 合計値 」 「 レコード数 」 の場合は、各小計対象のプルダウンメニュー横に 「 グラフを表示する 」 のチェックボックスが配置されます。チェックを付けることで、集計を実行した際に横棒グラフが表示されます。

〈！〉ただし、集計結果および小計値が負の場合はグラフを表示できません。

ソート

集計結果のソート順を設定できます。初期値は 「 小計値 / 降順 」 です。

※ ソート順は集計結果の画面でも変更できます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

9. 設定する を押す
   絞り込み・検索後に集計を使用することもできます。
   小数点以下の表示桁数について
   集計の種類が 「 合計値 」 「 最大値 」 「 最小値 」 の場合
   集計対象のフィールドの表示桁数の設定に併せて表示されます。
   集計の種類が 「 平均値 」 の場合
   集計対象フィールドの表示桁数 ＋ 1 桁まで表示されます。

■ 集計の編集

登録されている集計の設定を編集します。

1. ホーム画面 に、集計を編集したいライブラリ（[ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [集計]をクリックする
   「 集計の設定 」 画面が表示されます。

6. 編集したい集計名を選択して反転表示させ、 編集する を押す
   「 集計の編集 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

7. プルダウンメニューから 「 集計の種類 」 を選択する

合計値 指定されたフィールドの合計値を表示

平均値 指定されたフィールドの平均値を表示

最大値 指定されたフィールドのうち、最大値を表示

最小値 指定されたフィールドのうち、最小値を表示

レコード数 指定されたフィールドのレコード数を表示

「 レコード数 」 以外の集計の種類は、「 数値 」「 自動計算 」「 時間量 」 「 時間計算 」 フィールドに対してのみ 設定することができます。

8. 次へ >> を押し、集計の詳細を設定する

集計名

必須入力項目です。

※ 既に存在する集計名は設定できません

集計するフィールドをプルダウンメニューから選択

集計の種類に 「 合計値 」 「 平均値 」 「 最大値 」 「 最小値 」 を選択した場合に表示されます。集計できるフィールドは、以下のいずれかです。

数値

自動計算

時間量

時間計算

小計対象

フィールドの値ごとに、指定された集計の種類にしたがって、小計することができます。

小計機能を利用したい場合は、小計対象フィールドを指定します。

小計対象フィールドは 3 つまで指定することができ、小計対象 1 ⇒ 2 ⇒ 3 の順に実行されます。

以下を小計対象にすることはできません。

- レコード番号
- 文字列（ 複数行 ）
- ファイルフィールド
- 自動採番

集計対象と同じフィールドを小計対象にすることはできません。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

グラフ

集計の種類が 「 合計値 」 「 レコード数 」 の場合は、各小計対象のプルダウンメニュー横に 「 グラフを表示する 」 のチェックボックスが配置されます。チェックを付けることで、集計を実行した際に横棒グラフが表示されます。

ソート

集計結果のソート順を設定できます。初期値は 「 小計値 / 降順 」 です。

※ ソート順は集計結果の画面でも変更できます。

9. 設定する を押す

絞り込み・検索後に集計を使用することもできます。

小数点以下の表示桁数について

集計の種類が 「 合計値 」 「 最大値 」 「 最小値 」 の場合

集計対象のフィールドの表示桁数の設定に併せて表示されます。

集計の種類が 「 平均値 」 の場合

集計対象フィールドの表示桁数 ＋ 1 桁まで表示されます。

■ 集計の順番変更

登録されている集計の順番変更をします。

1. ホーム画面 に、集計の順番を変更したいライブラリ ［ ライブラリ名 ］）を表示する

ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ ［ ライブラリ名 ］）をクリックする

レコード一覧が表示されます。

3. ［ ライブラリ管理 ］を押す

「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする

「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. ［ 集計 ］をクリックする

「 集計の設定 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

6. 順番を変更したい集計名を選択して反転表示させ、 を押し、選択した絞り込み名の表示を上下に移動させ、順番を変更します。
   押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

■ 集計の削除

登録されている集計を削除します。

1. ホーム画面 に、集計を削除したいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [集計]をクリックする
   「 集計の設定 」 画面が表示されます。

6. 削除したい集計名を選択して反転表示させ、削除する を押す
   確認画面が表示されます。

7. はい を押す
   「 集計の設定 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

集計の設定例

商品毎 の 売り上げ高 の 合計値 を 月毎 に集計する。

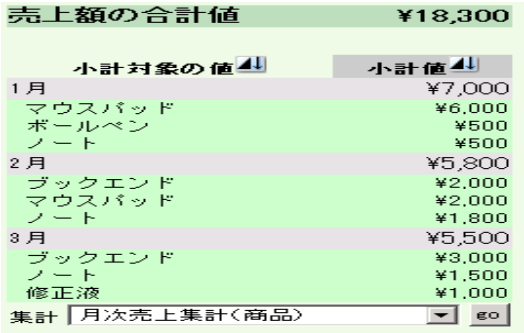
対象のライブラリに、「 売上月 」「 商品名 」「 売上額 」 の各フィールドがある場合。

- **集計の種類 ：合計値**
- **集計名 ： 商品毎月次売上**
- **集計するフィールド ：「 売上額の合計値を集計する 」**
- **小計対象 1 ： 売上月**
- **小計対象 2 ：商品名**

以上の設定項目を指定すると ‥

↓

集計の実行結果として、以下のページが表示されます。



売上額の合計値	¥18,300
小計対象の値	小計値
1月	¥7,000
マウスパッド	¥6,000
ボールペン	¥500
ノート	¥500
2月	¥5,800
ブックエンド	¥2,000
マウスパッド	¥2,000
ノート	¥1,800
3月	¥5,500
ブックエンド	¥3,000
ノート	¥1,500
修正液	¥1,000

集計 [月次売上集計(商品)] go

グラフを表示させた場合のイメージです。

売上額の合計値	¥18,300	
小計対象の値	小計値	グラフ
1月	¥7,000	
マウスパッド	¥6,000	
ボールペン	¥500	
ノート	¥500	
2月	¥5,800	
ブックエンド	¥2,000	
マウスパッド	¥2,000	
ノート	¥1,800	
3月	¥5,500	
ブックエンド	¥3,000	
ノート	¥1,500	
修正液	¥1,000	

集計 [月次売上集計(商品) グラフ表示] go

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

外部ファイルへ入出力したい

デヂエ では、DBM ファイル／CSV ファイル／XML ファイルへの書き出し、および、既存のライブラリに CSV ファイルから追加／上書きして読み込むことが可能です。

- **DBM ファイルとは**
  - デヂエ 独自のファイル形式。ライブラリ作成時に、1 ライブラリにつき 1 DBM ファイルが作成されます。
- **CSV ファイルとは**
  - レコードデータをコンマ （ , ） で区切るファイル形式。対応しているアプリケーション上で、データ編集が行えます。
- **XML ファイルとは**
  - シンプルなフォーマットで文書構造を記述でき、独自にタグを定義できる言語で書かれたファイル。デヂエ のライブラリの情報、フィールドのタイプ、フィールド値を書き出すことができます。

ONE POINT	**DBM ファイル、CSV ファイルの読み込みに関して** ライブラリ管理者が読み込みが可能な条件は、以下のとおりです。 ・ DBM ファイル、CSV ファイルが 10 レコード以下のライブラリの場合 ・ 読み込むライブラリが仮運用のとき、ファイルを読み込んだ後のレコード数の合計が 10 レコード以下の場合 〈！〉11 レコード以上のファイルを読み込む時、また、仮運用ライブラリに読み込んだ結果 11 レコード以上になる時は、読み込むことができません。システム管理者、あるいは ライブラリ作成権のあるユーザーに依頼してください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ DBM ファイルへの書き出し

ライブラリに登録したデータを DBM ファイル形式で書き出します。
書き出したファイルの中身の編集はできません。 ファイルを書き出して、中身を編集したいときは、CSV ファイルへの書き出しを行ってください。

1. ホーム画面 に、DBM ファイルに書き出したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから「 ライブラリの入出力、最適化、削除 」 をクリックする
   「 ライブラリの入出力、最適化、削除 」 画面が表示されます。

5. [DBM ファイル(*.dbm)への書き出し] をクリックする
   「 DBM ファイル(*.dbm)への書き出し 」 画面が表示されます。

6. [（ ライブラリ名 ）.dbm] あるいは、[（ ライブラリ ID ）.dbm] のいずれかをクリックを押し、ファイルをディスクに保管する
   [（ ライブラリ名 ）.dbm] は、ライブラリ名をファイル名として使用しています。 そのため、ライブラリ名を日本語表記にしていた場合、ファイル名も日本語表記となり、正常にダウンロードできない場合があります。
   正常にダウンロードできない場合は [（ ライブラリ ID ）.dbm] のファイルをダウンロードしてください。 双方とも、ファイル名が異なるだけで、ファイルの中身は同じです。
   〈！〉ファイルフィールドに添付したファイルは、ファイル名のみが書き出されます。 添付ファイルを書き出すことはできません。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ CSV ファイルへの書き出し

ライブラリに登録したデータをを CSV ファイル形式で書き出します。

1. ホーム画面 に、CSV ファイルに書き出したいライブラリ（ [ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから「 ライブラリの入出力、最適化、削除 」 をクリックする
   「 ライブラリの入出力、最適化、削除 」 画面が表示されます。

5. [CSV ファイル(*.csv)の書き出し] をクリックする
   「 CSV ファイルへの書き出し - Step 1/2 」 画面が表示されます。

6. ← 書き出す を押して CSV ファイルに書き出すフィールドを「 書き出すフィールド 」 欄に移動させる

7. 必要に応じて 「 先頭行にフィールド名を書き出す 」 にチェックする

8. 次へ >> を押す
   「 CSV ファイルへの書き出し - Step 2/2 」 画面が表示されます。

9. 内容を確認し、書き出す を押す

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ CSV ファイルの読み込み

ライブラリに CSV ファイルを読み込みます。

〈！〉 既存のライブラリのフィールドの並び順と、読み込む CSV ファイルの項目の並び順が揃っていない場合は、正常に読み込まれません。読み込み作業の前に CSV ファイルの項目を必ずご確認ください。

1. ホーム画面 に、CSV ファイルを読み込みたいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから「 ライブラリの入出力、最適化、削除 」 をクリックする
   「 ライブラリの入出力、最適化、削除 」 画面が表示されます。

5. [CSV ファイル(*.csv)の読み込み] をクリックする
   「 CSV ファイルからの読み込み-Step 1/4 」 画面が表示されます。

6. 参照... を押し、読み込む CSV ファイルを選択する
   ※ 入力欄に読み込む CSV ファイルのファイルパスを直接設定することもできます。

7. 次へ >> を押す
   「 CSV ファイルからの読み込み - Step 2/4 」 画面が表示されます。

8. ← 読み込む 読み込まない → を押して、ライブラリ内で読み込みたい フィールドのみを 「 読み込むフィールド 」 欄に表示させる

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

9. CSV ファイルの先頭行がフィールド名の場合は、 「 先頭行をフィールド名として無視する 」 にチェックをする

※ CSV ファイルの項目の並びにあわせてライブラリのフィールドの順番を変更することはできません。あらかじめ読み込み先のライブラリのフィールドの順番に合うよう、CSV ファイルを編集しておく必要があります

※ レコード番号の付与については 169 ページの「データの上書き および 追加について」169 ページの「レコード番号の自動採番のしくみ」 をご参照ください

10. 次へ >> を押す

「 CSV ファイルからの読み込み - Step 3/4 」 画面が表示されます。

必要に応じて現時点のライブラリを CSVファイルを保存 をクリックして CSV ファイルに書き出してください。

11. 内容を確認し、完了する を押す

「 CSV ファイルからの読み込み - Step 4/4 」 画面が表示されます。(CSV ファイルの読み込みが完了した旨が表示されます)

ONE POINT

▶ レコード情報の読み込みについて

読み込んだ情報は既存のデータに上書き あるいは 追加されます。

- **レコード情報のうち、「 更新者 」「 登録日時 」「 更新日時 」 の情報は修正できません。そのため、CSV ファイルを読み込んでも読み飛ばされます。**
- **「 更新者 」 は、CSV ファイルを読み込んだユーザーに設定されます。ログイン前ユーザによって CSV ファイルが読み込まれた場合は、空欄になります。**
- **「 登録者 」 に指定したフィールドに デヂエ でユーザー登録されていない名前があっても、読み込みは可能です。**
- **「 レコード登録者に許可するアクセス権 」 を利用している場合、レコード登録者が デヂエ で登録されたユーザー名と完全一致した場合にのみ、権限が有効となります。CSV ファイルから「 登録者 」 を読み込む場合は、ご注意ください。**

例) ユーザー登録 : 山田 太郎 (半角スペース)

CSV 読み込み:山田　太郎 (全角スペース) ← この場合は権限は無効です。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

▸ データの上書き および 追加について

読み込んだ情報は既存のデータに上書き あるいは 追加されます。

上書きされる場合

・読み込むフィールドにレコード番号を指定した場合に、読み込む CSV ファイルのレコード番号が既存のデータと重複している

追加される場合

・読み込むフィールドにレコード番号を指定した場合に、読み込む CSV ファイルのレコード番号が既存のデータと異なる

・読み込むフィールドにレコード番号を指定せず、読み込む CSV ファイルにレコード番号がない

▸ レコード番号の自動採番のしくみ

レコード番号が設定されていないレコードには以下の要領でレコード番号が自動採番されます。

- CSV ファイルではより上にあるデータから順に採番されます。
- 読み込み先のライブラリに既存のレコードデータが存在する場合は、その中で最大のレコード番号値に 1 を足した数から順に自動採番されます。（ レコード番号を読み込んだ場合でも、レコード番号が設定されていないレコードについてはレコード番号が採番され、追加されます。 ）
- はじめのレコード一覧画面では採番されたレコード番号の降順に表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ XML ファイルの書き出し

ライブラリに登録したデータを XML ファイル形式で書き出します。

ライブラリを XML 形式で書き出す方法は、ライブラリ一覧画面、あるいは検索結果の画面で、以下のいずれかを実行します。

- ツールメニューの [XML 書き出し] をクリックし、表示された結果をファイルに保存する
- ツールメニューの [XML 書き出し] を右クリックし、リンク先をファイルに保存する

⇒ 「 db （ ライブラリ ID ） .xml 」 ファイルが、指定した場所に格納されます。

上記操作の前に検索／絞り込みを実行すると、抽出結果のみを出力することができます。

XML 書き出し機能にアクセス権 がない、あるいは カスタマイズのメニューの設定 で表示するよう設定されていない場合は、表示されません。

XML ファイルの詳細については 171 ページの「XML ファイルの詳細」をご覧ください。

〈！〉XML ファイルには DTD ファイルの格納先 URL が記録されています。そのため、XML ファイルを書き出した後にサーバー移行等で参照先が変更されると、タグを正しく解釈することができなくなります。ご注意ください。

DTD ファイルは ホームディレクトリ¥cbdb 以下に格納されます。

XML ファイルに記録される DTD ファイルの URL は以下です。

http://(サーバーの IP アドレスまたはサーバー名)/cbdb/dezie40-20031014.dtd

ONE POINT	**▶ DTD とは？** Document Type Definition ： 書き出された XML ファイルのタグを解釈するためのファイルのこと。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ XML ファイルの詳細

ライブラリの情報、フィールドのタイプ、フィールド値を書き出すことができます。

eXtensible Markup Language（アスキーデジタル用語辞典より）

HTML のようなシンプルなフォーマットで文書構造を記述でき、独自にタグを定義できることが特徴のマークアップ言語。1998 年に W3C（World Wide Web Consortium：WWW で使われる技術を標準化する団体）により標準化勧告され、現在はインターネットのさまざまな分野での応用が進められている。

独自にタグを定義できるという特徴は、単なる文書を「データ」として処理することを可能にするものである。言いかえれば、XML で記述した文書は、たとえば「<価格>」というように人間が理解しやすい構造で内容を記述できるうえに、「スキーマ」を使うことで<価格>タグに書かれた「数字」を、あるアプリケーションの「価格を表わす数値データ」として利用することができる。スキーマとは XML 文書内のデータを定義する情報のことで、XML Schema などが有名。

XML の普及がもっとも見込まれているのは、企業間（B to B）の電子商取引においてである。これまで企業は、オンライン（主に専用線）で物品の調達や流通を行なえる仕組みを作ってきたが、電子的な取引情報の交換（EDI：Electronic Data Interchange）には専用のシステムが必要である。この EDI システムを XML で構築すれば、インターネットを利用し、Web ブラウザベースで電子商取引を行なうことが可能になる。これは、システムの大幅なコスト削減につながるだけでなく、共通のフォーマットを利用することで取引に参加できる企業を拡大することができる。なお、XML による企業間 EDI を実現するには共通のスキーマを用いる必要があるが、XSLT（eXtensible Stylesheet Language Transformations）というコンバータを使って変換する仕組みも用意されている。

現在は、IBM やオラクル、マイクロソフトといった多くのソフトウェアベンダーが自社製品を XML に対応させているだけでなく、インフォテリアの製品群のように XML 関連のツールも充実してきた。特にマイクロソフトは.NET 戦略の中心に XML を据え、XML をベースにして同社の各種機能を統合しようとしている。その中核になる製品は「BizTalk Server 2000」で、企業内や企業間のデータ通信を行なう XML のフレームワークと、開発環境を提供する予定だ。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

書き出し機能と書き出される内容について

- メニューにあるリンクをクリックすることで、XML 形式のファイルが書き出されます。
- 実行したライブラリのレコード、フィールドについて、アクセス権 / 絞り込みで閲覧できないデータ以外は、すべて書き出します。
- 書き出す順番は、レコード番号順です。
- フィールドの書き出し順番は、フィールド設定での順番です（フィールド一覧で上からの順で書き出します。

書き出しの項目	内容
デヂエ	バージョン
ライブラリ	ライブラリ名 ライブラリ ID
フィールド	フィールド名 フィールド ID フィールドタイプ 【！】XML 書き出し時のレコード一覧ビューに関わらず、そのユーザーが閲覧できるフィールドすべての情報が書き出されます。
レコード	レコード ID 登録者 登録日時 更新者 更新日時 各レコードの値 フィールドタイプ フィールド ID 設定されている値 【！】フィールドタイプ：自動ルックアップの時の書き出し内容 参照しているライブラリ ID 参照しているレコード ID 参照している値(設定されている値) 【！】XML 書き出し時のレコード一覧ビューに関わらず、そのユーザーが閲覧できるフィールドすべての情報が書き出されます。
その他	xml のバージョン(1.0) 使用文字コード(シフト JIS) DTD ファイルの アクセス URL

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

書き出せなかった場合

レコード閲覧権がない状態で、XML 書き出し実行の URL に直接アクセスした場合は、レコードが参照できないエラーを XML の形式で書き出します。形式は以下となります。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
<!DOCTYPE dezie SYSTEM "(DTD ファイルの URL)">

<dezie version="4.0">
<error>13875</error>
</dezie>
```

書き出される書式について

・ 書き出される XML ファイルの大まかな書式は以下になります。

このファイルの説明が書いてあります。	
<dezie>	</dezie> まで、デヂエの情報が書いてあります。
<library>	</field-list> まで、このライブラリのフィールド情報が書いてあります。
<field-list>	</field> まで、フィールドの情報が書いてあります。
<field>	<field> ～ </field> は、閲覧アクセス権のあるフィールド数分繰り返します。
</field>	
</field-list>	
<record-list>	</record-list> まで、このライブラリのレコード情報が書いてあります。
<record>	</record> まで、レコードの情報が書いてあります。
<value>	</value> まで、レコードの情報が書いてあります。
</value>	<value>～</value> は、書き出されたレコードが持つフィールド数個分繰り返されます。
</record>	<record> ～ </record> は、XML 書き出し時に閲覧できるレコード数分繰り返します。
</record-list>	
</library>	
</dezie>	

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

このファイルの説明が書いてあります。

最初の 2 行で、このファイルの説明をしています。

1	<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
2	<!DOCTYPE dezie SYSTEM "(DTD ファイルの URL)">

1 行目は、 以下のことを示しています。

このファイルが XML であること

XML のバージョン 1.0 であること

使用している文字コードが シフト JIS であること

2 行目は、以下のこと示しています。

このファイルがデヂエというシステムのドキュメントであること

文書定義ファイルの場所は、(DTD ファイルの URL) であること

例) http://bozuman/cbdb/dezie-yyyymmdd.dtd

<dezie>	</dezie> まで、デヂエの情報が書いてあります。
</dezie>	

デヂエの情報を <dezie> タグを使って表現します。

```
<dezie version="(バージョン番号)">

[ここに、ライブラリ、フィールド、レコードの情報が書き出されます]

</dezie>
```

書き出し対象となっているデヂエのバージョンが、(バージョン番号) であることを示します。バージョン番号はメジャーバージョンのみです((4.0(0.1) の場合は、"4.0" という表記になります。)。

<library>	</field-list> まで、このライブラリのフィールド情報が書いてあります。
<library>	</field-list> まで、このライブラリのフィールド情報が書いてあります。

ライブラリの情報を <library> タグを使って表現します。

```
<library id="(ライブラリの ID)" name="(ライブラリの名前)">

[ここに、フィールド、レコードの情報が書き出されます]

</library>
```

書き出し対象となっているライブラリの ID(did)が(ライブラリの ID)、名前が(ライブラリの名前)であることを示します。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

<field-list>	</field> まで、フィールドの情報が書いてあります。
</field-list>	

フィールドの情報を <field-list> タグ、<field> タグを使って表現します。

<field-list> タグで、フィールド一覧を表現します。

```
<field-list>

[ここに、各フィールドの情報が書き出されます]

</field-list>
```

<field>	<field> ～ </field> は、閲覧アクセス権のあるフィールド数分繰り返します。
</field>	

<field> タグで各フィールドの情報を表現します。

各フィールド情報の書式は、<field> で始めて </field> までとして、フィールド id / フィールドタイプ / フィールド名 が書き出されます。

```
<field id="(フィールドの ID)" type="(フィールドのタイプ)">(フィールドの名前)</field>
```

<field>～</field> は、書き出されたフィールド数個分繰り返されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

【！】フィールドタイプの表記について

以下のようになります。この表記は、レコード情報の表記でも使用します。

表記名	意味(フィールドのタイプ)
String	文字列(1 行)
Text	文字列(複数行)
URL	URL
Select	メニュー(文字列)
User	メニュー(ユーザー)
Radio	ラジオボタン
Boolean	チェックボックス
Number	数値
Calc	自動計算
Date	日付
Time	時刻
DateTime	日付時刻
TimeSpan	時間量
TimeCalc	時間計算
File	ファイル
Image	イメージ URL
Numbering	自動採番
Relation	自動ルックアップ

<record-list>	</record-list> まで、このライブラリのレコード情報が書いてあります。
</record-list>	

レコードの情報を <record-list> タグ、<record> タグ、<value> タグ 等を使って表現します。

<record-list> タグで、レコード一覧を表現します。

```
<record-list>

[ここに、各レコードの情報が書き出されます]

</record-list>
```


Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

<record>	</record> まで、レコードの情報が書いてあります。
</record>	<record> ～ </record> は、XML 書き出し時に閲覧できるレコード数分繰り返します。

<record> タグで各レコードの情報を表現します。

各レコード情報の書式は、<record> で始めて </record> までとします。

```
<record id="(レコード番号)">
  <create-time>(レコード登録日時)</create-time>
  <creator id="(レコード登録者のユーザーID)">(レコード登録者のユーザー名)</creator>
  <modify-time>(レコード更新日時)</modify-time>
  <modifier id="(レコード更新者のユーザーID)">(レコード更新者のユーザー名)</modifier>

    [ここに、書き出したレコードのフィールド数分レコード値の情報が書き出されます]

</record>
```

record>～</record> は、書き出されたレコード数個分繰り返されます。

レコード番号(rid) は、(レコード番号) であることを示します。

レコードの登録日時は、(レコード登録日時) であることを示します。(<create-time>タグ)

レコードの登録者の ユーザーID と ユーザー名は、(レコード登録者のユーザーID)、(レコード登録者のユーザー名) であることを示します。(<creator>タグ)

レコードの更新日時は、(レコード更新日時) であることを示します。(<modify-time>タグ)

レコードの更新者の ユーザーID と ユーザー名は、(レコード更新者のユーザーID)、(レコード更新者のユーザー名) であることを示します。(<modifier>タグ)

【！】 レコード登録者、レコード更新者の情報を持たないレコードの場合は、レコード登録者(<creator>タグ)、レコード更新者情報(<modifier> タグ)は書き出されません。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

<value>	</value> まで、レコードの情報が書いてあります。
</value>	<value>～</value> は、書き出されたレコードが持つフィールド数個分繰り返されます。

<value> タグで各レコード値の情報を表現します。

各レコード値の情報の書式は、<value> で始めて </value> までとします。

基本の書式は以下となります。

```
<value type="(フィールドのタイプ)" id="(フィールドの ID)">(レコード値)</value>
```

<value>～</value> は、書き出されたレコードが持つフィールド数個分繰り返されます。

レコード値が設定されているフィールドのタイプと ID、設定されているレコードの値は、(フィールドのタイプ) と (フィールドの ID) 、(レコード値) であることを示します。

フィールドのタイプについては、<field>タグ と同じ表記になります。

【！】書き出されるレコードのフィールド数は、閲覧できるフィールド数(閲覧アクセス権のあるフィールド数)と同じです。
ただし、(レコード値) に値が入っていない、エラーになっているフィールドは、書き出されません (該当の<value>～</value>が書き出されません。)

- フィールドタイプ：URL の場合の書式

  レコード値が、URL になるため、<url>タグ でレコード値を表現します。

```
<value type="(フィールドのタイプ)" id="(フィールドの ID)"><url>(レコード値)</url></value>
```

  リンク名が設定されている場合は、<url>タグ に alias="(リンク名)" 表記を追加します。(リンク名) は、設定されているリンク名を示します。

```
<value type="(フィールドのタイプ)" id="(フィールドの ID)"><url alias="(リンク名)">(レコード値)</url></value>
```

- フィールドタイプ：イメージ URL の場合の書式

  レコード値が、URL になるため、<url>タグ でレコード値を表現します。

```
<value type="(フィールドのタイプ)" id="(フィールドの ID)"><url>(レコード値)</url></value>
```


Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

➢ フィールドタイプ：ファイル の場合の書式

レコード値となるファイルの情報について、<file> タグと そのファイルへアクセスできる URL を <url> タグを使って表現します。

```
<value type="File" id="(フィールドの ID)">
  <file mime="(ファイルの MIME タイプ)">(レコード値：ファイル名)<file>
  <url>(ファイルへのアクセス URL)</url>
</value>
```

フィールド ID は、(フィールドの ID) であることを示します。

設定してあるファイルの MIME タイプ は、(ファイルの MIME タイプ) であることを示します。

設定してあるファイルの名前 は、(レコード値：ファイル名) であることを示します。

設定してあるファイルへアクセスする URL は、(参照元のフィールドのタイプ) であることを示します(書き出されている URL にアクセスすると、ファイルがダウンロードされます。)。

フィールドタイプ：日付、時刻、日付時刻場合の書式

日付、時刻、日付時刻場合の場合は、<date><time><datetime>タグ を使ってレコード値を表現します。

(レコード値) の書式は、以下になります。

フィールドタイプ	レコード値の書式
日付	<date>[YYYY]-[MM]-[DD]</date>
時刻	<time>[HH]:[MN]:[SS]</time>
日付時刻	<datetime>[YYYY]-[MM]-[DD]T[HH]:[MN]:[SS]</datetime>

(YYYY) ：年を４桁の数値(西暦)で表示します。

(MM) ：月を２桁の数値で表示します。

(DD) ：日を２桁の数値で表示します。

(HH) ：時を２桁の数値で表示します。

(MN) ：分を２桁の数値で表示します。

(SS) ：秒を２桁の数値で表示します。

秒はフィールドの設定に関わらず、必ず書き出します。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

➢ フィールドタイプ：時間量の場合の書式

時間量の場合は、<timespan>タグ を使ってレコード値を表現します。また、単位によって書き出される書式が変わります。

書式は以下になります。

時間量を示すタグ<timespan> ～ </timespan>の間に値を表記します。

値の先頭には、時間の期間を示す「P」を表記します。

日→時間→分→秒 の順で左から表記します。

日、時間、分、秒の単位を示す語を「D」「H」「M」「S」とします。

「日」と「時間、分、秒」の間には、区切り「T」を表記します。

時間量の単位と表記例

時間量の単位	（レコード値）の内容
日時間分秒	<timespan>P(日に設定した値)DT(時間に設定した値)H(分に設定した値)M(秒に設定した値)S</timespan>
日時間分	<timespan>P(日に設定した値)DT(時間に設定した値)H(分に設定した値)M</timespan>
日時間	<timespan>P(日に設定した値)DT(時間に設定した値)H</timespan>
日	<timespan>P(日に設定した値)D</timespan>
時間分秒	<timespan>PT(時間に設定した値)H(分に設定した値)M(秒に設定した値)S</timespan>
時間分	<timespan>PT(時間に設定した値)H(分に設定した値)M</timespan>
時間	<timespan>PT(時間に設定した値)H</timespan>
分秒	<timespan>PT(分に設定した値)M(秒に設定した値)S</timespan>
分	<timespan>PT(分に設定した値)M</timespan>
秒	<timespan>PT(秒に設定した値)S</timespan>

➢ フィールドタイプ：時間計算の場合の書式

時間計算の場合は、<date><time><datetime>タグ を使ってレコード値を表現します。計算結果により書式が変わります。時間量の場合は、単位は「日時間分秒」になります。

計算結果	（レコード値）の内容
日付	<date>[YYYY]-[MM]-[DD]</date>
時刻	<time>[HH]:[MN]:[SS]</time>
日付時刻	<datetime>[YYYY]-[MM]-[DD]T[HH]:[MN]:[SS]</datetime>
時間量	<timespan>P(計算結果：日)DT(計算結果：時間)H(計算結果：分)M(計算結果：秒)S</timespan>

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

➢ フィールドタイプ：自動ルックアップの場合の書式

参照元(自動ルックアップで参照しているレコード)の情報を表示します。参照元のレコード値情報は、<reference>タグ を使って表現します。参照元の値が設定されていない、アクセス権によって参照できない場合は、<value>タグ から書き出されません(すべての情報が書き出されません。

```
<value type="Relation" id="(フィールドの ID)">
  <reference library-id="(参照元のライブラリ ID)" record-id="(参照元のレコード番号)">
    <value type="(参照元のフィールドのタイプ)" id="(参照元のフィールドの ID)">(参照元のレコード値)</value>
  </reference>
</value>
```

【！】参照元のレコード値情報の書式は、通常の<value>～<value>の書式と同じです(この例では基本的な書式としています。)。

- このライブラリのフィールド ID は、(フィールドの ID) であることを示します。
- リレーション設定で関連づけした先のライブラリの ID は、(参照元のライブラリ ID) であることを示します。
- 自動ルックアップで参照しているレコードの ID は、(参照元のレコード番号) であることを示します。
- 自動ルックアップで参照しているレコードのフィールドタイプ は、(参照元のフィールドのタイプ) であることを示します。
- 自動ルックアップで参照しているレコードのフィールド ID は、(参照元のフィールドの ID) であることを示します。
- 自動ルックアップで参照している値は、(参照元のレコード値) であることを示します。

➢ DTD ファイルについて

Document Type Definition（アスキーデジタル用語辞典より）

SGML で使われる、文書型定義。SGML は汎用マークアップ言語であり、どのような要素をどのようなタグを用いてマークアップするかは用途に応じて任意に決められる。そして、それを決めるのが DTD の役目でもある。データベースの“スキーマ”に相当するものと考えてもよいだろう。HTML は SGML に基づいて DTD を定義して作成したものだし、同様に XML に基づいて Web 開発言語として同じく DTD で定義されているのが XHTML ということになる。

デヂエに当てはめると、「XML 書き出し」機能によって書き出される XML ファイルの書式式を決めているファイルということになります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

メール通知の設定がしたい

レコードの登録・編集・削除などが行われた場合に、関係するユーザーにメールで通知することができます。設定は、ライブラリごとに行います。

メール通知を有効にする／無効にする の切替えも行えます。また、メール通知の設定内容を CSV ファイルに書き出すことも可能です。

設定できる通知条件の種類は以下のとおりです。

- **レコード追加**
  ライブラリにレコード追加、CSV ファイルからレコードが読み込まれたタイミング。メール読み込み、 レコードコピー実行時に 1 件以上レコード登録があった場合にメールを通知します。
- **レコード編集**
  ライブラリに登録されているレコード編集、文字列置換、再ルックアップされたタイミングで、メールを通知します
  〈！〉文字列置換実行によるデータ変更が 0 件だった場合には通知しません。
- **レコード削除**
  ライブラリからレコード削除、レコード一括削除されたタイミングで、メールを通知します。
  〈！〉１件も削除されなくても、レコード一括削除が実行されれば、通知します。
- **指定レコード値**
  フィールドが、指定した任意の値で追加、編集されたタイミングで、メールを通知します。
  〈！〉「 編集 」 は、ある値から指定した値に 変更されたタイミングで通知されます。同様の値の場合は通知されませんのでご注意ください。
  〈！〉「 CSV 読み込み 」「 メール読み込み 」「 レコードコピー 」「 再ルックアップ実行 」「 文字列の一括置換 」の結果、この条件を 満たしても通知しません。
- **指定フィールド更新**
  指定したフィールドの値が更新されたタイミングで、メールを通知します。
  〈！〉「 CSV 読み込み 」「 メール読み込み 」「 レコードコピー 」「 再ルックアップ実行 」「 文字列の一括置換 」の結果、この条件を満たしても通知しません。

〈！〉あらかじめ、システム管理者によってメールサーバーの設定が行われている必要があります。

※ 一度に通知の指定ができる宛先は、100 件までです。

※ 同じメール通知条件は複数登録できません。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

※ メール通知の宛先は Bcc で送信することが出来ません。
メールを受信した人には、宛先に設定され他すべてのメールアドレスが表示されます。
セキュリティー等の問題がある場合は、メーリングリストなどの利用をお勧めします。

※ DBM ファイルに書き出すと、以下の設定はクリアされます。ご注意ください。
- メール通知先の設定
- レコード登録者へ通知する設定 （ チェックが無効になります ）

※ 1 つの作業で 「 指定レコード値 」 「 指定フィールド更新 」 の通知条件が重なった時も、両条件とも通知は実行されます。ただし、双方の通知条件に同じ通知先が含まれていた場合は、「 メール通知条件の設定 」 画面で上位にある通知条件のみ送信されます。

※ 「 CSV ファイルからの読み込み 」、「 文字列置換 」、「 再ルックアップ 」、「 レコード一括削除 」 の実行により、メール通知が行われるとき、通知メールの内容は、設定した内容ではなく、実行動作、実行されたレコード件数が表示されます。また、通知されるメールは機能実行につき １通です。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ メール通知条件の追加

メール通知条件を追加します。

1. ホーム画面 に、メール通知条件を追加したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [メール通知] をクリックする
   「 メール通知条件の設定 」 画面が表示されます。

6. 追加する を押す
   「 メール通知条件の設定 - Step 1/2 」画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

7. 必要事項を設定する

- **条件名**

  メールを通知する条件に名前を付けます。

  ※ 同じ条件名を指定することはできません。

  ※ 条件名の上限は全角 100 文字までです。

- **条件種類**

  メールを通知する条件の種類を選択します。

  ・ レコード追加
  ・ レコード編集
  ・ レコード削除
  ・ 指定レコード値　　：フィールド、レコード値の条件を指定します。
  ・ 指定フィールド更新：フィールドの条件を指定します。

  ※ 通知条件に 「 指定レコード値 」 を選択した場合は、通知条件対象に指定したフィールドタイプにより有効な条件演算子が異なります。詳しくは、194 ページをご覧ください。

  〈！〉「 指定レコード値 」 「 指定フィールド更新 」 の条件では「 自動ルックアップフィールド 」を選択することはできません。

- **通知先リスト**

  合計で 100 アドレスまで指定することができます。

  ✉ メールアドレス

  通知したい人のメールアドレスを入力します。入力後、横にある ←追加 を押します。

  ユーザー選択

  デヂエ のユーザー登録で、メールアドレスが登録されているユーザーを指定できます。

  1. グループのプルダウンメニューから、ユーザーが所属しているグループを選択してユーザーを一覧に表示させる。（ メールアドレスが登録されているユーザーのみ表示されます ）
  2. ユーザーをクリックして反転表示させ、←追加 を押す。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

- **レコード登録者にも通知する**

  レコード登録者にメール通知したい時にチェックします。

  ※ ユーザー登録でレコード登録者にメールアドレスが登録されていない場合は通知されません。

  ※ 既に 「 通知先リスト 」 に 100 アドレス登録済の場合は、設定することができません。

  ※ 通知先リストにレコード登録者のメールアドレスが登録されている場合は、チェックを外してもメールは通知されます。通知したくない場合は、通知先リストから削除してください。

  ※ 以下の処理が行われた場合は、ライブラリに対する変更と見なしてメール通知処理を行いません。

  CSV 読み込み / 再ルックアップ実行 / 文字列の一括置換 / メールからの読み込み / レコードコピー

8. 次へ >> を押す

「 メール通知条件の設定 - Step 2/2 」 画面が表示されます。

9. 必要事項を設定する

- メールの見出し

  メール通知時の見出し （ 件名 ） を指定します。 変数を使用すると、以下の値をメールの見出しに使用することができます。

  %L ： ライブラリ名

  %E ： イベント名 （ 実行されたコマンドが表示されます ）

  %R ： レコード番号

- 通知内容

  イベント内容、レコードの URL 、レコードの内容を通知するメールの内容に含めるかをチェックします。

  ※ 条件種類が 「 レコード削除 」 の場合は、レコードが削除されているため、レコード内容は通知されません。また、「 CSV ファイルからの読み込み 」、「 文字列置換 」、「 再ルックアップ 」、「 レコード一括削除 」 の処理を実行することによりメール通知が行われる場合、通知メールの内容は実行処理と、実行されたレコードの件数が表示さえます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

- 通知フィールド
  「 通知内容 」 で 「 レコード内容 」 にチェックした場合は、通知したいフィールドをリストから選択し、 ←追加 を押してください。
  ※ 条件種類が「 レコード削除 」の場合は、レコードが削除されているため、通知フィールド欄は表示されません。
- 署名
  メールの末尾に表示する署名を登録してください。

※ プレビューの 更新する を押すと、通知メールの内容のイメージを参照できます。

10. 設定する
「 メール通知条件の設定 」 画面に戻ります。

11. メール通知を利用する場合は、 有効にする を押す
※ 初期値は 「 無効 」 になっています。

ONE POINT	▶ サイボウズ Office 6 への通知 サイボウズ Office 6 を利用中の場合、サイボウズ Office 6 で 「 連携システムからの通知機能 」 を使用すると、デヂエ からのメール通知を 「 連携システムからの通知 」 として個別に扱うことができます。 詳細については 「ホームページ ＞ サイボウズ Office6 ＞ マニュアル ＞ システム管理マニュアル ＞ 運用設定 ＞ 連携システムからの通知」をご覧ください。 ※本機能は、デヂエ バージョン 4.0 (0.5)、サイボウズ Office 6 バージョン 6.1(0.8) より対応しています。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ メール通知条件の編集

登録されているメール通知条件を編集します。

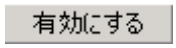
1. ホーム画面 に、メール通知条件を編集したいライブラリ（ [ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

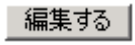
2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [メール通知] をクリックする
   「 メール通知条件の設定 」 画面が表示されます。

6. メール通知を利用する場合は、  を押す

7.  を押す
   「 メール通知条件の設定 - Step 1/2 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

8. 編集が必要な項目を変更する

- **条件名**

  メールを通知する条件に名前を付けます。

  ※ 同じ条件名を指定することはできません。

  ※ 条件名の上限は全角 100 文字までです。

- **条件種類**

  メールを通知する条件の種類を選択します。

  ・ レコード追加
  ・ レコード編集
  ・ レコード削除
  ・ 指定レコード値　　：フィールド、レコード値の条件を指定します。
  ・ 指定フィールド更新：フィールドの条件を指定します。

  ※ 通知条件に 「 指定レコード値 」 を選択した場合は、通知条件対象に指定したフィールドタイプにより有効な条件演算子が異なります。詳しくは、194 ページをご覧ください。

  〈！〉「 指定レコード値 」 「 指定フィールド更新 」 の条件では「 自動ルックアップフィールド 」を選択することはできません。

- **通知先リスト**

  合計で 100 アドレスまで指定することができます。

  ✉ メールアドレス

  通知したい人のメールアドレスを入力します。入力後、横にある ←追加 を押します。

  ユーザー選択

  デヂエ のユーザー登録で、メールアドレスが登録されているユーザーを指定できます。

  1. グループのプルダウンメニューから、ユーザーが所属しているグループを選択してユーザーを一覧に表示させる。（ メールアドレスが登録されているユーザーのみ表示されます ）
  2. ユーザーをクリックして反転表示させ、←追加 を押す。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

- **レコード登録者にも通知する**

  レコード登録者にメール通知したい時にチェックします。

  ※ ユーザー登録でレコード登録者にメールアドレスが登録されていない場合は通知されません。

  ※ 既に 「 通知先リスト 」 に 100 アドレス登録済の場合は、設定することができません。

  ※ 通知先リストにレコード登録者のメールアドレスが登録されている場合は、チェックを外してもメールは通知されます。通知したくない場合は、通知先リストから削除してください。

  ※ 以下の処理が行われた場合は、ライブラリに対する変更と見なしてメール通知処理を行いません。

  CSV 読み込み / 再ルックアップ実行 / 文字列の一括置換 / メールからの読み込み / レコードコピー

9. 次へ >> を押す

「 メール通知条件の設定 - Step 2/2 」 画面が表示されます。

10. 必要事項を設定する

- **メールの見出し**

  メール通知時の見出し （ 件名 ） を指定します。 変数を使用すると、以下の値をメールの見出しに使用することができます。

  %L : ライブラリ名

  %E : イベント名 （ 実行されたコマンドが表示されます ）

  %R : レコード番号

- **通知内容**

  イベント内容、レコードの URL 、レコードの内容を通知するメールの内容に含めるかをチェックします。

  ※ 条件種類が 「 レコード削除 」 の場合は、レコードが削除されているため、レコード内容は通知されません。また、「 CSV ファイルからの読み込み 」、「 文字列置換 」、「 再ルックアップ 」、「 レコード一括削除 」 の処理を実行することによりメール通知が行われる場合、通知メールの内容は実行処理と、実行されたレコードの件数が表示さえます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

- **通知フィールド**
  「 通知内容 」 で 「 レコード内容 」 にチェックした場合は、通知したいフィールドをリストから選択し、 ←追加 を押してください。
  ※ 条件種類が「 レコード削除 」の場合は、レコードが削除されているため、通知フィールド欄は表示されません。
- **署名**
  メールの末尾に表示する署名を登録してください。

※ プレビューの 更新する を押すと、通知メールの内容のイメージを参照できます。

11. 設定する
「 メール通知条件の設定 」 画面に戻ります。

■ メール通知条件の順番変更

登録されているメール通知条件の順番を変更します。

1. ホーム画面 に、メール通知条件の順番を変更したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [メール通知] をクリックする
   「 メール通知条件の設定 」 画面が表示されます。
6. 順番を変更したい通知条件を選択して反転表示させ、 を押し、選択した通知条件名の表示を上下に移動させ、順番を変更します。
   ※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ メール通知条件の削除

登録されているメール通知条件を削除します。

1. ホーム画面 に、メール通知条件を削除したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [メール通知] をクリックする
   「 メール通知条件の設定 」 画面が表示されます。

6. 削除する を押す

7. 確認画面で はい を押す
   メール通知条件は削除され、「 メール通知条件の設定 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ メール通知条件の CSV ファイルへの書き出し

登録されているメール通知条件を CSV ファイル形式で書き出します。

1. ホーム画面 に、メール通知条件を CSV ファイル書き出ししたいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [メール通知] をクリックする
   「 メール通知条件の設定 」 画面が表示されます。

6. [全てのメール通知条件を CSV ファイルに書き出す] をクリックし、ファイルをディスクに保存する

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

メール通知条件　　有効な条件演算子

フィールドタイプ ＼ 有効な条件演算子	と同じ	と異なる	を含む	を含まない	以降	以前	より大きい	以上	より小さい	以下	チェック済み	未チェック
文字列(一行)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
文字列(複数行)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
数値	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
URL	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
チェックボックス(※1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
ラジオボタン(※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
メニュー(文字列) (※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
メニュー(ユーザー)(※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
日付	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
時刻	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
日付時刻	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
ファイル	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
イメージ	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
自動計算	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
自動採番	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
時間量	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
自動計算(※2)	○	○	×	×	△	△	△	△	△	△	×	×
自動ルックアップ(※3)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

メールからレコード登録したい

ライブラリ毎に指定したメールアドレス宛のメールを受信してライブラリに読み込むことで、メールをレコードとして登録できます。

メール読み込みを利用するためには、メール読み込みの設定をする必要があります。メール読み込みの設定では、受信するメールサーバーの設定だけでなく、受信許可の設定もできるので、セキュリティーも安心です。

※　メールをライブラリに読み込む作業は、ライブラリ管理権限のあるユーザーのみが行えます。

〈！〉本文が text 形式のメールのみ表示することが可能となっております。
その他の制限事項は 214 ページ をご覧下さい。

■ メール読み込みの設定

メール読み込みの設定を初めて行う際は、設定ウィザードにそって以下の設定を行っていきます。

- **受信メールサーバーの設定、受信するメールのサイズ制限の設定**
  ※メール受信は POP3 サーバーからのみ行えます。（APOP 認証には対応しています。）
- **メールアドレスおよびドメイン指定受信の設定、受信許可リストの設定、スパムメールの設定**
- **メールヘッダ読み込み書式の設定**
- **メール内容読み込み書式の設定**

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

1. ホーム画面 に、メール読み込みの設定をしたいライブラリ（ ［ ライブラリ名 ］）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（ ［ ライブラリ名 ］）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. ［ ライブラリ管理 ］を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. ［ メール読み込み ］をクリックする
   「 メール読み込みの設定 （ 受信メールサーバーの設定 ） - step 1/4 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

6. 各項目を設定する

受信メールサーバーの設定

- **受信メールサーバー名 （ POP3 ）**

  受信メールサーバー （ POP3 ） の IP アドレス、またはホスト名を入力してください。

  ※入力必須項目です。

- **APOP 認証を行う**

  POP3 サーバーが APOP 認証に対応している場合はチェックしてください。

- **POP3 アカウント名**

  受信メールサーバー （ POP3 ） へのアカウント名を入力します。

  ※入力必須項目です。

- **POP3 パスワード**

  受信メールサーバー （ POP3 ） へのパスワードを入力します。

  ※入力必須項目です。

- **受信メールサーバー（ POP3 ）にメールを残す**

  POP3 サーバーにメールを残すかどうか設定出来ます。

  メールを残す設定にする際は ☑ を入れてください。

〈!〉 POP3 サーバーにメールを残す設定にすると、POP3 サーバーを圧迫する可能性があります。 できるだけ POP3 サーバーにはメールを残さない設定にすることをお勧めします。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

受信するメールのサイズ制限の設定

一度のセッションで受信する、1 通あたりのメールのサイズの上限が設定ができます。こちらで指定したサイズ以上のメールを受信しないようになります。

・プルダウンメニューにて指定サイズを選択してください。

※ 選択できるメールサイズは以下の通りです。

512KB / 1MB / 3MB / 5MB / 10MB / 無制限

※ メールのサイズの制限を外すと、メールの送受信時にサーバーに負荷がかかる場合があります。

※ ライブラリに送信されたメールが、サイズ制限を超えた場合はメールを受信しません。
メール読み込み実行時に、メールサーバーから削除するか、他のメーラーから読み込むかを選択します。
メール読み込み実行時に、メールサーバーから削除する方法は 213 ページをご覧ください。

7. 次へ >> を押す

「 メール読み込みの設定 （ 受信許可リストの設定 ） - Step 2/4 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

8. 各項目を設定する

メールアドレスおよびドメイン指定受信の設定

メールアドレスおよびドメイン指定受信の有効/無効を設定します。

設定を有効にする場合、チェックボックスに ☑ をします。

※ 有効にしない場合、受信許可リストに関係なく全てのメールを受信し読み込みます。

受信許可リストの設定

受信を許可するメールアドレスおよびドメインの指定を行います。
メールアドレスおよびドメイン指定受信の設定が有効な場合のみここで指定されたリストが有効になります。

受信許可リスト

受信を許可するアドレスおよびドメインを指定することができます。
※ こちらで指定した文字列を含むメールを読み込むようになります。

○ メールアドレスおよびドメイン

受信を許可したいメールアドレスおよびドメインを入力します。
入力後、横にある [←追加] を押します。

○ ユーザー選択

デヂエ のユーザー登録で、メールアドレスが登録されているユーザーを指定できます。

1. グループのプルダウンメニューから、ユーザーが所属しているグループを選択してユーザーを一覧に表示させる。(メールアドレスが登録されているユーザーのみ表示されます)
2. ユーザーをクリックして反転表示させ、[←追加] を押す。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

スパムメールの設定

受信許可していないメールアドレスからのメールの処理を指定します。
受信許可リスト以外から送信されたメールをサーバーから削除する場合は、チェックボックスに ☑ をします。

※ サーバーからメールを削除するにチェックをしない場合は、手動でメールを削除します。削除方法は 213 ページをご覧ください。

※ メールアドレスおよびドメイン指定受信の設定が有効な場合のみここでの設定が有効になります。

9. 次へ >> を押す

「 メール読み込みの設定 （ メール読み込み書式の設定 ） - Step 3/4 」 画面が表示されます。

10. メールヘッダ読み込み書式の設定をする

メールヘッダ読み込み書式の設定

受信したメールのメールヘッダ部の中なら、差出人 （ From ） 、件名 （ Subject ） 、送信日時 （ Date ） を指定したフィールドに取り込むことができます。
また、その他任意のヘッダ値を指定し、フィールドに読み込む設定をすることもできます。

- 読み込みフィールドを、プルダウンメニューから選択する。

  [新規にフィールドを作成する] を選択すると、メールヘッダ項目を読み込むフィールドを追加できます。

  ※ 任意のメールヘッダをフィールドに読み込む設定を行うときは、
  ［項目を追加する］を押し項目を増やします。
  そして、新たな項目にメールヘッダ値を直接書き込みます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

※ From ヘッダ、Subject ヘッダは 「 文字列 （ 1 行 ） フィールド 」 のみ設定できます。
Date ヘッダは 「 文字列 （ 1 行 ） フィールド 」 「 日付時刻フィールド 」 のいずれかが設定できます。それ以外の任意のメールヘッダは 「 文字列 （ 1 行 ） フィールド 」「 文字列 （ 複数行 ） フィールド 」 のいずれかのフィールドタイプを選択できます。

11. 次へ >> を押す

「 メール読み込みの設定 （ メール読み込み書式の設定 ） - Step 4/4 」 画面が表示されます

12. メール内容読み込み書式の設定をする
受信したメールの本文、添付ファイル、メールソースを読み込むフィールドを指定します。
※読み込むフィールドを指定しないと、読み込む処理を行いません。

メール本文読み込み書式の設定

受信したメールの本文を読み込むフィールドを指定します。

- 読み込みフィールドを、プルダウンメニューから選択する。

  [新規にフィールドを作成する] を選択すると、メールヘッダ項目を読み込むフィールドを追加できます。

  ※ 文字列 （ 複数行 ） フィールドのみ設定できます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

添付ファイル読み込み書式の設定

受信したメールの添付ファイルを読み込む許可設定および読み込みフィールドを指定します。

・ 読み込みフィールドを、プルダウンメニューから選択する。

［ 新規にフィールドを作成する ］を選択すると、メールヘッダ項目を読み込むフィールドを追加できます。

※ ファイルフィールドのみ設定できます。

〈！〉 読み込める添付ファイルは、1 ファイルのみなとなります。
もしメールに複数のファイルが添付されていても、登録されるのは 1 つだけです。その際、選択されるファイルは、そのフィールドの拡張子条件にマッチする一番最初に見つかったファイルとなります。

メールソース読み込み書式の設定

受信したメールのメールソース読み込み許可設定およびメールソースの読み込むフィールドを指定します。

・ 読み込みフィールドを、プルダウンメニューから選択する。

［ 新規にフィールドを作成する ］を選択すると、メールヘッダ項目を読み込むフィールドを追加できます。

※ ファイルフィールドのみ設定できます。

13. ［ 設定する ］ を押す
「 メール読み込みの設定 」 画面に戻ります。
〈！〉メール読み込みの設定後、初期状態では、メール受信からレコード登録の設定は 無効 となっています。
メール読み込みの設定を有効にする場合は、画面右上部の ［ 有効にする ］ を押してください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ メール読み込みの編集

1. ホーム画面 に、メール読み込みの設定をしたいライブラリ（ ［ ライブラリ名 ］）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（ ［ ライブラリ名 ］）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. ［ ライブラリ管理 ］を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. **左のメニューから「 ライブラリの基本設定 」をクリックする**
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. **［ メール読み込み ］をクリックする**
   「 メール読み込みの設定 」 画面が表示されます。

6. ここでは、受信メールサーバーの設定、メール受信許可、フィールド割り当ての設定を編集することができます

   編集したい項目の ［ 設定する ］ をクリックする。

   - **メール受信からレコード登録の設定を切り替える**（204 ページ）
   - **受信メールサーバーの設定** （204 ページ）
   - **メール受信許可** （206 ページ）
   - **フィールド割り当て** （208 ページ）

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ メール受信からレコード登録の設定を切り替える

メール読み込みの設定を切り替えるには、画面右上部の ［ 有効にする ］ ［ 無効にする ］ を押してください。

〈！〉 メール読み込みの設定後、初期状態では、メール受信からレコード登録の設定は 無効 となっています。メール読み込みの設定を有効にする場合は、画面右上部の ［ 有効にする ］ を押してください。

◆ 受信メールサーバの設定を編集する

1. 受信メールサーバー （ POP3 ） の右横の ［ 設定する ］ をクリックする

   「 メール読み込みの設定（ 受信メールサーバーの設定 ）」 画面が表示されます。

2. 必要事項を編集する

▶ 受信メールサーバーの設定

- **受信メールサーバー名 （ POP3 ）**

  受信メールサーバー （ POP3 ） の IP アドレス、またはホスト名を入力してください。
  ※入力必須項目です。

- **APOP 認証を行う**

  POP3 サーバーが APOP 認証に対応している場合はチェックしてください。

- **POP3 アカウント名**

  受信メールサーバー （ POP3 ） へのアカウント名を入力します。
  ※入力必須項目です。

- **POP3 パスワード**

  受信メールサーバー （ POP3 ） へのパスワードを入力します。
  ※入力必須項目です。

- **受信メールサーバー（POP3）にメールを残す**

  POP3 サーバーにメールを残すかどうか設定出来ます。
  メールを残す設定にする際は ☑ を入れてください。

〈！〉 POP3 サーバーにメールを残す設定にすると、POP3 サーバーを圧迫する可能性があります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

できるだけ POP3 サーバーにはメールを残さない設定にすることをお勧めします。

受信するメールのサイズ制限の設定

一度のセッションで受信する、1 通あたりのメールのサイズの上限が設定ができます。指定したサイズ以上のメールを受信しません。

・プルダウンメニューにて指定サイズを選択してください。

選択できるメールサイズは以下の通りです。

512KB / 1MB / 3MB / 5MB / 10MB / 無制限

※ メールのサイズの制限を外すと、メールの送受信時にサーバーに負荷がかかる場合があります。

※ ライブラリに送信されたメールが、サイズ制限を超えた場合はメールを受信しません。
メール読み込み実行時に、メールサーバーから削除するか、他のメーラーから読み込むかを選択します。
メール読み込み実行時に、メールサーバーから削除する方法は 213 ページ をご覧ください。

3. ［ 設定する ］ を押す

「 メール読み込みの設定 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ メール受信許可の設定を編集する

1. **メール受信許可 の右横の ［ 設定する ］ をクリックする**

「 メール読み込みの設定（ 受信許可リストの設定 ）」 画面が表示されます。

2. 必要事項を編集する

▶ メールアドレスおよびドメイン指定受信の設定

メールアドレスおよびドメイン指定受信の有効/無効を設定します。

設定を有効にする場合、チェックボックスに ☑ をします。

※　有効にしない場合、受信許可リストに関係なく全てのメールを受信し読み込みます。

▶ 受信許可リストの設定

受信を許可するメールアドレスおよびドメインの指定を行います。
メールアドレスおよびドメイン指定受信の設定が有効な場合のみここで指定されたリストが有効になります。

受信許可リスト

受信を許可するアドレスおよびドメインを指定することができます。

※ こちらで指定した文字列を含むメールを読み込むようになります。

- メールアドレスおよびドメイン

  受信を許可したいメールアドレスおよびドメインを入力します。
  入力後、横にある ←追加 を押します。

- ユーザー選択

  デヂエ のユーザー登録で、メールアドレスが登録されているユーザーを指定できます。

  1. グループのプルダウンメニューから、ユーザーが所属しているグループを選択してユーザーを一覧に表示させる。（ メールアドレスが登録されているユーザーのみ表示されます ）
  2. ユーザーをクリックして反転表示させ、←追加 を押す。

▶ スパムメールの設定

受信したメールが受信許可リストに登録されていない場合の処理を指定します。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

受信許可リスト以外から送信されたメールをサーバーから削除する 場合は、チェックボックスに☑をします。

※ サーバーからメールを削除するにチェックをしない場合は、手動でメールを削除します。削除方法は 213 ページをご覧ください。

※ メールアドレスおよびドメイン指定受信の設定が有効な場合のみここでの設定が有効になります。

3. ［ 設定する ］ を押す

「 メール読み込みの設定 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

◆ フィールド割り当ての編集をする

1. フィールドの割り当て の右横の ［ 設定する ］ をクリックする

「 メール読み込みの設定 (メール読み込み書式の設定) 」 画面が表示されます。

2. 必要事項を編集する

▸ メールヘッダ読み込み書式の設定

受信したメールのメールヘッダ部の中なら、差出人 (From) 、件名 (Subject) 、送信日時 (Date) を指定したフィールドに取り込むことができます。
また、その他任意のヘッダ値を指定し、フィールドに読み込む設定をすることもできます。

, 読み込みフィールドを、プルダウンメニューから選択する。

［ 新規にフィールドを作成する ］ を選択すると、メールヘッダ項目を読み込むフィールドを追加できます。

※ 任意のメールヘッダをフィールドに読み込む設定を行うときは、
［項目を追加する］を押し項目を増やします。
そして、新たな項目にメールヘッダ値を直接書き込みます。

※ From ヘッダ、Subject ヘッダは 「 文字列 (1 行) フィールド 」 のみ設定できます。
Date ヘッダは 「 文字列 (1 行) フィールド 」 「 日付時刻フィールド 」 のいずれかが設定できます。それ以外の任意のメールヘッダは 「 文字列 (1 行) フィールド 」 「 文字列 (複数行) フィールド 」 のいずれかのフィールドタイプを選択できます。

3.

を押す

「 メール読み込みの設定 (メール読み込み書式の設定) 」 画面が表示されます。

続いて、メール本文読み込みの設定、添付ファイル読み込みの設定、メールソース読み込み書式の設定を編集することができます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

4. メール内容読み込み書式の設定をする

受信したメールの本文、添付ファイル、メールソースを読み込むフィールドを指定します。

※ 読み込むフィールドを指定しないと、読み込む処理を行いません。

メール本文読み込み書式の設定

受信したメールの本文を読み込むフィールドを指定します。

, 読み込みフィールドを、プルダウンメニューから選択する。

[新規にフィールドを作成する] を選択すると、メールヘッダ項目を読み込むフィールドを追加できます。

※ 文字列 (複数行) フィールドのみ設定できます。

添付ファイル読み込み書式の設定

受信したメールの添付ファイルを読み込む許可設定および読み込みフィールドを指定します。

, 読み込みフィールドを、プルダウンメニューから選択する。

[新規にフィールドを作成する] を選択すると、メールヘッダ項目を読み込むフィールドを追加できます。

※ ファイルフィールドのみ設定できます。

〈!〉 読み込める添付ファイルは、1 ファイルのみなとなります。
もしメールに複数のファイルが添付されていても、登録されるのは 1 つだけです。その際、選択されるファイルは、そのフィールドの拡張子条件にマッチする一番最初に見つかったファイルとなります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

メールソース読み込み書式の設定

受信したメールのメールソース読み込み許可設定およびメールソースの読み込むフィールドを指定します。

・ 読み込みフィールドを、プルダウンメニューから選択する。

[新規にフィールドを作成する] を選択すると、メールヘッダ項目を読み込むフィールドを追加できます。

※ ファイルフィールドのみ設定できます。

5. ［ 設定する ］ を押す

「 メール読み込みの設定 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ メール読み込みの実行

1. ホーム画面 に、メールからの読み込みを実行したいライブラリ（ [ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

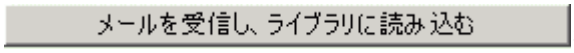
2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 「 ライブラリの入出力、削除 」 をクリックする
   「 ライブラリの入出力、削除 」 画面が表示されます。

5. [メールからの読み込み] をクリックする
   「 メールからの読み込み 」 画面が表示されます。
   ※ メール読み込みの設定にて、メール受信からレコード登録の設定が無効になっている場合は、メールからの読み込みを実行できません。その際は、メール読み込み設定画面にてメール受信でのレコード登録を有効にしてください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

6. 

を押す

※ メール受信後のレコード数の合計が 11 以上になる時は、ライブラリが本運用でないとメールを読み込むことができません。 お手数ですが、仮運用のライブラリは本運用に切り替えた後、再度メール読み込みを実行してください。
なお、本運用への切り替えはシステム管理者、もしくは本運用切替権限を与えられたユーザーに依頼してください。

※ 1 度の操作で受信できるのは、受信メール総数 100 件まで、または受信メール総サイズ 10MB までです。いずれかの制限を超えた場合は、一度メール受信を中断します。全てのメールを受信できなかった際は、お手数ですが再度メール受信を行ってください。

※ メール読み込みによって登録されたレコードのレコード登録者は、メール読み込み作業を実行したユーザーになります。

7. 「 ライブラリの入出力、削除 」 画面へ戻ります

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

▸未受信メールの削除

ライブラリに送信されたメールが、サイズ制限を超えた場合、スパムメールの設定にて、受信許可リスト以外から送信されたメールをサーバーから削除する設定にしなかった場合のメール削除法を案内します。

「 メールからの読み込み 」 画面にて [メールを受信し、ライブラリに読み込む] を押して、メールを読み込む際、

サイズ制限を超えたメール、受信許可のされていないメールは以下のように表示されます。

これらのメールは、「デヂエ」 では受信出来ませんので、他のメールソフトから受信するか

メールサーバーから削除してください。

例） サイズ制限を超えたメール、受信許可のされていないメールの表示

☑	件名	差出人	送信日時	サイズ
☐	大阪出張	佐藤　昇	2004/10/12 22:09:08	3216KB
☐	未承諾広告	test@bozuman.co.jp	2004/10/12 23:18:20	3KB

[チェックしたメールをサーバーから削除する]

◆ 未受信メールの削除方法

1. 以下の画面にて、削除するメールにチェックを入れる
2. [チェックしたメールをサーバーから削除する] を押す

メールをサーバーから削除します。よろしいですか?と聞かれます。

3. [はい] を押します

［ 戻る ］ もしくは ［ 管理メニューへ ］ をクリックし、任意の画面へ移動してください。

※ 未受信メールは削除されるまで表示され続けます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

▸ 制限事項について

メール読み込み機能をご利用になる際に、以下の制限事項がございます。ご利用前に一度ご確認下さい。

※ 本文が text 形式のメールのみ表示することが可能です。本文が HTML 形式のメールは表示することが出来ません。ご留意ください。

※ メール受信時にメールの結合は行いません。

※ uuencode 方式でエンコードされた添付ファイルを閲覧することができません。

※ Unicode(UTF-8 など)形式のメールは文字化けして表示され、閲覧することができません。

※ 画像がインラインで挿入されている HTML メールを正常に閲覧することができません。

※ 「デヂエ」が認識するメール日付形式は以下の通りです。
※これ以外の形式のメールは日時の表示が正しくなりません。

[day,] date mon year hour:min:sec [("+"/"-") HH:MM]

[day,] date mon year hour:min:sec [zone]

例： Date: Tue, 28 Jan 2003 14:12:41 +0900

Date: Tue, 28 Jan 2003 14:12:41 JST

Date: 28 Jan 2003 14:12:41 +0900

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

他ライブラリにレコードをコピーしたい

ファイルデータも含め、全レコード、および絞り込んだレコードを任意のライブラリにコピーすることができます。これにより、ライブラリ結合・分割が可能になり、レコード分割によるライブラリの軽量化が図れます。

■ レコードコピーの追加

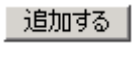
1. ホーム画面 に、レコードコピーを追加したいライブラリ（ ［ ライブラリ名 ］）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（ ［ ライブラリ名 ］）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. ［ ライブラリ管理 ］を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. ［ レコードコピー ］をクリックする
   「 レコードコピーの設定 」 画面が表示されます。

6.  を押す

   「 コードコピーの追加 」 画面が表示されます。

   ※ 既に存在するレコードコピーを利用して新たにレコードコピーを設定する場合は、
   219 ページの レコードコピーのコピー をご参照ください。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

7. 必要項目を入力する

レコードコピー設定名とコピー先ライブラリ、およびコピー元とコピー先のフィールドの対応を設定してください。

- **レコードコピー設定名**

  必須項目です。

  ※ 既に存在するレコードコピー設定名は設定できません。

- **コピー先ライブラリ**

  プルダウンメニューにて、コピー先ライブラリを選択します。

  ※ 以下の条件を満たすライブラリがプルダウンメニューに表示され、コピー先ライブラリとして選択することができます。

  ・コピー元ライブラリではない
  ・フォルダへのアクセス権がある
  ・コピー先となるライブラリに対して管理者権限がある

- **コピー元とコピー先のフィールドの対応**

  コピー元のフィールドとコピー先のフィールドの対応付けを行います。
  コピー元フィールド、コピー先フィールド共に、プルダウンメニューから選択します。
  対応させるフィールドを増やす場合は、[フィールドを増やす] を押します。

  ※ 同じフィールドを複数指定することは出来ません。

  ※ コピー可能なフィールドタイプの組み合わせのみ指定出来ます。コピー不可のフィールドタイプの組み合わせを指定した場合エラーとなります。
  なお、コピー可能なフィールドタイプの組み合わせは 221 ページをご覧ください。

8. 設定する を押す

「 レコードコピーの設定 」 画面にもどります。

※レコードコピーの設定をすると、ツールメニューに [レコードコピー] が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ レコードコピーの編集

1. ホーム画面 に、レコードコピーを追加したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

   ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

2. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

3. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

4. [レコードコピー] をクリックする
   「 レコードコピーの設定 」 画面が表示されます。

5. 編集する を押す
   「 コードコピーの追加 」 画面が表示されます。
   ※ 既に存在するレコードコピーを利用して新たにレコードコピーを設定する場合は、
   219 ページの レコードコピーのコピー をご参照ください。

6. 必要項目を入力する
   レコードコピー設定名とコピー先ライブラリ、およびコピー元とコピー先のフィールドの対応を設定してください。

   - **レコードコピー設定名**

     必須項目です。
     ※ 既に存在するレコードコピー設定名は設定できません。

   - **コピー先ライブラリ**

     プルダウンメニューにて、コピー先ライブラリを選択します。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

※ 以下の条件を満たすライブラリがプルダウンメニューに表示され、コピー先ライブラリとして選択することができます。

・コピー元ライブラリではない
・フォルダへのアクセス権がある
・コピー先となるライブラリに対して管理者権限がある

- **コピー元とコピー先のフィールドの対応**

コピー元のフィールドとコピー先のフィールドの対応付けを行います。
コピー元フィールド、コピー先フィールド共に、プルダウンメニューから選択します。
対応させるフィールドを増やす場合は、[フィールドを増やす] を押します。

※ 同じフィールドを複数指定することは出来ません。

※ コピー可能なフィールドタイプの組み合わせのみ指定出来ます。コピー不可のフィールドタイプの組み合わせを指定した場合エラーとなります。
なお、コピー可能なフィールドタイプの組み合わせは 221 ページをご覧ください。

7. 設定する を押す
「 レコードコピーの設定 」 画面にもどります。

■ レコードコピーのコピー

既存のレコードコピーの条件をコピーして活用することができます。

1. ホーム画面 ホーム に、レコードコピーをコピーしたいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
レコード一覧が表示されます。

3. ライブラリ管理 [ライブラリ管理] を押す
「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [レコードコピー] をクリックする
   「 レコードコピーの設定 」 画面が表示されます。

6. コピーしたいレコードコピーを選択して反転表示させ、 コピーする を押す
   コピー元のレコードコピー名の末尾に 「 -1 」 等の数字のついたレコードコピー名が設定されます。
   ※レコードコピー名や、レコードコピーの設定変更は、219 ページの 「 レコードコピーの編集 」 を参考にしてください。

■ レコードコピーの順番変更

レコードコピー実行時のプルダウンメニューに表示させる並び順を変更します。

1. ホーム画面 に、レコードコピーの順番を変更したいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 閉く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする
   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. [レコードコピー] をクリックする
   「 レコードコピーの設定 」 画面が表示されます。

6. 順番を変更したいレコードコピーを選択して反転表示させ、 を押し、選択したレコードコピー名の表示を上下に移動させ、順番を変更します。
   ※ を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ レコードコピーの削除

1. ホーム画面 に、レコードコピーを削除したいライブラリ（ ［ ライブラリ名 ］）を表示する

   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（ ［ ライブラリ名 ］）をクリックする

   レコード一覧が表示されます。

3. ［ ライブラリ管理 ］を押す

   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリの基本設定 」 をクリックする

   「 ライブラリの基本設定 」 画面が表示されます。

5. ［ レコードコピー ］をクリックする

   「 レコードコピーの設定 」 画面が表示されます。

6. 削除したいレコードコピーを選択して反転表示させ、 を押す

   確認画面が表示されます。

7. を押す

   「 レコードコピーの設定 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

レコードコピーの設定　フィールドタイプ関係表

コピー元フィールド ＼ コピー先フィールド	文字列(一行)	文字列(複数行)	数値	URL	チェックボックス	ラジオボタン	メニュー(文字列)	メニュー(ユーザー)	日付	時刻	日付時刻	ファイル	イメージ	自動計算	自動採番	時間量	時間計算	自動ルックアップ
文字列(一行)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
文字列(複数行)	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
数値	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
URL	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
チェックボックス	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ラジオボタン	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
メニュー(文字列)	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
メニュー(ユーザー)	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
日付	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
時刻	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
日付時刻	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
ファイル	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
イメージ	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
自動計算	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
自動採番	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
時間量	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
自動計算	○	○	×	×	×	×	×	×	△	△	△	×	×	×	×	△	×	×
自動ルックアップ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※1　文字列（１行）フィールドから数値フィールドにコピーした場合、文字列が数字文字列でない場合は 0 となります。

※2　日付、時刻、日付時刻を文字列系フィールドにコピーした場合、「 yyyy / mm / dd hh:mm:ss 」 の書式になります。

※3　時間量を文字列系フィールドにコピーした場合、「 dd:hh:mm:ss 」 の書式になります。

※4　時間計算フィールドから時間系フィールドにコピーする場合、時間計算結果のフィールドタイプとコピー先のフィールドタイプが同一である必要があります。

※5　自動ルックアップフィールドから他のフィールドにコピーする場合、自動ルックアップフィールドの参照先とコピー先のフィールドタイプの組み合わせがコピー可能な物である必要があります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ライブラリのログが見たい

ライブラリに対する基本的な操作に対して 「 いつ 」 「 誰が 」 「 何をした 」 についてログを保存する設定をしたり、ログを CSV ファイルに書き出すことができます。これにより、利用頻度の測定や情報漏洩の対策にもなります。

ライブラリ保存設定のされているライブラリのログは、書き出す期間を指定し、CSV ファイルに書き出すことができます。

※ライブラリログの設定が行われていない場合、ログを書き出すことができません。先にライブラリログの設定を行ってください。

※システム管理者が許可をしていない場合、ライブラリ管理者はライブラリログの設定をすることができません。ライブラリログ保存設定の許可は システム管理ガイド をご覧下さい。

■ ライブラリログの設定

ライブラリ管理者が、ライブラリログを書き出す設定をするには、システム管理者の許可が必要です。 許可されていない場合は、設定をすることができません。ライブラリログ保存設定の許可は システム管理ガイド をご覧ください。

ライブラリログの保存設定を許可されていない場合は、ライブラリログの設定を確認することのみ可能です。ホーム画面

に、ライブラリログの設定をしたいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する

ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある

を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする

   レコード一覧が表示されます。

3.
[ライブラリ管理] を押す

   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

4. 左のメニューから 「 ライブラリログ 」 をクリック

「 ライブラリログ 」 画面が表示されます。

5. ［ ライブラリログの設定 ］ をクリックする

「 ライブラリログ保存設定 」 画面が表示されます。

6. ログを保存するタイミングを以下の 11 個の中から選択し、希望の欄に ☑チェックを入れる
※システム管理者に、ライブラリログの保存設定を許可されていない場合は、
こちら で現在の設定を確認できます。

・レコード一覧画面表示
・レコード閲覧画面表示
・集計画面表示
・レコード登録
・レコード編集
・レコード削除
・文字列置換
・再ルックアップ
・ライブラリのデータ入出力
・メール読み込み
・レコードコピー

7. 反映する を押す

「 ライブラリログ 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ ライブラリログの書き出し

ライブラリログを期間を指定して CSV ファイルに書き出すことができます。
〈！〉ライブラリログ保存設定 をおこなっていないライブラリのログは書き出されません。
先に、ライブラリログ保存設定 を行ってください。

1. ホーム画面 に、ライブラリログの設定をしたいライブラリ（ [ライブラリ名]）を表示する

   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする

   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す

   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから 「 ライブラリログ 」 をクリック

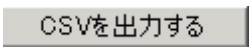
   「 ライブラリログ 」 画面が表示されます。

5. [ライブラリログの書き出し] をクリックする

   「 ライブラリログの書き出し 」 画面が表示されます。

6. ライブラリログを書き出す期間をプルダウンメニューで指定する
   ※今日以降の日付を指定することはできません。
   また、ログを保存する設定をする以前のログは書き出されません。

7. 必要に応じて 「 先頭行に項目名を書き出す 」 にチェックする

8.  を押す

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

書き出されるライブラリログのフォーマット

ログファイルは CSV ファイルにて、以下のフォーマットで書き出されます。

"yyyy/mm/dd" , "hh:mm:ss","IP アドレス","ユーザー名","操作","備考"

例)

日付	時刻	IP アドレス	ユーザー名	操作	備考
2004/10/12	12:00:00	10.0.0.1	佐藤 昇	レコード一覧	ビュー＝=標準(ビュー名)

ライブラリログに保存される操作と備考欄の詳細内容

保存設定名と操作の関係、備考欄の詳細な内容を以下にて確認できます。

保存設定名	操作	備考 ※備考欄に書き出す文字列を以下の欄に太字で表示しています。
レコード一覧 画面表示	・レコード一覧画面表示 ・簡易検索結果画面表示 ・詳細検索結果画面表示 ・ソートの実行 ・ソート順の切替実行 ・絞り込み切替実行 ・レコード一覧ビュー切替実行 ・ダイレクト表示実行 ・前次の○○件/先頭/末尾 クリック ・リンクリストの表示/非表示 切替 ===== ・ブラウザでの「再読込」操作	**ビュー =(ビュー名)** レコード一覧表示に使用しているレコード一覧ビュー名を示す。 レコード一覧ビューが（すべて）の場合には、この情報は書き出されない。
		絞り込み =(絞り込み名) レコード一覧表示使用している絞り込み名を示す。 絞り込みが（すべて）の場合には、この情報は書き出されない。
		簡易検索 =(検索文字列) 簡易検索時に設定した検索文字列を示す。
		ソート =(フィールド名) / (昇降順) ソートを実行しているフィールド名、昇降順を示す。 レコード番号でソートが行われている場合には、書き出されない。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

レコード閲覧 画面表示	・レコード閲覧画面表示 ・フィールドレイアウト切替実行 ・先頭/前/次/末尾 クリック ・My リンクリスト表示/非表示 切替 ・レコード登録実行(確認画面) ・レコード編集実行(確認画面) ・レコード登録者変更(確認画面) ===== ・ブラウザでの「再読込」操作	**レコード =(レコード番号)** 閲覧しているレコードのレコード番号を示す。
		フィールドレイアウト =(フィールドレイアウト名) 閲覧画面で使用されたフィールドレイアウト名を示す。 フィールドレイアウトが（すべて）の場合には、この情報は書き出されない。
集計画面表示	・集計画面表示 ・ソートの実行 ・ソート順の切替実行 ・絞り込み切替実行 ===== ・ブラウザでの「再読込」操作	**集計 =(集計名)** 集計に使用している集計名を示す。
		絞り込み =(絞り込み名) 集計結果表示時に行われていた絞り込み名を示す。 絞り込みが（すべて）の場合には、この情報は書き出されない。
		簡易検索 =(検索文字列) 集計実行時に行われていた簡易検索の検索文字列を示す。
レコード登録	レコード登録を実行	**レコード =(レコード番号)** 新しく追加されたレコードのレコード番号を示す。
		フィールドレイアウト =(フィールドレイアウト名) 登録画面で使用されたフィールドレイアウト名を示す。 フィールドレイアウトが（すべて）の場合には、この情報は書き出されない。
レコード編集	レコード編集を実行	**レコード =(レコード番号)** 編集されたレコードのレコード番号を示す。
		フィールドレイアウト =(フィールドレイアウト名)

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

		編集画面で使用されたフィールドレイアウト名を示す。 フィールドレイアウトが（すべて）の場合には、この情報は書き出されない。
レコード削除	レコードを1件削除	**レコード =（ レコード番号 ）** 削除されたレコードのレコード番号を示す。
	レコード一括削除実行 ※1件も削除されなくてもログを残す	**絞り込み =（ 絞り込み名 ）** 一括削除実行時に行われていた絞り込み名を示す。 絞り込みが（すべて）の場合には、この情報は書き出されない。
		簡易検索 =（ 検索文字列 ） 一括削除実行時に行われていた簡易検索の検索文字列を示す。
文字列置換	文字列の一括置換実行により、1件以上のデータ変更が行われた	**絞り込み =（ 絞り込み名 ）** 文字列置換実行時に行われていた絞り込み名を示す。 絞り込みが（すべて）の場合には、この情報は書き出されない。
		簡易検索 =（ 検索文字列 ） 文字列置換実行時に行われていた簡易検索の検索文字列を示す。
		置換前 =（ 置換前文字列 ） 置換前の文字列を示す。
		置換後 =（ 置換後文字列 ） 置換後の文字列を示す。
		フィールド =（ フィールド名 ） 文字列置換を行う対象となったフィールド名を示す。 すべてのフィールドが対象の時はこの情報は書き出されない。
再ルックアップ	再ルックアップ実行 ※1 件も変更されなくてもログを残す	**リレーション =（ リレーション名 ）** 再ルックアップ実行時に使用したリレーション名を示す。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

		絞り込み =(絞り込み名) 再ルックアップ実行時に行われていた絞り込み名を示す。 絞り込みが（すべて）の場合には、この情報は書き出されない。
		簡易検索 =(検索文字列) 再ルックアップ実行時に行われていた簡易検索の検索文字列を示す。
メール読み込み	メール読み込みにより、1件以上レコードが登録されたとき	**レコード数 =(読み込みレコード数)** メール受信によるレコード登録で、登録されたレコード件数を示す。
ライブラリの データ入出力	1件以上のレコードを CSV で読み込む	**レコード数 =(読み込みレコード数)** CSV 読み込みにより、登録･編集されたレコード件数を示す。
	CSV 書き出し実行 ･ライブラリ管理画面で、CSV 書き出し実行 ーレコード一覧画面のメニューでリンククリック ー集計画面で、リンククリック ･CSV 読み込み画面でのリンククリック	**集計 =(集計名)** CSV 書き出し対象となった集計に使用していた集計名を示す。
		絞り込み =(絞り込み名) CSV 書き出し実行時に行われていた絞り込み名を示す。 絞り込みが（すべて）の場合には、この情報は書き出されない。
		簡易検索 =(検索文字列) CSV 書き出し実行時に行われていた簡易検索の検索文字列を示す。
	XML 書き出し実行	**絞り込み =(絞り込み名)** XML 書き出し実行時に行われていた絞り込みの名を示す。 絞り込みが（すべて）の場合には、この情報は書き出されない。
		簡易検索 =(検索文字列) XML 書き出し実行時に行われていた簡易検索の検索文字列を示す。
	DBM 書き出し実行 ･ライブラリ管理画面で書き出しのリンククリック ーライブラリ ID .dbm で書き出し	※備考欄には何も書き出しません。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

	ーライブラリ名 .dbm で書き出し ・システム管理画面で最適化を行う前の書き出しリンククリック	
レコードコピー	レコードコピー実行	**レコードコピー =(コピー名)** ライブラリ間レコードコピーに使用しているレコードコピー名を示す。
		絞り込み =(絞り込み名) ライブラリ間レコードコピー実行時に行われていた絞り込み名を示す。 絞り込みが（すべて）の場合には、この情報は書き出されない。
		簡易検索 =(検索文字列) ライブラリ間レコードコピー実行時に行われていた簡易検索の検索文字列を示す。
	レコードコピー実行によりレコードが追加	**コピー元 =(コピー元ライブラリ名)** コピー元のライブラリ名を示す。
		レコードコピー =(コピー名) ライブラリ間レコードコピーに使用しているコピー名を示す。
		レコード数 =(読み込みレコード数) ライブラリ間レコードコピーにより、登録されたレコード件数を示す。
ライブラリログ設定	ライブラリログの設定実行	※備考欄には何も書き出しません。

※ ライブラリログ設定のログは無条件で書き込まれます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

テンプレートを作成したい

ライブラリをテンプレートにすることができます。すべての設定が引き継がれるため、よく使うライブラリがある場合に便利です。

〈！〉 テンプレート化する際は、以下にご注意ください。

- テンプレートをリンクリストに設定することはできません。
- テンプレート数に上限はありません。
- テンプレートは、ライセンスの対象にはなりません。
- DBM ファイルからテンプレート化すると、リレーション、ルックアップ、メール通知、アクセス権の設定は反映されません。これは、ライブラリを DBM ファイルに書き出した時点で設定がクリアされるためです。すべての設定を引き継ぎたい場合は、既存のライブラリからテンプレート化してください。
  〈！〉 **ただし、メール読み込みの設定はライブラリからテンプレート化しても設定はクリアされます。**
- テンプレートからライブラリを新規に作成すると、ライブラリ管理者は［ 全員 ］となります。ライブラリ作成後、はじめにライブラリ管理者を設定されることをお薦めします。

■ DBM ファイルからテンプレート化

DBM ファイル書き出しを行ったライブラリからテンプレートを作成します。

1. ホーム画面 で （ テンプレート ） をクリックする
   テンプレートフォルダが表示されます。
   ※ ライブラリ作成権のないユーザーには （ テンプレート ） は表示されません。

2. ［ テンプレートの追加 ］をクリックする
   「 テンプレートの追加 」 画面が表示されます。

3. 参照... を押し、テンプレート化する DBM ファイルを指定する

4. 次へ >> を押す

5. 画面を確認し、よければ 読み込む を押してテンプレートとして読み込む

※ 追加したテンプレートからライブラリを作成したい場合は、ライブラリを作成する を押します。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ 既存ライブラリからテンプレート化

登録されているライブラリからテンプレートを作成します。

1. ホーム画面 に、テンプレート化したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューから [ライブラリの入出力、最適化、削除] をクリックする
   「 ライブラリの入出力、最適化、削除 」 画面が表示されます。

5. [ライブラリのテンプレート化] をクリックする
   「 テンプレートの作成 」 画面が表示されます。
   ※ ライブラリ作成権がないユーザーにはエラーが表示されテンプレートを作成できません。

6. テンプレート名と、必要に応じてメモを入力する

7. 作成する を押す
   「 テンプレートの詳細 」 画面が表示されます。

※ 追加したテンプレートからライブラリを作成したい場合は、ライブラリを作成する を押します。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ライブラリを削除したい

不要になったライブラリを削除することができます。

〈！〉削除したライブラリは元に戻せません。念のためバックアップを行うか、DBM ファイルへの書き出しを行ってください。

■ ライブラリの削除

ライブラリを削除します。

1. ホーム画面 に、削除したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. [ライブラリの削除] をクリックする
   「 ライブラリの削除確認 」 画面が表示されます。

5. はい を押す
   もう一度確認画面が表示されます。

6. 削除する を押す
   削除したライブラリが格納されていたフォルダ画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ライブラリファイルを修復したい

突然の停電やシステムダウンなどが発生し、各動作の終了処理が正常に行なわれなかった場合、ミラーリングファイルを利用してライブラリファイルを修復することができます。

デヂエ では、ライブラリファイルを自動でミラーリングしており、障害にも強い設計となっています。

■ ミラーリングファイルによる修復

ライブラリファイルを修復します。

1. アクセスしたライブラリファイルが破損していた場合、修復を促す画面が表示されます。

2. 開始する を押すと、ミラーリングファイルを用いて自動的に修復作業が開始されます。

3. 修復終了後、確認画面が表示され、レコード一覧画面へ移行できます。

※ ライブラリの設定やユーザーによって、表示されるボタン、画面背景は異なります。

※ 添付ファイルについてはミラーリング対象外です。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

▶ ミラーリングについて

デヂエ では、万一のデータ損失などに備えて、データを書き込むときに 2 つのファイルに同時に同じものを書き込んでいます。そのため、ライブラリファイルが破損した場合も、もう一方のミラーリングファイルから復旧させることができます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ライブラリ管理者を設定したい

ライブラリ管理者は、「 ライブラリ管理メニュー 」 ＞ 「 ライブラリの情報 」 メニューより設定することができます。

ライブラリ管理者とは、システム管理者によって、ライブラリごとに設定され、各ライブラリの構築・管理を行う人をいいます。

ライブラリごとに ライブラリ管理者が設定できます。

※ ライブラリ作成直後は 「 全員 」 が ライブラリ管理者となっています。

※ デチエ にログインしていないと、ライブラリ管理者の設定はできません。ログインしてから操作してください。

■ ライブラリ管理者の変更

ライブラリの管理者を変更します。

1. ホーム画面 に、ライブラリ管理者を変更したいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューに 「 ライブラリの情報 」 が選択されていることを確認し、 [変更する] をクリックする
   「 ライブラリ情報の設定 」 画面が表示されます。
   ※ レコード一覧画面右上のメモをクリックして、「 ライブラリ基本情報 」 の [変更する] をクリックしても、同じ画面を表示させることができます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

5. 「 ライブラリ管理者 」 欄を設定する
   1. ライブラリ管理者に設定したいユーザーの所属グループをプルダウンメニューから選択する
      リストにグループメンバーが表示されます。
   2. リストからアクセス権を設定したいユーザーを選択し、 反転表示させる
   3. ←追加 を押す

6. 変更項目を入力後、 変更する を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」画面に戻ります。

〈！〉 設定者本人は、必ず ライブラリ管理者に含める必要があります。

※ ライブラリ管理者に設定されたユーザーでログインすると、 各画面の右下に [ライブラリ管理] が表示されます。

※ ライブラリ管理者の変更は、システム設計メニューの [ライブラリ運用管理] からも行なうことができます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ライブラリの基本情報を設定したい

ライブラリの情報は、「 ライブラリ管理メニュー 」 ＞ 「 ライブラリの情報 」 メニューで確認することができます。ライブラリ管理者の設定も、ここで行えます。

ライブラリの情報には、以下の情報が含まれています。

- ライブラリ名 ＊
- ライブラリ ID
- 位置 ＊
- メモ ＊
- ライブラリ管理者 ＊
- 作成者
- 作成日時
- 最終更新日時
- レコード数
- 運用
- ロック時間 ＊

※ 「 ＊ 」 は 「 ライブラリの情報 」 画面で変更可能な情報です。

※ 「 運用 」 には、システム管理者、あるいは 本運用切替権限のあるユーザーの場合、 本運用へ あるいは 仮運用へ が表示され、切り替えることができます。

※ ライブラリ ID は、 デヂエ が自動的に付加する番号で、変更できません。

※ ライブラリ管理者の変更は、ログインユーザーのみが行えます。必ずログインしてから操作してください。

※ ライブラリ作成者がログイン前ユーザーの場合は、作成者欄は空白となります。

■ ライブラリ基本情報の変更

ライブラリの基本情報を変更します。

1. ホーム画面 に、ライブラリ管理者を変更したいライブラリ（ [ライブラリ名] ）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名] ）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

3. [ライブラリ管理] を押す
「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューに 「 ライブラリの情報 」 が選択されていることを確認し、[変更する] をクリックする
「 ライブラリ情報の設定 」 画面が表示されます。
※ レコード一覧画面右上のメモをクリックして、「 ライブラリ基本情報 」 の [変更する] をクリックしても、同じ画面を表示させることができます。

5. 変更したい項目を設定する

- **ライブラリ名**
  同フォルダ内に同じ名前のライブラリ、もしくはサブフォルダを設定することはできませんので、注意してください。
- **位置**
  ライブラリを格納する位置を変更することができます。
- **ライブラリ管理者**
  ライブラリ管理者とは、システム管理者によって、ライブラリごとに設定され、各ライブラリの構築・管理を行う人をいいます。
  ライブラリごとに ライブラリ管理者が設定できます。
  〈！〉 設定者本人は、必ず ライブラリ管理者に含める必要があります。
  ※ ライブラリ管理者に設定されたユーザーでログインすると、 各画面の右下に [ライブラリ管理] が表示されます。
  ※ ライブラリ作成直後は 「 全員 」 が ライブラリ管理者となっています。
  ※ ライブラリ管理者の変更は、システム設計メニューの [ライブラリ運用管理] からも行なうことができます。
  1. ライブラリ管理者に設定したいユーザーの所属グループをプルダウンメニューから選択する
     リストにグループメンバーが表示されます。
  2. リストからアクセス権を設定したいユーザーを選択し、 反転表示させる
  3. ←追加 を押す
- **メモ**
  ライブラリに関して記録しておきたいこと、他のユーザーに伝えたいことがあれば入力します。
- **レコード編集時にロックする時間**
  レコードデータの編集を開始したとき、そのレコードが他のユーザーによって同時編集されない状態にする設定。ライブラリ作成直後のロック時間は 5 分間です。

6. 変更項目を入力後、 変更する を押す
「 ライブラリ管理メニュー 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■メモをつけたい

ライブラリにメモをつけると、レコード一覧画面の右上にメモの内容が表示され、ユーザーへの連絡事項、注意点などを知らせることができます。

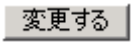
1. ホーム画面 に、削除したいライブラリ（ [ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. 画面右上の 「 メモ：」 横のリンクをクリックする
   ライブラリの情報が表示されます。
   ※ メモが未設定の場合は、右上のメモ欄に 「 ・・・ 」 と表示されます。既に設定されていると、メモの内容が表示され、クリックするとライブラリ基本情報が表示されます。

4. [変更する] をクリックする
   「ライブラリ情報の設定」 画面が表示されます。
   ※ ライブラリ管理者ではないユーザーの場合は、 [変更する] は表示されません。
   メモを設定したい場合は、ライブラリ管理者に依頼してください。
   ※ 「 ライブラリ管理メニュー 」 画面右側の 「 ライブラリの情報 」 横の [変更する] をクリックしても表示されます。

5. 「 メモ 」 欄に、必要事項を入力する

6.  ボタンを押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

■ ロック時間の変更

レコードのロック時間は、ライブラリごとに変更することができます。初期値は 5 分間です。

レコードの編集を開始すると、そのレコードは他のユーザーによって同時編集できない「 ロック 」 された状態になります。

ロックは、レコード編集画面にて、編集を開始したユーザーが 更新する もしくは キャンセルする を押すと解除されます。

〈！〉編集中に 更新する もしくは キャンセルする を押さずにその他のページへ移っても、ロック状態は維持されています。編集画面から他の画面へ移動するときは、 更新する もしくは キャンセルする を押し、必ずロックを解除する必要があります。

※ あるユーザーによってレコード編集が開始された場合に、他のユーザーがそのレコードを編集しようとすると、ロックされている旨のメッセージが表示されます。

※ ロック時間経過後に、他のユーザーが編集を開始すれば、レコードは変更できます。

1. ホーム画面 に、ロック時間を変更したいライブラリ（[ライブラリ名]）を表示する
   ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、 フォルダを表示させ、画面上にある 開く を押すと便利です。

2. ライブラリ（[ライブラリ名]）をクリックする
   レコード一覧が表示されます。

3. [ライブラリ管理] を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面が表示されます。

4. 左のメニューに 「 ライブラリの情報 」 が選択されていることを確認し、[変更する] をクリックする
   「 ライブラリ情報の設定 」 画面が表示されます。

5. 画面下の 「 レコード編集時にロックする時間 」 のプルダウンメニューより、時間を選択する
   1 分間から 30 分間までで指定できます。初期値は 5 分間です。

6. 変更する を押す
   「 ライブラリ管理メニュー 」 画面に戻ります。

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

ONE POINT

レコードロック中の表示について

[閲覧] をクリックして表示されるレコード閲覧画面では、「 ログインユーザー名 （ 編集中 ） 」 と表示され、編集できません。

（ ログイン前ユーザーが編集している時は 「 （ 編集中 ） 」 と表示されます ）

[編集] をクリックして表示されるレコード編集画面では、「現在 （ ログインユーザー名 ） が編集中ですので、編集できません。しばらくした後、再度編集してください。」とのメッセージが表示さます。

（ ログイン前ユーザーが編集している場合は、「 他のユーザー 」 と表示されます ）

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.

本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは禁止されています。
記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。

2004 年 10 月 15 日 初版発行

発行

サイボウズ株式会社

ナレッジ事業推進部

東京都文京区後楽1- 4- 14 後楽森ビル12F

dezie@cybozu.co.jp

デヂエ最新情報メール 登録受付中！

http://d.cybozu.co.jp/

Copyright(C) 2004 Cybozu,Inc.All rights reserved.